

ZQ610 Plus/ZQ620 Plus/ZQ630 Plus

ポータブル プリンタ



ZEBRA

ユーザー ガイド

2024/02/29

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2023 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/linkoslegal.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

目次

はじめに.....	6
印刷テクノロジー.....	7
ヘルスケア プリンタ (ZQ610 Plus-HC/ZQ620 Plus-HC).....	7
QR コードとサポート ページの URL.....	8
コンポーネント.....	8
図面と部品に関する基本情報.....	9
コントロール パネル.....	12
ご使用の前に.....	22
パッケージの開封と確認.....	22
開梱および RMA.....	22
消耗品および付属品の注文.....	23
付属品.....	23
ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続.....	26
ドライバのインストール.....	26
プリンタのインストール ウィザードの実行.....	27
最初にプリンタ ドライバをインストールしなかった場合の対処方法.....	33
Zebra セットアップ ユーティリティ.....	35
ケーブル接続.....	42
ケーブル通信.....	43
通信ケーブル用ストレイン リリーフ.....	44
バッテリーの使用.....	45
バッテリーの安全性.....	46
バッテリー寿命の延長.....	46
バッテリーの取り外し.....	46

バッテリー テープ絶縁部の取り外し.....	48
バッテリーの取り付け.....	48
バッテリーの充電とクレードル.....	49
バッテリーの充電.....	49
用紙のセット.....	59
切り取りモードでの用紙のセット.....	60
剥離モードでの用紙のセット (ZQ610 Plus/ZQ620 Plus).....	61
剥離モードでの用紙のセット (ZQ630 Plus).....	63
テスト ラベルの印刷.....	66
プリンタの装着.....	66
回転式ベルト クリップ.....	66
金属ベルト クリップ.....	67
調節可能なショルダー ストラップ.....	68
ソフト ケース.....	69
ハンド ストラップ.....	71
ハード ケース.....	71
ウェスト ホルスタ.....	73
プリンタの設定.....	78
プリンタ設定の変更 - ユーザー メニュー.....	78
[Settings Menu] (設定メニュー).....	78
[Tools Menu] (ツール メニュー).....	80
[Network Menu] (ネットワーク メニュー).....	82
[RFID Menu] (RFID メニュー).....	87
[Language Menu] (言語メニュー).....	89
[Sensors Menu] (センサー メニュー).....	90
[Communications] (通信) メニュー.....	91
[Bluetooth Menu] (Bluetooth メニュー).....	92
[Battery Menu] (バッテリー メニュー).....	93
RFID キャリブレーション.....	95
RFID キャリブレーション処理.....	96
プリンタの使用.....	97

ラベルの作成.....	97
ラベル デザイン コンテンツの使用.....	97
ZPL/CPCL/EPL コマンドの使用.....	98
ラベル デザインに関する考慮事項.....	98
Bluetooth によるワイヤレス通信.....	103
Wi-Fi の概要.....	105
Print Touch/NFC.....	106
無線自動識別 (RFID).....	107
プリンタのメンテナンス.....	109
クリーニングの推奨スケジュール.....	109
ライナーレス プリンタのクリーニング (ZQ610 Plus/ZQ620 Plus).....	111
ライナーレス プリンタのクリーニング (ZQ630 Plus).....	112
トラブルシューティング.....	113
技術サポートへのお問い合わせ.....	113
エラー インジケータ.....	113
エラー メッセージ.....	113
設定ラベルの印刷.....	117
設定ラベルの例.....	118
問題のトラブルシューティング.....	121
通信の問題.....	122
仕様.....	124
印刷仕様.....	124
電源仕様.....	124
通信インターフェースの仕様.....	125
用紙仕様.....	125
ZPL フォントとバーコードの仕様およびコマンド.....	126
CPCL フォントとバーコードの仕様およびコマンド.....	128
通信ポート.....	129

はじめに

このガイドでは、ZQ600 Plus シリーズ プリンタの操作方法について説明します。このプリンタには、次のような最新技術が使用されています。

- Wi-Fi 6 デュアル無線 (802.11ax + Bluetooth 5.3)*
- Wi-Fi 5 デュアル無線 (802.11ac + Bluetooth 4.2)*
- オプションの RFID 機能
- PowerPrecision+ 機能搭載のスマート バッテリ
- 近距離無線通信 (NFC)
- カラー LCD ディスプレイ
- Made for iPhone (MFi)。ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、Bluetooth 5.3 および 4.2 (Classic および BLE) を介して、iOS 10 以降が実行されている iPhone や iPad などの Apple デバイスとの通信をサポートしています。



注: * Zebra では、Wi-Fi 6 または Wi-Fi 5 デュアル無線を搭載したデバイスを選択できます。

プリンタは、CPCL、ZPL、および EPL プログラミング言語を使用して、プリンタと印刷プロパティ、ラベルデザイン、および通信を設定します。『CPCL プログラミング ガイド』、『ZPL プログラミング ガイド』、および『EPL プログラミング ガイド』 (zebra.com/support) を参照してください。

ソフトウェア リソースとユーティリティ:

- ZebraNet Bridge Enterprise: プリンタの設定、フリート管理
- Zebra Printer Setup Utilities: シングル プリンタの設定、クイック セットアップ
- ZebraDesigner Professional 3: ラベル デザイン
- Zebra Designer ドライバ: Windows ドライバ
- OPOS ドライバWindows ドライバ
- マルチプラットフォーム SDK
- Zebra ダウンローダ
- Printer Profile Manager Enterprise (PPME)

これらのユーティリティは、Zebra Web サイト (zebra.com/zq600plus-info) で入手できます。

印刷テクノロジー

ZQ600 Plus シリーズ プリンタには、他の Zebra モバイル プリンタ 製品ラインで広く使用されている定評あるテクノロジーが統合されています。

ダイレクト サーマル テクノロジー

ZQ600 Plus シリーズ プリンタでは、テキスト、グラフィックス、バーコードなどを読みやすく印刷するダイレクト サーマルが採用されています。これは、あらゆる条件で最適な印刷効果を発揮する最新式の印刷エンジンです。ダイレクト サーマル印刷は、特殊処理した用紙上で熱を使って化学反応を起こします。この反応により、印字ヘッドの熱されたエレメントが用紙と接触すると、黒い印ができます。印字エレメントは横 203dpi (ドット/インチ)、縦 200dpi (ドット/インチ) と非常に高密度に配置されているため、用紙が印字ヘッドを通過するに従い、非常に読みやすい文字やグラフィック要素が一度に 1 行ずつ印刷されます。インクまたはトナーのような消耗品を必要としないため、このテクノロジーには簡略性という利点があります。ただし、用紙は熱に敏感であるため、特に比較的高温の環境または直射日光にさらされる場合、長い時間が経過するうちに読みやすさは徐々に失われていきます。

アダプティブ印刷性能

ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、印字品質を犠牲することなくご利用の印刷状態に適合させる PSPT PrintSmart Gen 2 技術を使用しています。プリンタが充電状態、バッテリー状態、極端な低温、または高密度な印刷などの環境条件を認識すると、印刷性能を調整してバッテリー機能を維持し、印刷を続行することができます。これにより印刷の速度や音に影響が出る可能性がありますが、印刷品質に影響はありません。

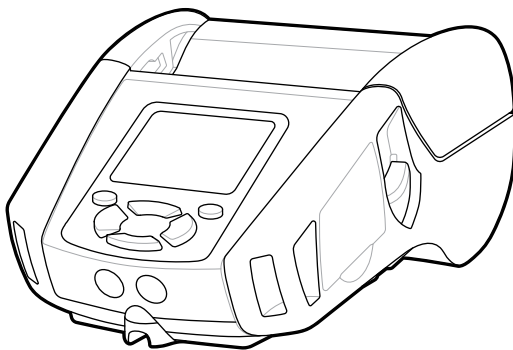
ヘルスケア プリンタ (ZQ610 Plus-HC/ZQ620 Plus-HC)

ZQ610 Plus-HC および ZQ620 Plus-HC は、医療環境固有のニーズを満たすように設計された 2 インチおよび 3 インチのプリンタです。レシートを印刷するプリンタの機能を維持しながら、バーコード ラベルを印刷する場合、ヘルスケア設定はプリンタによって異なります。

ZQ610 Plus-HC および ZQ620 Plus-HC には、次のような重要な機能強化が実装されています。

- プリンタは、白と青の特徴的なヘルスケア カラーで、病院で使用されるほとんどのクリーナーで殺菌できる高性能プラスチックを使用しています。
- 新しい LCD ディスプレイ、Wi-Fi 6 デュアル無線 (802.11ax + Bluetooth 5.3)、Wi-Fi 5 デュアル無線 (802.11ac + Bluetooth 4.2)、NFC、QR コードなど、ZQ600 Plus シリーズ プラットフォームで実現された最新技術を活用します。

図 1 ZQ620 Plus-HC ヘルスケア モデル



ヘルスケア プリンタは、ZQ610 Plus および ZQ620 Plus プラットフォームをベースにした、可変の印刷幅をサポートするダイレクト サーマル プリンタです。デバイスは、具体的には次の点で ZQ610 Plus および ZQ620 Plus と同等の印刷機能を提供します。

- 同じバーコード、バーコード品質、およびビジュアル印刷品質をサポートします。
- 範囲、信頼性、およびスピードの点で、同等のワイヤレス性能を提供します。
- ZQ600 Plus シリーズのすべてのアクセサリと、ヘルスケア プリンタ専用の別個の IEC60601 AC アダプタが付属しています。

ヘルスケア プリンタは、製品寿命にわたって絶え間のないクリーニングに耐えるように設計およびテストされています。

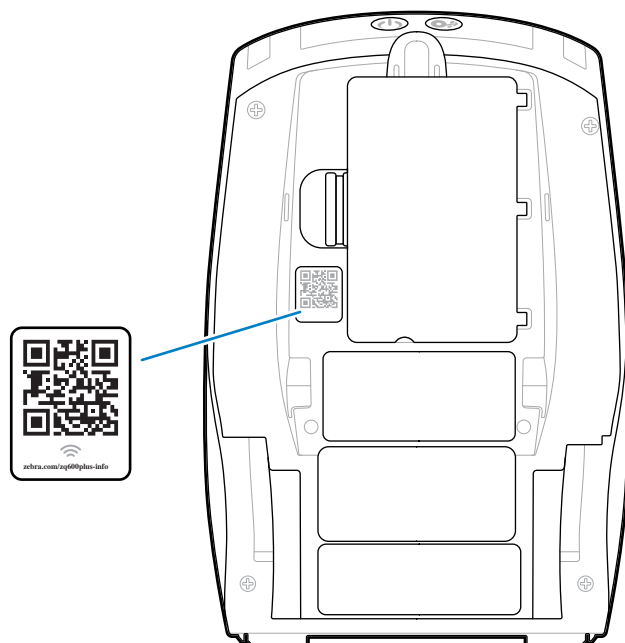


注: ヘルスケア プリンタのクリーニングの詳細については、「清掃と消毒のガイドライン」を参照してください。

QR コードとサポート ページの URL

QR バーコードには、人間が読めるテキスト URL (例: zebra.com/zq600plus-info) が含まれています。ユーザーは、QR バーコードを使用して、プリンタ情報や、消耗品の購入、機能の概要、フィード、設定レポートの印刷、クリーニング手順、付属品情報などに関する短いビデオにアクセスすることができます。

図 2 QR コード



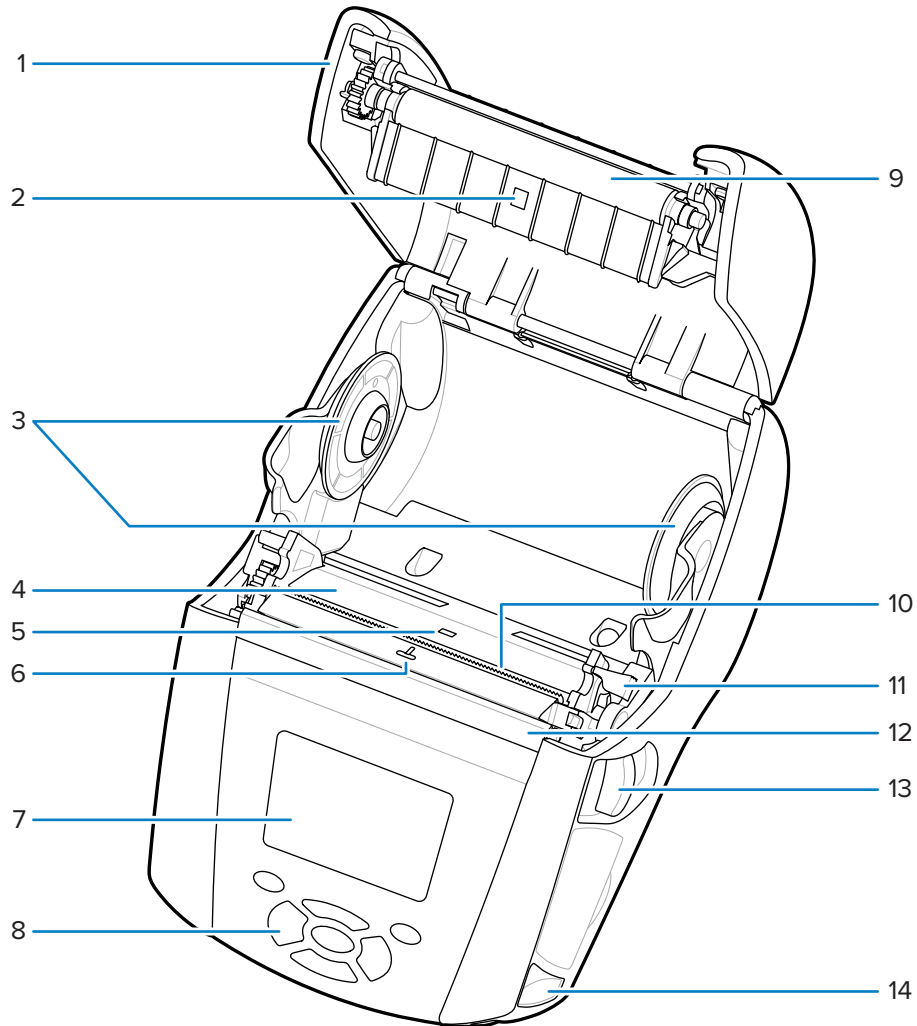
コンポーネント

プリンタはさまざまなコンポーネントから構成されます。プリンタの全体的なパフォーマンスは、これらのコンポーネントの影響を受けます。プリンタ モデルとインストール済みのオプションによって、プ

リンタの外観は多少異なる場合があります。ラベルの付いているコンポーネントは、本書の手順で言及されています。

図面と部品に関する基本情報

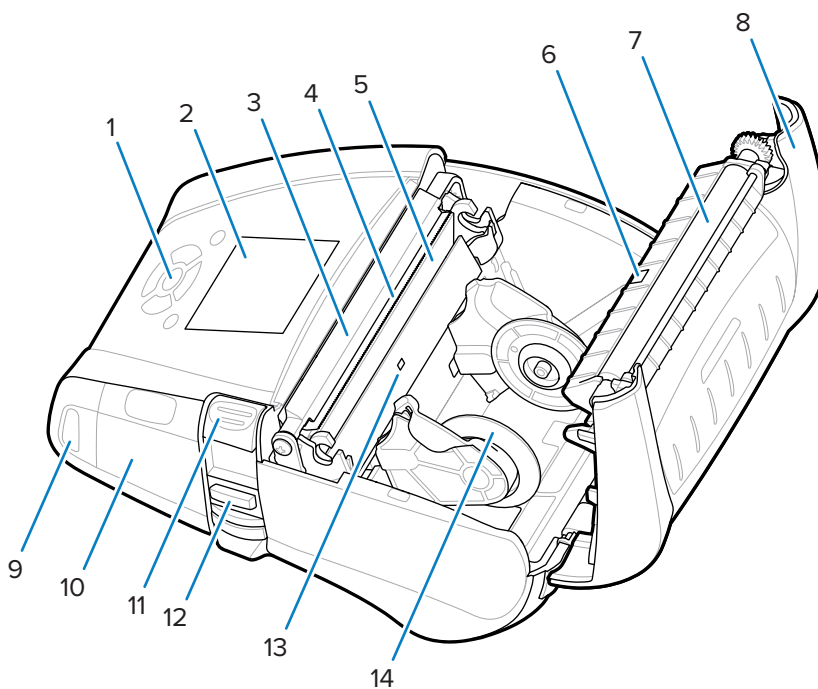
図3 プリンタ コンポーネント - 上から見た図 (ZQ610 Plus/ZQ620 Plus)



1	用紙カバー
2	ブラックバーセンサー
3	用紙サポートディスク
4	印字ヘッド
5	ギャップセンサー
6	ラベルセンサー
7	カラー LCD ディスプレイ

8	キーパッド
9	プラテンローラー
10	切り取りバー
11	ピーラーレバー
12	ピーラーベイル
13	ラッチリリースレバー
14	ストラップポスト

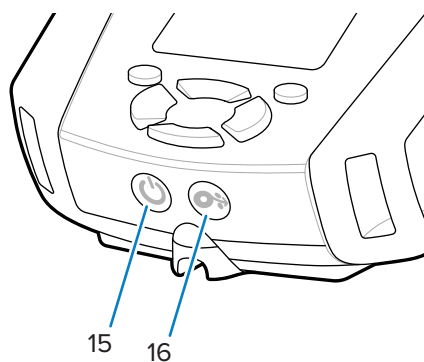
図4 プリンタコンポーネント - 上から見た図 (ZQ630 Plus)



1	キーパッド
2	カラーLCDディスプレイ
3	ピーラーベイル
4	切り取りバー
5	印字ヘッド
6	ブラックバーセンサー
7	プラテンローラー
8	用紙カバー
9	ストラップポスト
10	USB/RS-232通信ポート

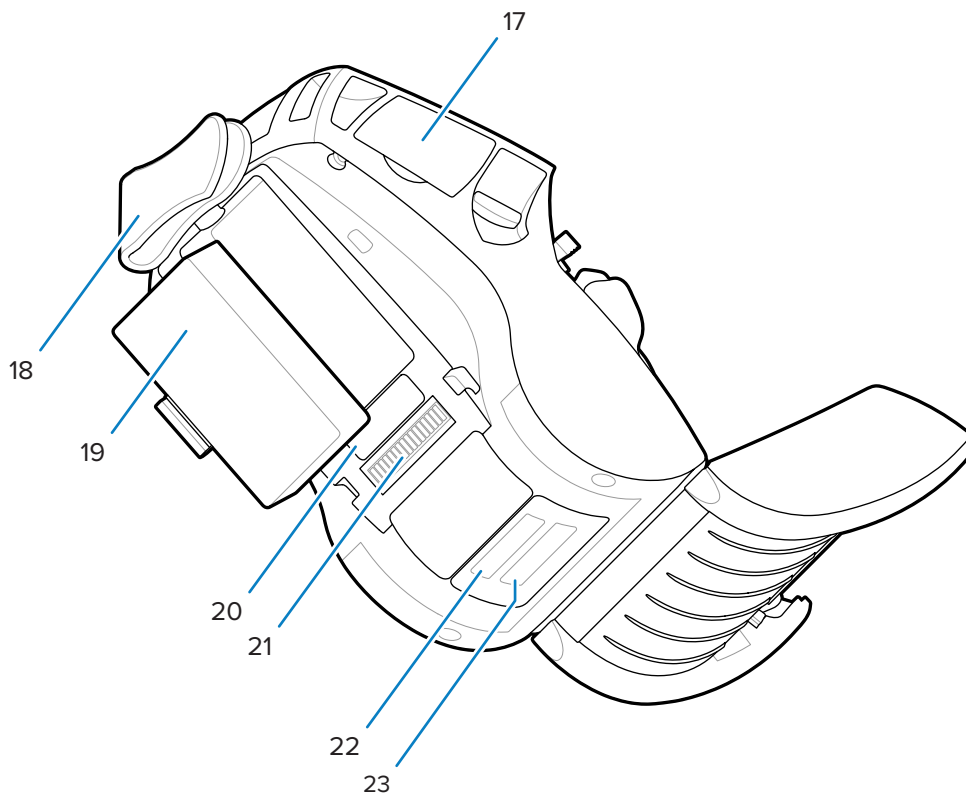
11	ラッチ リリース レバー
12	ピーラー レバー
13	ギャップセンサー
14	用紙サポート ディスク

図5 プリンタ コンポーネント - 正面図



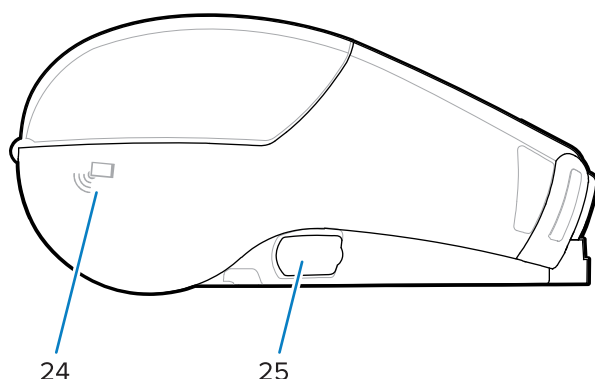
15	電源ボタン (電源リング LED 付き)
16	フィード ボタン

図6 プリンタ コンポーネント - 底面図



17	USB/RS-232 通信ポート
18	ベルト クリップ
19	バッテリー
20	MAC アドレス ラベル
21	ドッキング コンタクト
22	PCC バーコード
23	シリアル番号のバーコード

図7 プリンタ コンポーネント - 側面図



24	NFC (Print Touch アイコン)
25	DC 入力

**注:**

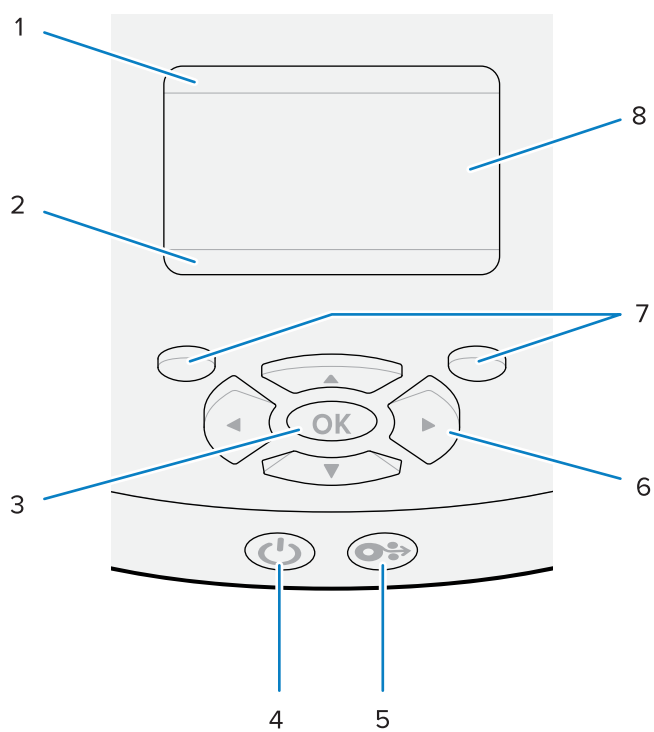
- スマートフォンで QR コードを読み取ると、プリンタ固有の情報を入手できます。
- 近距離無線通信 (NFC) 対応のスマートフォンで、Zebra Print Touch™ アイコンをタップすると、プリンタ固有の情報に即座にアクセスできます。NFC および Zebra 製品の詳細については、zebra.com/nfc を参照してください。NFC を介した Bluetooth ペアリング アプリケーションも使用できます。詳細については、Zebra マルチプラットフォーム SDK を参照してください。

コントロール パネル

ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、キーパッド コントロール パネル、カラー LCD グラフィカル ユーザー インタフェース、および 2 つの多目的ボタンを備えています。LCD インタフェースでは、多数のプリンタ機能を簡単に表示し、選択できます。LCD インタフェースには、次のような機能があります。

- 288x240 ピクセルの表示領域をサポートする、タッチ非対応のカラー LCD ディスプレイ。
- 室内照明と夜間の両方の条件下でのディスプレイ表示。
- 色付きのテキストと画像を表示可能。
- 電力を節約するために、設定可能なタイムアウト後ディスプレイは暗くなります。

図8 コントロールパネル



1	プリンタ ステータスバー	複数のプリンタの機能の状況を示します。*
2	ナビゲーションバー	ユーザーが選択できるオプションを表示します。
3	OK ボタン	ディスプレイの表示内容を選択または確定します。



4	電源ボタン	<p>電源ボタンは、プリンタをオンまたはオフにするときに使用します。また、プリンタをスリープモードにしたり起動したりするときにも使用します。</p> <p>通常の起動時の動作</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源を押して、プリンタの電源をオンにします。 電源を放すと、プリンタが起動し、電源リングが点滅します。 起動シーケンスが完了すると、電源リングは点滅を停止し、点灯したままになります。電源リングの色は、充電状態に応じて異なります。 <p>スリープモードのLED動作</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源を3秒未満押すと、プリンタはスリープモードになります。 スリープモードでは、プリンタが正しく充電されているかどうかに基づいて、電源が緑色、琥珀色、または赤色にゆっくりと点滅します。 <p>シャットダウン時の動作</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源を約3秒押すと、プリンタの電源が切れます。 プリンタがシャットダウンする前に、「SHUTTING DOWN」(シャットダウン中)とディスプレイに表示されます。
5	フィードボタン	フィードを押すと、空白ラベル1枚分、またはソフトウェア指定の長さ分のジャーナル用紙が前に送られます。
6	矢印ボタン	上矢印と下矢印を押すと、パラメータの値が変わります。左矢印と右矢印を押すと、左右に移動します。
7	左選択ボタン 右選択ボタン	ディスプレイ内で対応するボタンの真上に表示されているコマンドが実行されます。
8	ディスプレイ	プリンタの現在の状態が表示され、ここでメニューシステムをナビゲートできます。



* 現在のプリンタステータス表示に関連するアイコンのみ。

起動およびランタイムシーケンス

ZQ600 Plus シリーズ プリンタのマルチボタン インタフェースを使用して、次の起動およびランタイムシーケンスを実行できます。

起動シーケンス


シーケンス	機能	キー	ボタン
1	2 キー レポート	フィードを押しながら電源を押します。	
2	工場出荷時の WML に戻す	上矢印と下矢印を押しながら電源を押します。	

シーケンス	機能	キー	ボタン
3	強制ダウンロード	左選択と右選択の両方を押しながら電源を押します。	
4	プリンタの電源をオンまたはオフにする、またはスリープモードに入る。	電源を押します。	

**注:**

- カスタム WML 機能がオフになっている場合は、工場出荷時の WML に戻してフルメニューに戻す必要がある場合があります。
- 変更によって WML システムがロックされた場合は、再起動して一時的に機能を復元できません。
- 強制ダウンロードとは、ファームウェアのダウンロードを有効にするためにプリンタの電源を入れるモードのことです。このモードでは、プリンタは、ファームウェアアップデートのダウンロードおよびインストールプロセスを実行する特定のコードを実行します。

ランタイム シーケンス

シーケンス	機能	キー	ボタン
1	用紙のフィード	フィード	
2	ウェイクアップする (スリープモードの場合)	任意のボタン	

スリープモード

20 分間何も操作しないと、バッテリーを長持ちさせるためにスリープモード機能によって自動的にスリープ状態になります。この状態では、LCD にコンテンツが表示されず、バックライトがオフになります。ZQ600 Plus シリーズ プリンタのその他の電源管理機能には、ウェイク オン Bluetooth やウェイク オン WiFi があります (プリンタは Bluetooth によるデータ交換や WiFi 経由でのネットワーク メッセージの受信によってスリープモードを終了します)。イーサネットクレードルにドッキングされているとき、プリンタはスリープモードになりません。

スリープモードを有効または無効にするには、以下の操作を実行します。

1. Printer Setup Utilities (PSU) を使用して、power.sleep.enable コマンドをプリンタに送信します。
2. オン (デフォルト) またはオフに設定します。

プリンタがスリープモードに移行するまでの時間を設定するには、以下の操作を実行します。

1. PSU を使用して、power.sleep.timeout (秒単位) をプリンタに送信します。

ドラフトモード

SGD コマンド media.draft_mode (デフォルトは Off) を使用して、プリンタをドラフトモードで印字するように設定できます。これによってプリンタをテキストのみ印刷に最適化します。ドラフトモードでは、印刷速度が 4 ~ 5ips (インチ/秒) 高速化され、光学濃度が約 22% 薄くなります。



注: すべての SGD コマンドの説明と一覧については、『プログラミングガイド』 (zebra.com/support) を参照してください。

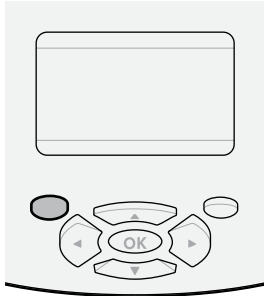
プリンタ ディスプレイ画面のナビゲート

次のトピックについて、詳しく説明します。

- ZQ600 Plus シリーズ プリンタのコントロール パネル ディスプレイの画面からのナビゲーションに使用できるオプション。
- ディスプレイ オプションを選択または変更する方法。

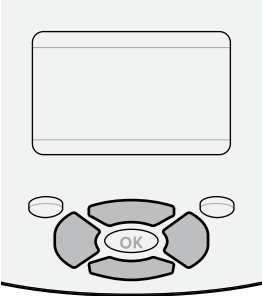


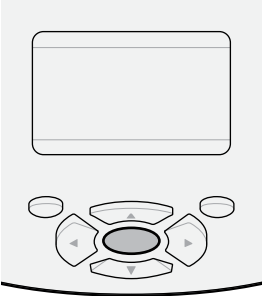
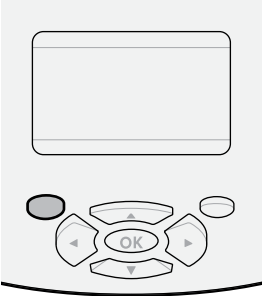
アイドル表示

アイドル表示で、プリンタのホームメニューに進むには、**左選択**を押します。



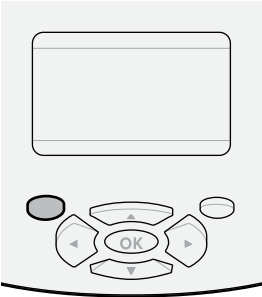
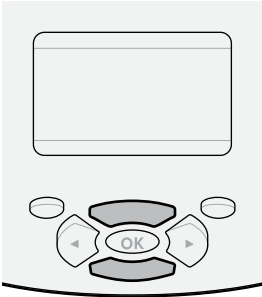
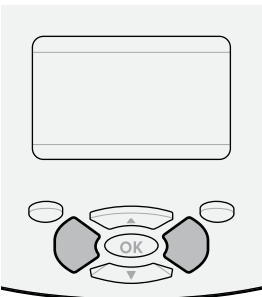
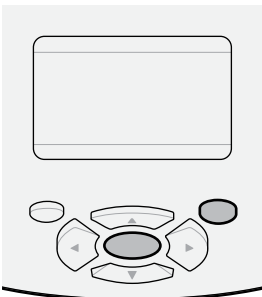
[Home menu] (ホームメニュー)

このセクションでは、ホームメニューをナビゲートする方法について説明します。

 <p>[Home menu] (ホームメニュー)でアイコンからアイコンへ移動するには、矢印ボタンのいずれかを押します。アイコンを選択すると、選択したアイコンの色が反転してハイライトされます。</p> <p> [SETTINGS] (設定) メニュー アイコン</p> <p> [SETTINGS] (設定) メニュー アイコンを選択した状態</p>	 <p>強調表示されたメニューアイコンを選択してメニューに入るには、OK ボタンを押します。</p>	 <p>[Home menu] (ホームメニュー)を終了してアイドル表示に戻るには、左選択を押します。[Home menu] (ホームメニュー)で15秒間操作しないと、プリンタは自動的にアイドル表示に戻ります。</p>
---	--	---

ユーザー メニュー

このセクションでは、ユーザー メニューのナビゲート方法について説明します。

 <p>ホームメニューに戻るには、左選択 ボタンを押します。ユーザーメニューで15秒間なにも操作しないと、プリンタは自動的にホームメニューに戻ります。</p>	 <p>▼および▲は、値の変更が可能であることを示します。値の変更を行うと、すべて即座に保存されます。上矢印または下矢印を押して、有効値をスクロールします。</p>
 <p>ユーザーメニューの項目をスクロールするには、左矢印または右矢印を押します。</p>	 <p>ディスプレイの右下隅に、使用可能な操作が表示されます。 表示された操作を実行するには、OKを押すか、右選択を押します。</p>

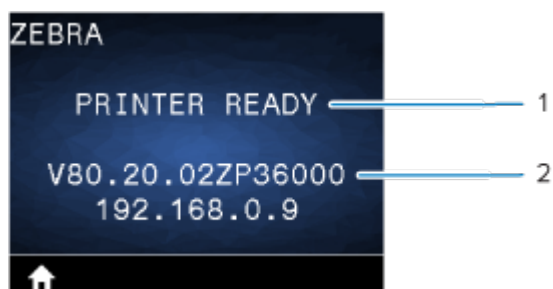
アイドル表示、ホームメニュー、ユーザーメニュー


ZQ600 Plus プリンタのコントロールパネルには、プリンタの状態を表示したり操作パラメータを変更したりするためのディスプレイがあります。

アイドル表示

プリンタは、電源投入シーケンスが完了すると、アイドル表示に移行します。この状態では、インストールされているファームウェアのバージョンやIPアドレスなどの情報が表示されます。

図9 アイドル表示

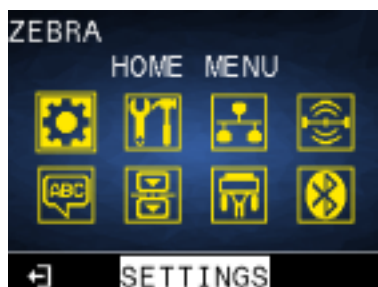



1	プリンタの現在の状態。
2	ファームウェアのバージョンと IP アドレス。
	[Home menu] (ホーム メニュー) のショートカット。

[Home menu] (ホーム メニュー)

[Home menu] (ホーム メニュー) を使用して、8 つのユーザー メニューからプリンタの操作パラメータにアクセスします。






図10 [Home menu] (ホーム メニュー)






	終了してアイドル表示に戻ります。
---	------------------

ユーザー メニュー









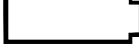




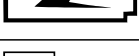
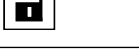


次のリストは、プリンタの設定を変更するために使用するユーザー メニューのアイコンについて説明しています。プリンタの設定を変更するには、[プリンタの設定](#) (78ページ) に進みます。

	[Settings Menu] (設定メニュー)
	[Tools Menu] (ツールメニュー)
	[Network Menu] (ネットワークメニュー)
	[RFID Menu] (RFIDメニュー)
	[Language Menu] (言語メニュー)

	[Sensors Menu] (センサー メニュー)
	[Communications] (通信) メニュー
	[Battery Menu] (バッテリー メニュー)

ステータスアイコン

ディスプレイ上部に各プリンタ機能の状態を示すアイコンが表示されます。問題を解決するには、インジケータのステータスを確認し、以下の表で関連するトラブルシューティングトピックの見出し番号を参照してください。

アイコン	ステータス	表示
	青色で点灯	Bluetooth 接続確立
	なし	Bluetooth 接続非アクティブ
	青色で点滅	接続中またはラベル転送中
  	アンテナ点滅	AP 検索中
	アンテナ点滅/信号マーク 1 本点灯	WLAN 関連付け、認証を試行中
	アンテナ点滅/信号マーク 2 本点灯	Wi-Fi 関連付け、認証済み
	アンテナ点滅/信号マーク 2 本点滅	データ受信中
	なし	無線なし
     	4 本の緑色バー	80% 以上充電済み
	3 本の緑色バー	60 ~ 80% 充電済み
	2 本の黄色バー	40 ~ 60% 充電済み
	1 本の赤色バー	20 ~ 40% 充電済み
	バーなし (赤色のバッテリーの輪郭)	電池残量不足
	バーなし (赤色のバッテリーの輪郭)	電池残量不足
     	4 本の緑色で点滅するバー、稲妻あり	充電中容量 80% 超過
	3 本の緑色で点滅するバー、稲妻あり	60 ~ 80% の容量で充電中
	2 本の黄色で点滅するバー、稲妻あり	40 ~ 60% の容量で充電中
	1 本の赤色で点滅するバー、稲妻あり	20 ~ 40% の容量で充電中
	バーなし、赤色の稲妻あり	電池残量不足
	バーなし、赤色の稲妻あり	電池残量不足
	赤色で点滅	用紙カバー開



アイコン	ステータス	表示
	緑色で点滅	データ受信中
	緑色で点灯	イーサネット 接続済み
	なし	イーサネット 接続なし
	緑色で点滅	データ処理中
	緑色で点灯	処理中のデータなし
	赤色で点滅	用紙切れ
	白色の点灯	用紙あり
	赤色で点滅	エラーあり (用紙切れ、ヘッド ラッチ 開を除く)
	なし	エラーなし
 	4本の緑色バー	802.11 信号強度 75% 超
	3本の緑色バー	802.11 信号強度 75% 以下
	2本の緑色バー	802.11 信号強度 50% 以下、25% 超
	1本の黄色バー	802.11 信号強度 25% 以下
	バーなし	信号強度なし

ステータス ランプ

電源ボタンの周りには、3色 (緑色、琥珀色、赤色) の LED リングがあります。

= 点滅	= 点灯	= 点滅
------	------	------

インジケータ ランプ	ランプの意味
	起動時の緑色/琥珀色/赤色点滅
	電源オン/バッテリー充電完了
	緑色の点滅は、スリープモード/非充電中を示します
	電源オン/バッテリー充電中
	スリープモードで充電中
	充電中/充電完了 (異常あり)

インジケータ ランプ	ランプの意味
	充電中/充電完了 (異常あり/スリープ モード)
	充電エラー

ご使用前に

このセクションでは、プリンタの初期設定と操作についてユーザーに役立つ情報を提供します。

パッケージの開封と確認

このセクションでは、パッケージの開封と確認について説明します。

1. デバイスを覆っている保護材をすべて慎重に取り外して、後で保管や搬送に使用できるように梱包箱を保管しておきます。
2. 次のものが含まれていることを確認します。
 - クイックスタートガイド
 - プリンタ
 - バッテリパック
 - 規制ガイド
 - ベルトクリップ
3. すべての外装表面を調べて、損傷がないことを確認します。
4. プリンタの用紙カバーを開き(用紙のセット (59ページ) を参照)、用紙セット部に損傷がないか検査してください。
5. デバイスを初めて使用する前に、LCD ディスプレイを覆っている搬送保護フィルムを剥がしてください。



注: アクセサリは、地域によって異なる場合があります。

開梱および RMA

配送時に受けた損傷が見つかった場合:

- 直ちに運送会社に通知して損害報告を提出してください。Zebra Technologies Corporation は、プリンタ配送時に発生する損傷の責任を負いません。また、この損傷の修理は保証には含まれません。
- 調査に備え、段ボール箱やすべての包装材は保存しておいてください。
- 最寄りの正規 Zebra 販売代理店に通知します。

消耗品および付属品の注文

プリンタ寿命を最大化し、ニーズに合った安定した印刷品質と性能を確保するには、Zebra 製用紙のみのご使用を推奨します。これには、ZQ630 Plus 用に製造された Zebra RFID 用紙が含まれます。Zebra 製以外の RFID 用紙では RFID のキャリブレーションを行うことができない場合があります。

Zebra の消耗品および付属品を使用する利点は次のとおりです。

- 用紙製品の安定した品質と信頼性の高さ
- 標準的な形式、および豊富な品揃え。
- 自社カスタム フォーマット設計サービス
- 世界的な大手小売店チェーンを含む、大規模から小規模まで多様なビジネスのニーズを満たす大規模生産能力。
- 業界標準以上の品質

詳細については、zebra.com/supplies を参照してください。

付属品

このセクションでは、ZQ600 Plus シリーズで使用できる付属品のリストを説明します。

ZQ600 Plus シリーズ用付属品

部品番号	説明
P1031365-006	KIT ACC QLn220 ゴム製ドア I/O (15)
P1031365-018	KIT ACC QLn320 ゴム製ドア I/O (15)
P1031365-019	KIT ACC QLn220/QLn320 ゴム製ドア DC ジャック (15)
P1031365-022	KIT ACC QLn220/320 プラテンギア 48P 22T (25)
P1031365-024	KIT ACC モバイル AC アダプタ US (タイプ A) コード
P1031365-027	KIT ACC QLn ハンド ストラップ
P1031365-028	KIT ACC QLn ベルト クリップ交換品 (20)
P1031365-029	KIT ACC QLn320 ソフト ケース (ショルダー ストラップを含む)
P1031365-033	KIT ACC QLn-EC AC アダプタ US (タイプ A) コード (その他の国については Sales を参照)
P1031365-038	KIT ACC QLN-EC
P1031365-044	KIT ACC QLn220 ソフト ケース (ショルダー ストラップを含む)
P1031365-045	KIT ACC QLN-EC4 AC アダプタ US コード (その他の国については Sales を参照)
P1031365-050	KIT ACC EC4 壁面取り付け
P1031365-052	KIT ACC QLn シリアル ケーブル (ストレイン リリーフ付き) QL アダプタ (メス DIN)
P1031365-053	KIT ACC QLn シリアル ケーブル、約 1.82 メートル (6 フィート) (ストレイン リリーフ付き) PC-DB9

ご使用前に

部品番号	説明
P1031365-054	KIT ACC QLn シリアル ケーブル MC9000 用 (ストレイン リリーフ付き)
P1031365-055	KIT ACC QLn PC-USB ケーブル、約 1.82 メートル (6 フィート) (ストレイン リリーフ付き)
P1031365-056	KIT ACC QLn シリアル ケーブル RJ45 - TELZON アダプタ用 (ストレイン リリーフ付き)
P1031365-057	KIT ACC QLn シリアル ケーブル (ストレイン リリーフ付き) LS2208 スキャナ用
P1031365-058	KIT ACC QLn 16 ピン シリアル ケーブル (ストレイン リリーフ付き) MC3000 用
P1031365-059	KIT ACC QLN220/QLN320 スペア バッテリ スマート
P1031365-060	KIT ACC QLn 11 ピン シリアル ケーブル (ストレイン リリーフ付き) MC3000 用
P1031365-061	KIT ACC QLn シリアル DEX ケーブル (ストレイン リリーフ付き)
P1031365-062	KIT ACC QLn シリアル ケーブル (ストレイン リリーフ付き) RJ45 用
P1031365-063	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、US (タイプ A) コード (その他の国については Sales を参照)
P1031365-069	KIT ACC QLn220/320 および ZQ500 シリーズ大容量スペア バッテリ LED 付き
P1031365-192	KIT ACC QLn シリーズ ショルダー ストラップ
P1031365-104	KIT ACC QLn シリアル ケーブル (ストレイン リリーフ付き) LS2208 スキャナ用ロング
P1024458-002	ベルト、クリップ、QLN、HC
AC11775-5	モデル UCLI72-4 クワッド バッテリ充電器 (US ライン コード、その他の国については Sales を参照)
BTRY-MPP-34MA1-01	ZQ6 および ZQ500 シリーズ用 3400mAh バッテリ
BTRY-MPP-34MAHC1-01	ZQ6 ヘルスケア プリンタ用 3400mAh バッテリ
SAC-MPP-3BCHGUS1-01	3 スロット バッテリ充電器
SAC-MPP-6BCHUS1-01	デュアル 3 スロット バッテリ充電器
SAC-MPP-1BCHGUS1-01	1 スロット バッテリ充電器
VAM-MPP-VHCH1-01	車両アダプタ
P1065668-008	KIT ACC QLn、AC アダプタ、ストレート、30W、HC、US (タイプ A) コード対応

ZQ630 Plus 用付属品

部品番号	説明
BTRY-MPP-68MA1-01	KIT ACC ZQ630 スペア スマート バッテリ

ご使用前に

部品番号	説明
P1050667-007	KIT ACC QLn420 ゴム製ドア I/O (15)
P1050667-010	KIT ACC QLn420 ゴム製ドア DC ジャック (15)
P1050667-017	KIT ACC QLn4/ZQ630 ソフト ケース (ショルダー ストラップ付き)
P1050667-018	KIT ACC QLn4/ZQ63 -EC AC アダプタ US (タイプ A) コード
P1050667-019	KIT ACC QLn4/ZQ63-EC AC アダプタ UK (タイプ G) コード
P1050667-020	KIT ACC QLn4/ZQ63-EC AC アダプタ EU/チリ (タイプ C) コード
P1050667-021	KIT ACC QLn4/ZQ63-EC、AC アダプタ、日本コード
P1050667-022	KIT ACC QLn4/ZQ6-EC AC アダプタ、ブラジル コード
P1050667-023	KIT ACC QLn4/ZQ63-EC AC アダプタ、アルゼンチン コード
P1050667-024	KIT ACC QLn4/ZQ63-EC AC アダプタ、オーストラリア (タイプ I) コード
P1050667-025	KIT ACC QLn4/ZQ63-EC AC アダプタ、CN コード
P1050667-026	KIT ACC QLn4/ZQ63-VC - 15V - 60V ~ 12V
P1050667-027	KIT ACC QLn4/ZQ63-EC AC アダプタ、台湾コード
P1050667-028	KIT ACC QLn4/ZQ63-EC AC アダプタ、イスラエル コード
P1050667-029	KIT ACC QLn4/ZQ63-EC (アダプタなし、コードなし)
P1050667-030	KIT ACC QLn4/ZQ63-VC (アダプタなし、コードなし)
P1050667-031	KIT ACC QLn4/ZQ63 金属ベルト クリップ
P1050667-032	KIT ACC QLn4/ZQ63 Handi-Mount (コンパクトで柔軟な RAM アーム) ベース プレート付き
P1050667-033	KIT ACC QLn4/ZQ63 Handi-Mount (コンパクトで柔軟な RAM アーム) ベース プレートなし
P1050667-034	KIT ACC QLn4/ZQ63 ASSY ハード ケース、金属ベルト クリップ付き
P1050667-035	KIT ACC QLn4/ZQ63 フォークリフト向けモバイル マウント (U アーム ブラケットと折り畳みビン)
P1050667-037	KIT ACC QLn4/ZQ63 モバイル マウント
P1050667-038	KIT ACC QLn/ZQ6 デスクトップ スタンド
P1050667-041	KIT ACC QLn4/ZQ63 バッテリー エリミネーター、アダプタなし
P1050667-047	KIT ACC QLn4/ZQ63 RAM モバイル マウント
P1031365-064	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、UK (タイプ G) コード
P1031365-065	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、EU/チリ (タイプ C) コード
P1031365-066	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、オーストラリア (タイプ I) コード

部品番号	説明
P1031365-067	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、ブラジル
P1031365-068	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、中国コード
P1031365-083	KIT ACC QLn/ZQ5/ZQ6、AC アダプタ、アルゼンチン コード
P1031365-088	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、イスラエル コード
P1031365-089	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、アルゼンチン コード
P1031365-093	KIT ACC QLn/ZQ5/ZQ6,AC アダプタ、台湾コード
P1031365-094	KIT ACC QLn/ZQ5/ZQ6、AC アダプタ、日本コード
P1031365-095	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、台湾コード
P1031365-096	KIT ACC SC2 リチウムイオン Smart Charger、日本コード
SG-MPP-Q4HLSTR1-01	キット、ウェスト、ストラップ、QLn420

ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続

プリンタを Microsoft Windows ベースのコンピュータで使用するには、正しいドライバをインストールする必要があります。



重要: プリンタをコンピュータに接続する際は、任意の使用可能な接続を使用できます。ただし、指示があるまでは、コンピュータからプリンタにケーブルを接続しないでください。接続のタイミングを間違えると、正しいプリンタ ドライバがインストールされません。誤ったドライバのインストールから回復するには、「[最初にプリンタ ドライバをインストールしなかった場合の対処方法](#)」を参照してください。

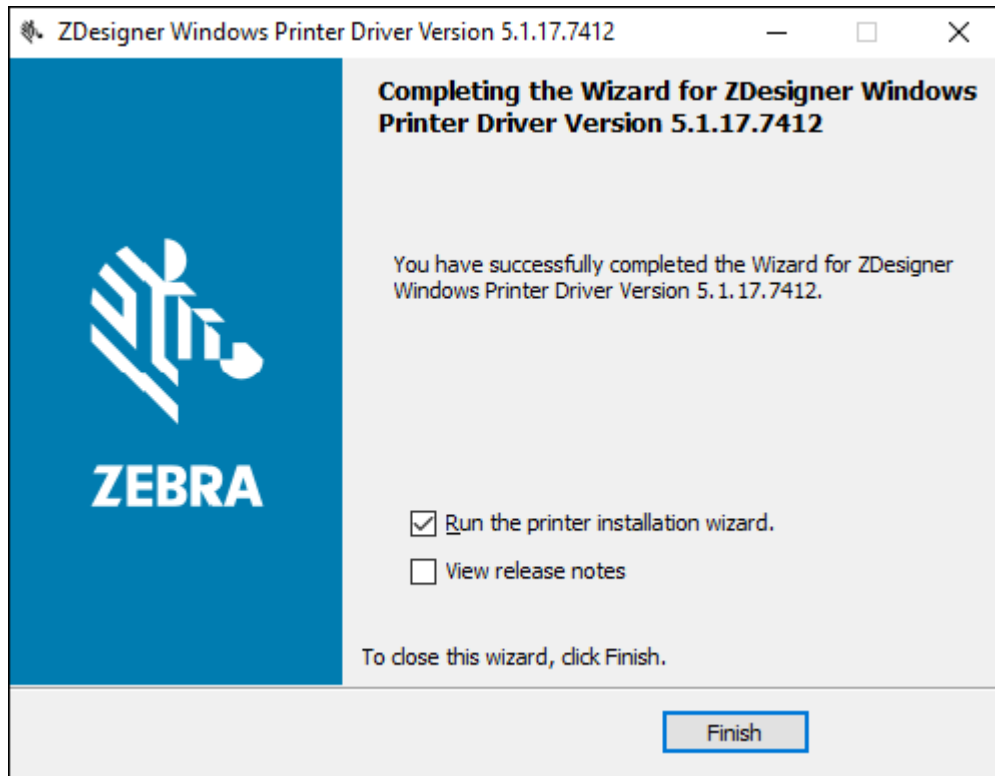
ドライバのインストール

次のステップに従い、正しいドライバをインストールします。

1. zebra.com/drivers に移動します。
2. **[Printers] (プリンタ)** をクリックします。
3. プリンタ モデルを選択します。
4. プリンタの製品ページで、**[Drivers] (ドライバ)** をクリックします。
5. Windows 用の適切なドライバをダウンロードします。

ドライバの実行可能ファイル (zd86423827-certified.exe など) が、[Download] (ダウンロード) フォルダに追加されます。

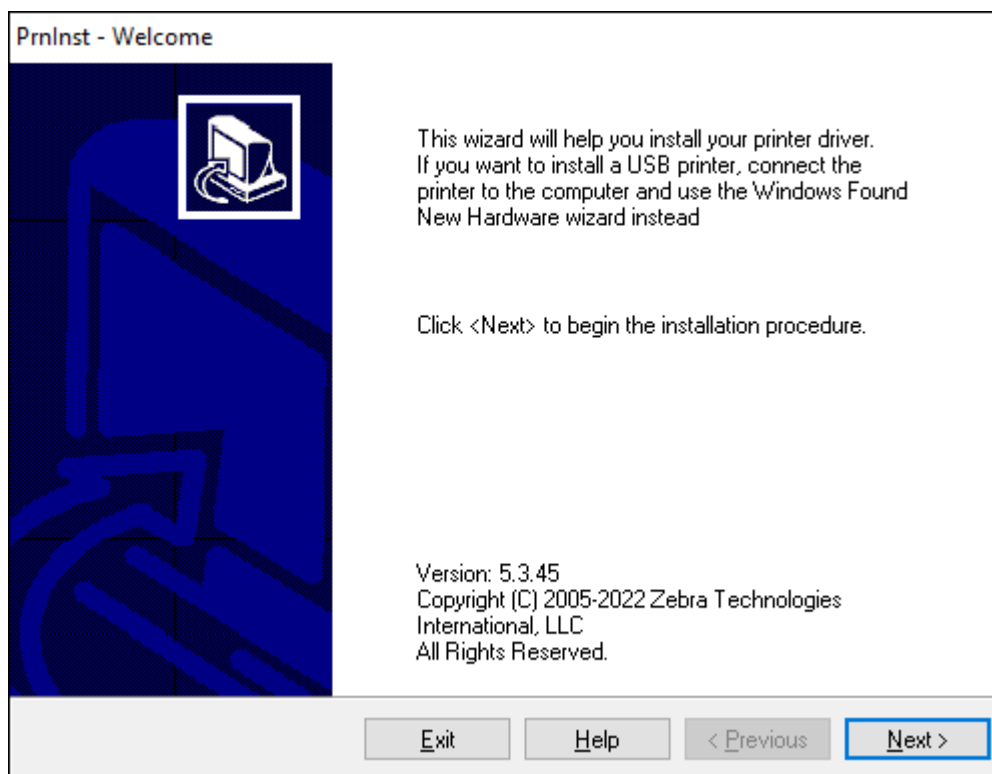
6. その実行可能ファイルを実行して、プロンプトに従います。
セットアップが完了したら、特定のプリンタを追加できます ([プリンタのインストールウィザードの実行](#) (27ページ) を参照してください)。



プリンタのインストールウィザードの実行

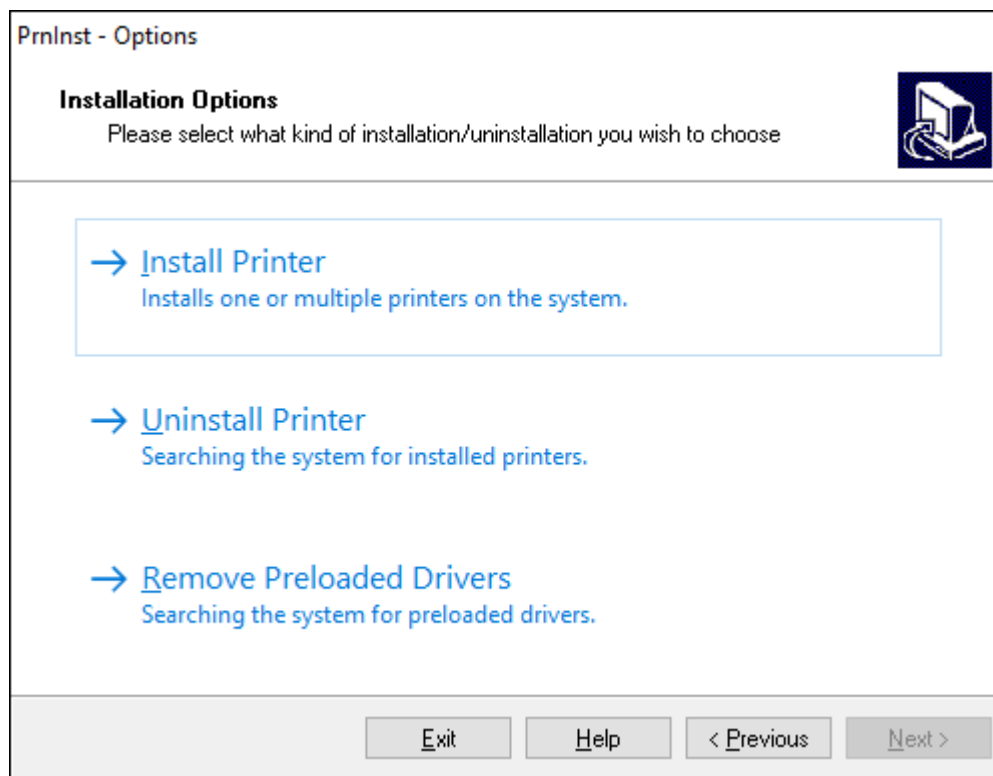
1. ドライバインストーラの最後の画面で、**[Run the Printer Installation Wizard] (プリンタのインストール ウィザードを実行する)** チェックボックスをオンのままにして、**[Finish] (完了)** をクリックします。

プリンタドライバウィザードが表示されます。



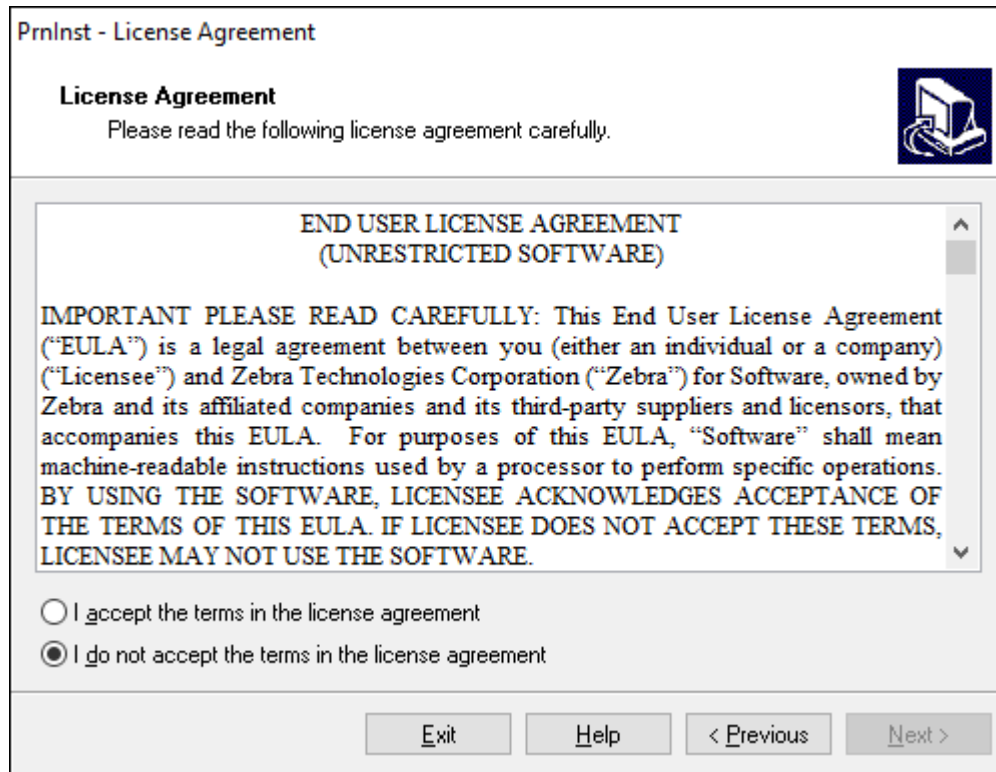
2. [Next] (次へ) をクリックします。

インストール オプションの選択を促されます。



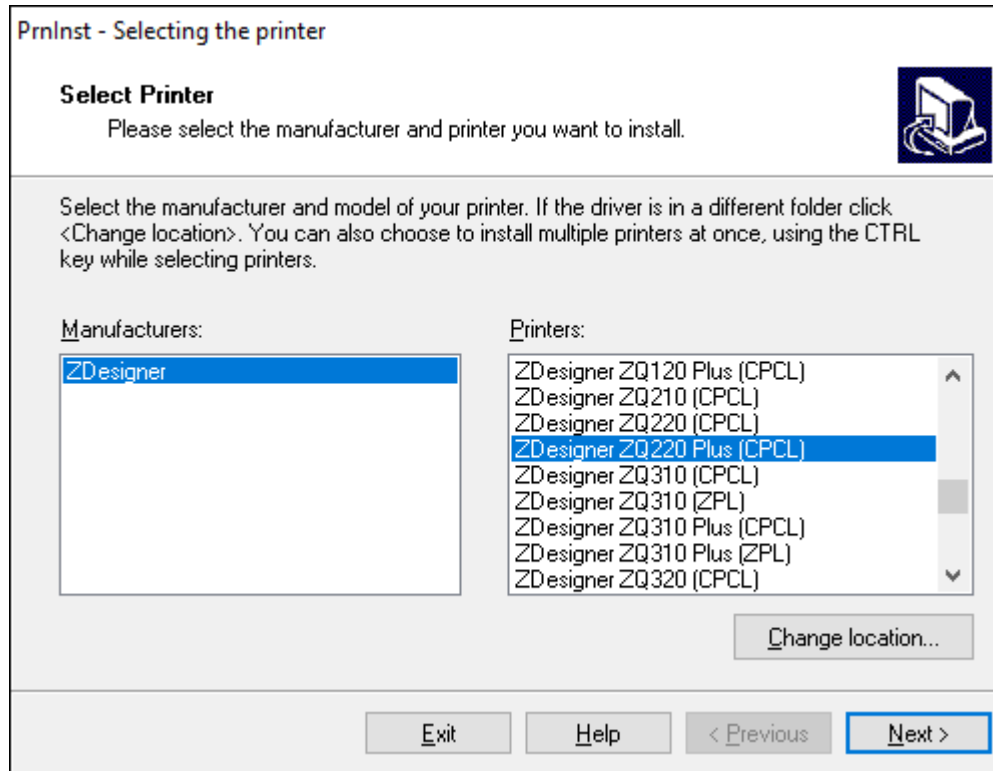
3. [Install Printer] (プリンタのインストール) をクリックします。

使用許諾契約が表示されます。



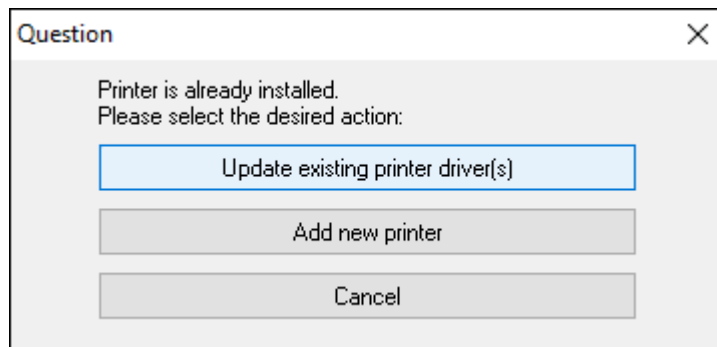
4. 重要な情報を読み、**[I Accept the Terms in the License Agreement] (ライセンス契約の条項に同意します)** ボタンを選択して、条項に同意します。**[Next] (次へ)** をクリックします。

プリンタのタイプの選択を促されます。プリンタのモデルは、本体上部の切り取りバーの横にあるか、またはプリンタの下にある部品ステッカーに記載されています。



5. **[Next] (次へ)** をクリックします。

プリンタがインストール済みであると通知されます。



6. [Add new printer] (新規プリンタの追加) をクリックします。

プリンタ名、プリンタの接続先ポート、プリンタ ディスプレイの言語の指定を求められます。[USB001] を選択します。

PrnInst - Options

Printer Options
Please select port, printer name and language.

Enter the name for your printer. Also, select the port your printer is connected to. When you are done, select <Next> to install the printer and add an icon to the Printers folder.

Driver version: 5.1.17.7412

Printer name: ZDesigner ZQ220 Plus (CPCL)

Available ports:

- LPT3:
- Microsoft.Office.OneNote_16001.14326.21146.0_x64_nul:
- PORTPROMPT:
- SHRFAX:
- USB001**
- WSD-95ddf4f6-7432-46b5-8d08-20d52579f913

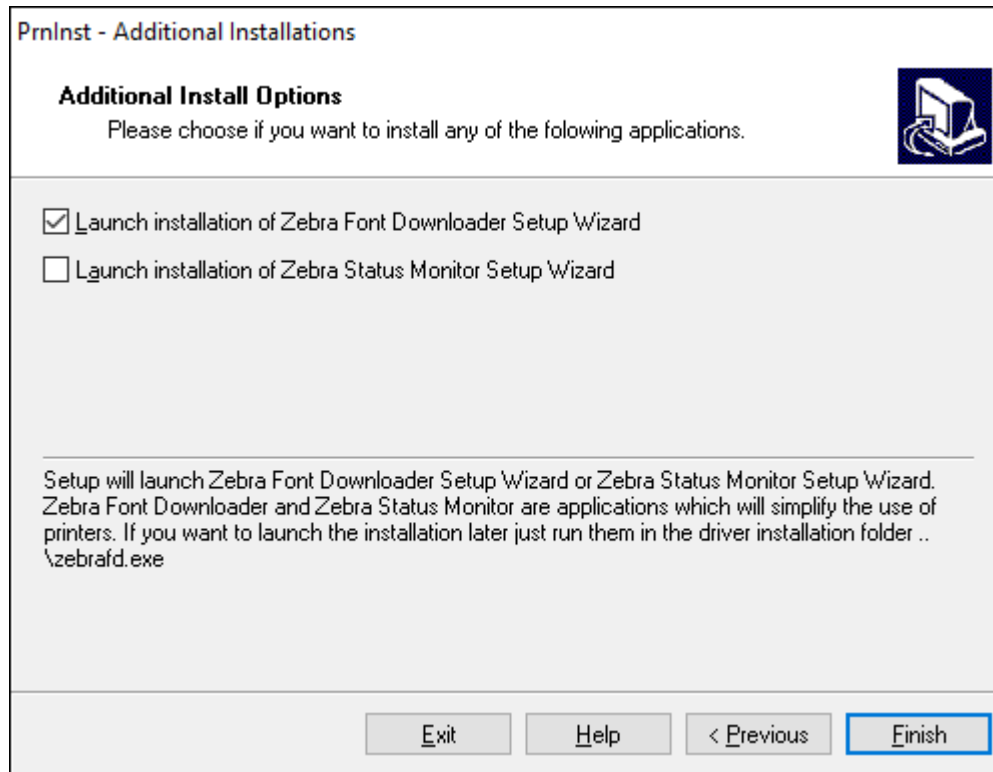
I want to use this printer as the Windows default printer.

Select language: English

Exit Help < Previous **Next >**

7. [Next] (次へ) をクリックします。

他の設定ウィザードの起動を促されます。



8. [Finish] (完了) をクリックします。

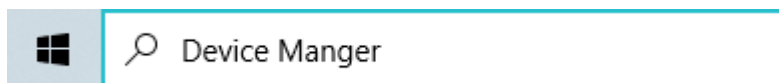
ドライバをインストールしたら、USB コードをプリンタの USB ポートに接続します ([ケーブル通信](#) (43ページ) を参照)。

プリンタのブートアップ時に、ドライバがインストールされ、プリンタが認識されます。最初にドライバをインストールしなかった場合は、[最初にプリンタドライバをインストールしなかった場合の対処方法](#) (33ページ) を参照してください。

最初にプリンタドライバをインストールしなかった場合の対処方法

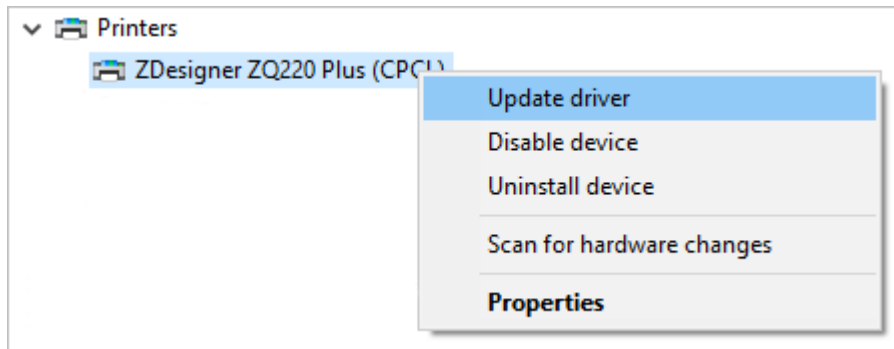
ドライバをインストールする前に Zebra プリンタを接続すると、そのプリンタは不明なデバイスとして表示されます。

1. [ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続](#) (26ページ) の説明に従って、ドライバをダウンロードしてインストールします。
2. Windows メニューを右クリックし、[Device Manager] (デバイス マネージャ) を選択します。
 - または、タスクバーにある Windows の検索バーに「デバイス マネージャ」と入力します。

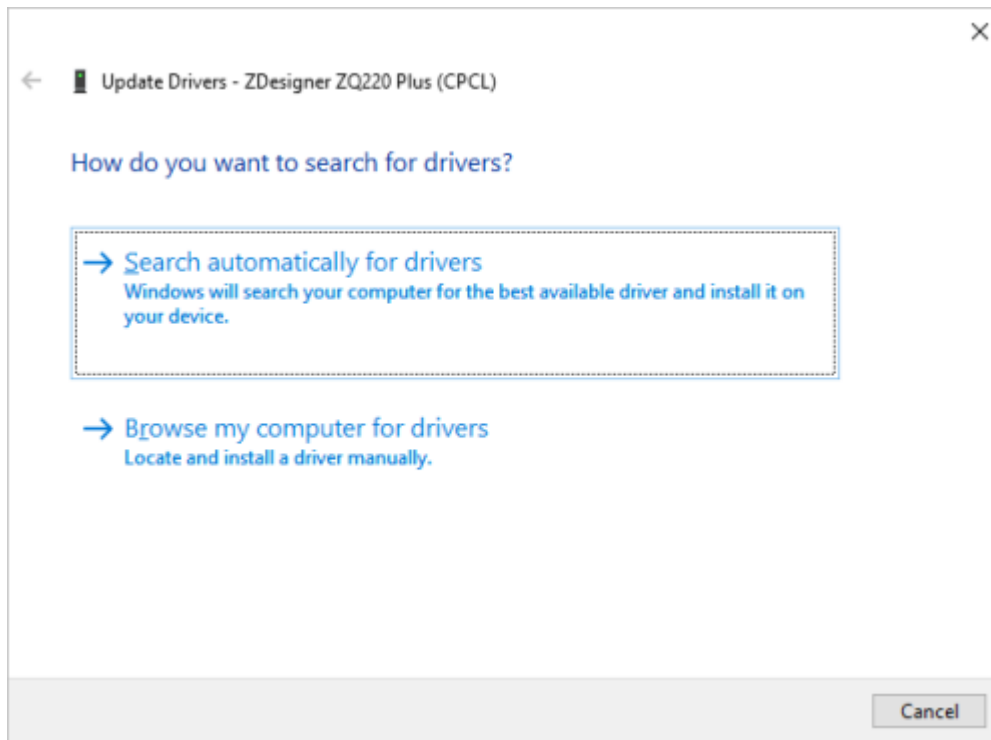


3. [Devices and Printers] (デバイスとプリンタ) をクリックします。
次の例では、ZQ220 Plus が、正しくインストールされていない Zebra プリンタです。
4. リストから [Printers] (プリンタ) を見つけ、矢印を選択してリストを展開します。

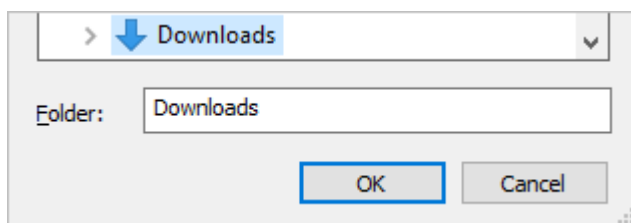
5. ZDesigner ZQ220 Plus (CPCL) を右クリックしてメニューを開きます。



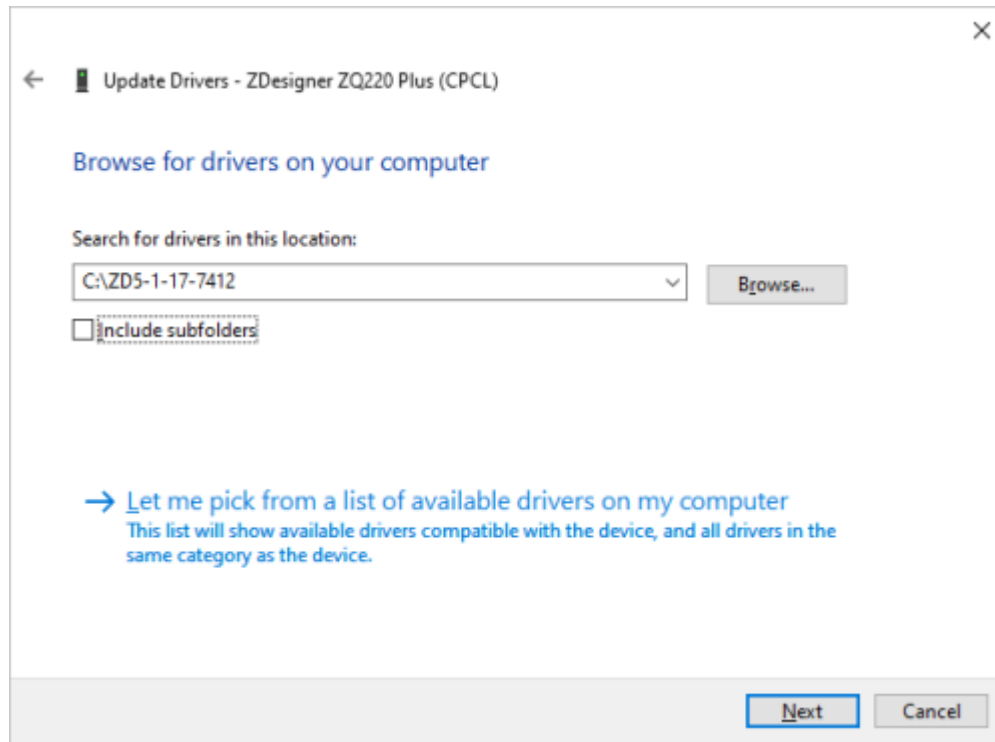
6. [Update Driver] (ドライバの更新) をクリックします。



7. [Browse my computer for driver software] (コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索) をクリックします。
8. [Browse...] (参照...) をクリックして、ダウンロードフォルダに移動します。



9. [OK] をクリックして、フォルダを選択します。



10. [Next] (次へ) をクリックします。

デバイスが正しいドライバを使用するように更新されます。

Zebra セットアップ ユーティリティ

ローカル エリア ネットワーク (LAN) で使用できるようにプリンタを設定するには、その前に、プリンタのネットワーク設定の確立に必要な基本情報が必要です。Zebra Setup Utilities (ZSU) を使用すると、プリンタを素早く容易に多様な用途に設定できます。たとえば、ローカル エリア ネットワーク (LAN) か、国際的な Bluetooth 通信規格のいずれかで、無線通信向けにプリンタを設定できます。

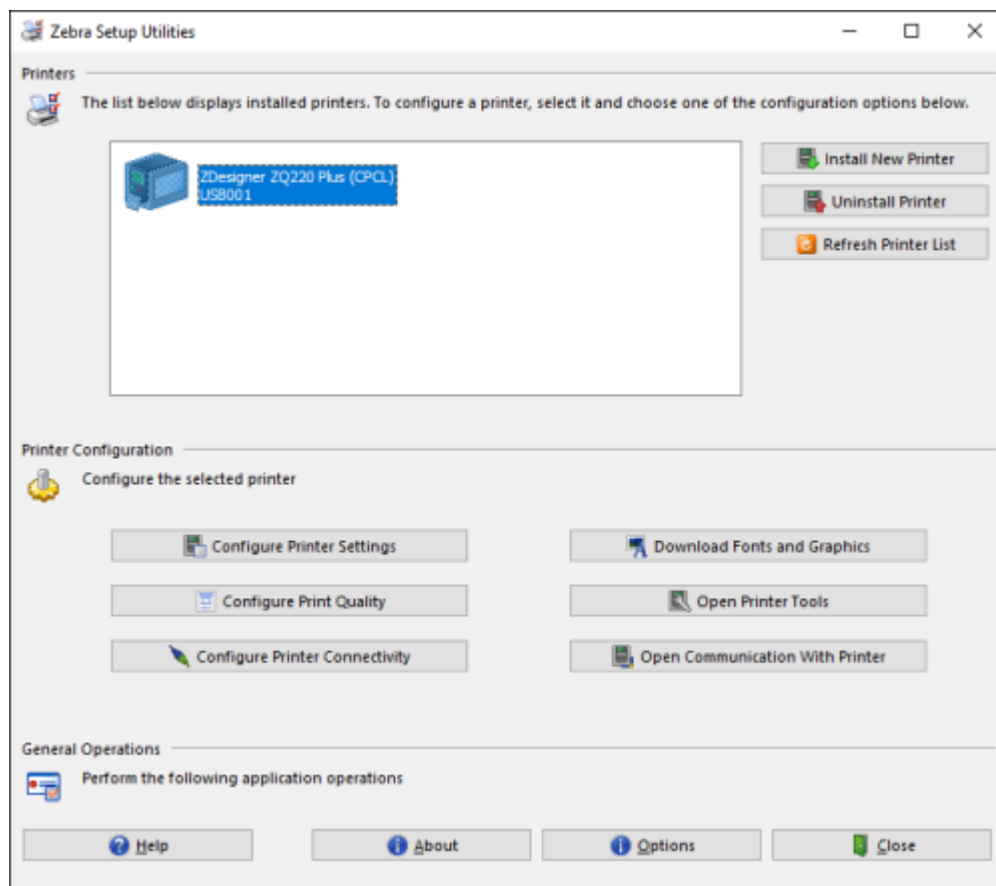
Zebra Setup Utilities をコンピュータにダウンロードしたら、USB ケーブルをプリンタとコンピュータに接続します ([ケーブル通信](#) (43ページ) を参照してください)。

zebra.com/support にアクセスし、Zebra Setup Utilities をダウンロードします。

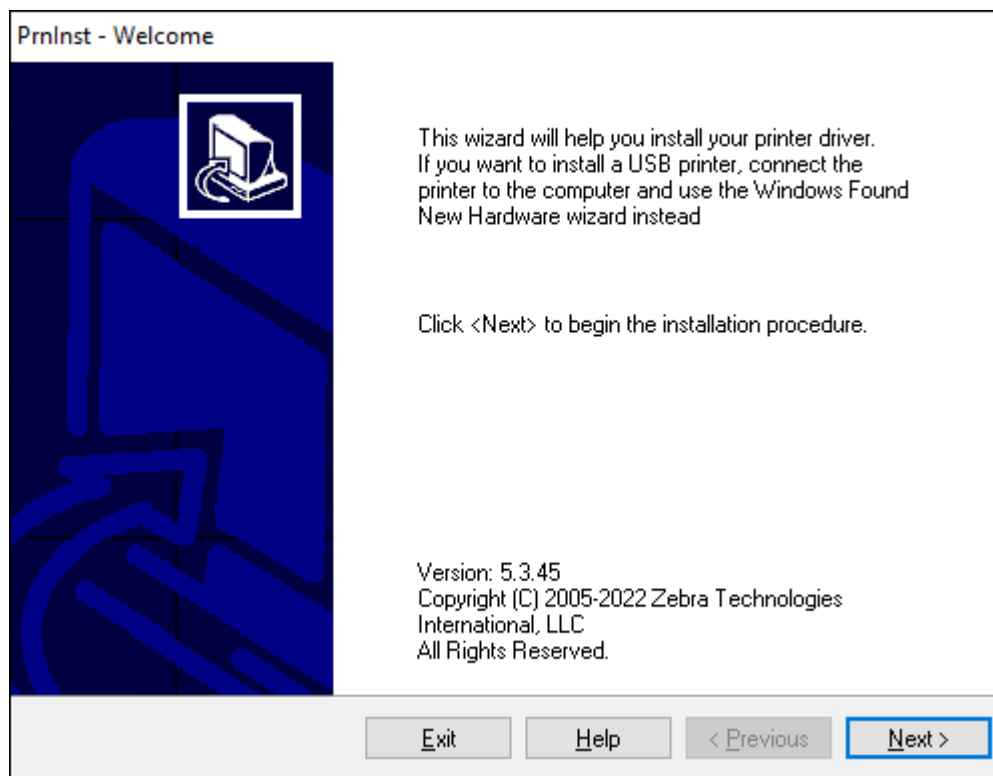
Zebra Setup Utilities によるプリンタの追加

必要に応じて、ドライバのインストール後に、Zebra Setup Utilities を使用して Windows にプリンタを追加できます。

1. 必要な場合は、Zebra Setup Utilities プログラムをインストールします。
 - a) zebra.com/setup にアクセスし、Zebra Setup Utilities for Windows をダウンロードします。
 - b) ダウンロードした `zsu-xxxxxxxx.exe` ファイルを実行します。
 - c) InstallAware ウィザードの指示に従います。
 - d) ウィザードの最後の画面で、**[Run Zebra Setup Utilities now] (Zebra Setup Utilities を今すぐ実行)** の横にあるチェックボックスをクリックし、**[Finish] (完了)** をクリックします。
 - e) システム準備ウィザードの指示に従います。
2. 必要な場合は、**Zebra Setup Utilities** プログラムを開きます。

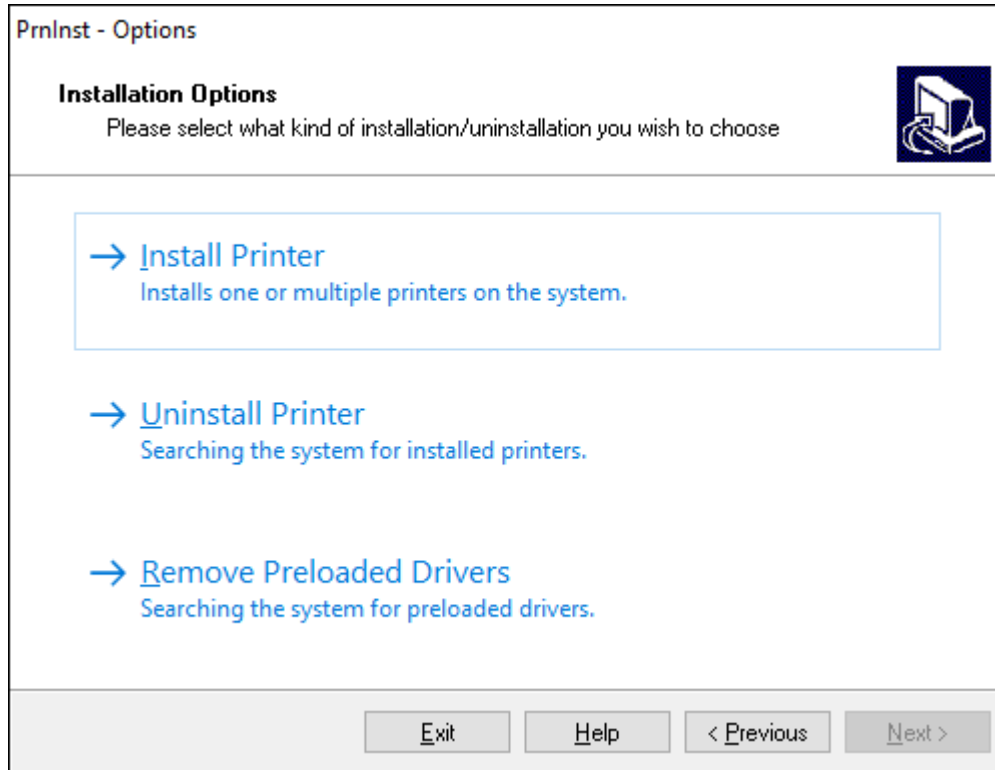


3. [Install New Printer] (プリンタの新規インストール) をクリックします。
プリンタドライバウィザードが表示されます。



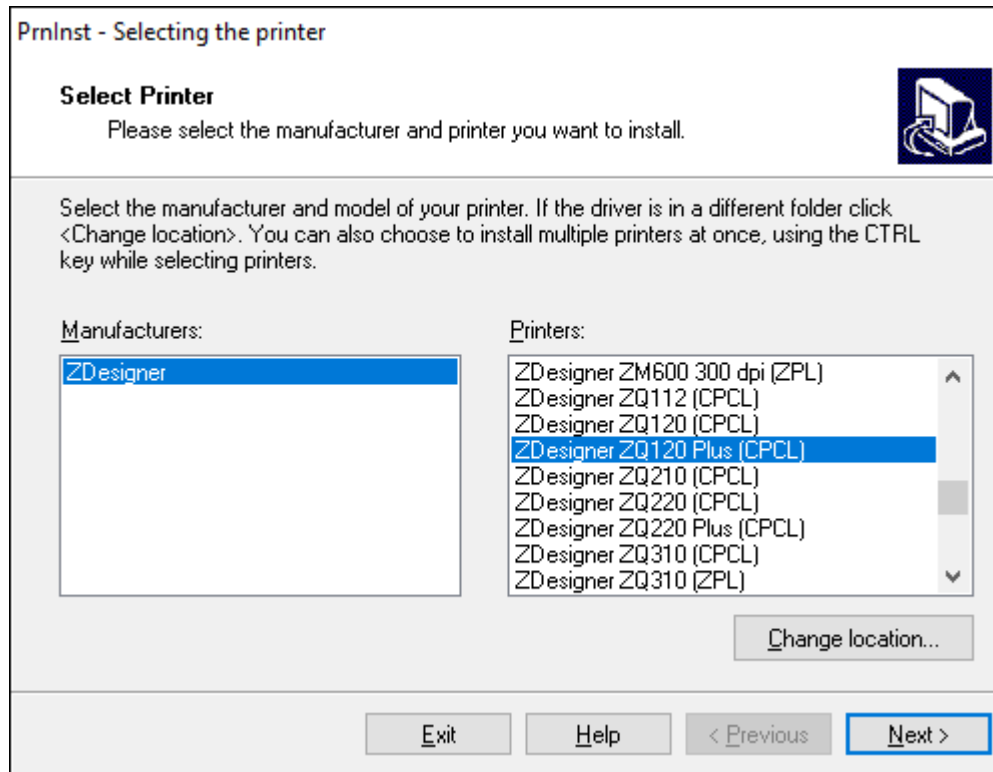
4. [Next] (次へ) をクリックします。

インストール オプションの選択を促されます。



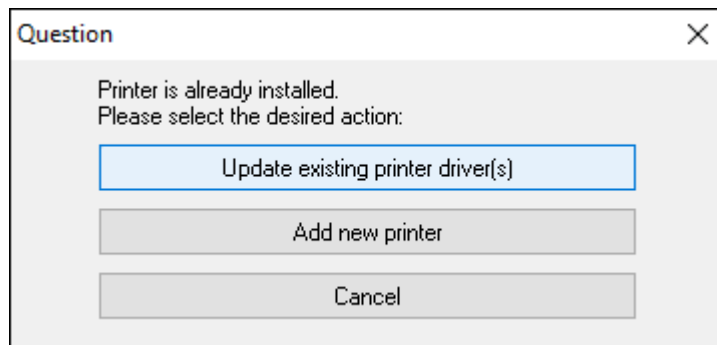
5. [Install Printer] (プリンタのインストール) をクリックします。

プリンタのタイプの選択を促されます。モデルタイプは、プリンタ上部の切り取りバーの横にあるか、プリンタの下にある部品ステッカーに記載されています。



6. [Next] (次へ) をクリックします。

プリンタがインストール済みであると通知されます。



7. [Add new printer] (新規プリンタの追加) をクリックします。

プリンタ名、プリンタの接続先ポート、プリンタ ディスプレイの言語の指定を求められます。[USB001] をクリックします。

PrnInst - Options

Printer Options
Please select port, printer name and language.

Enter the name for your printer. Also, select the port your printer is connected to. When you are done, select <Next> to install the printer and add an icon to the Printers folder.

Driver version: 5.1.17.7412

Printer name: ZDesigner ZQ120 Plus (CPCL)

Available ports:

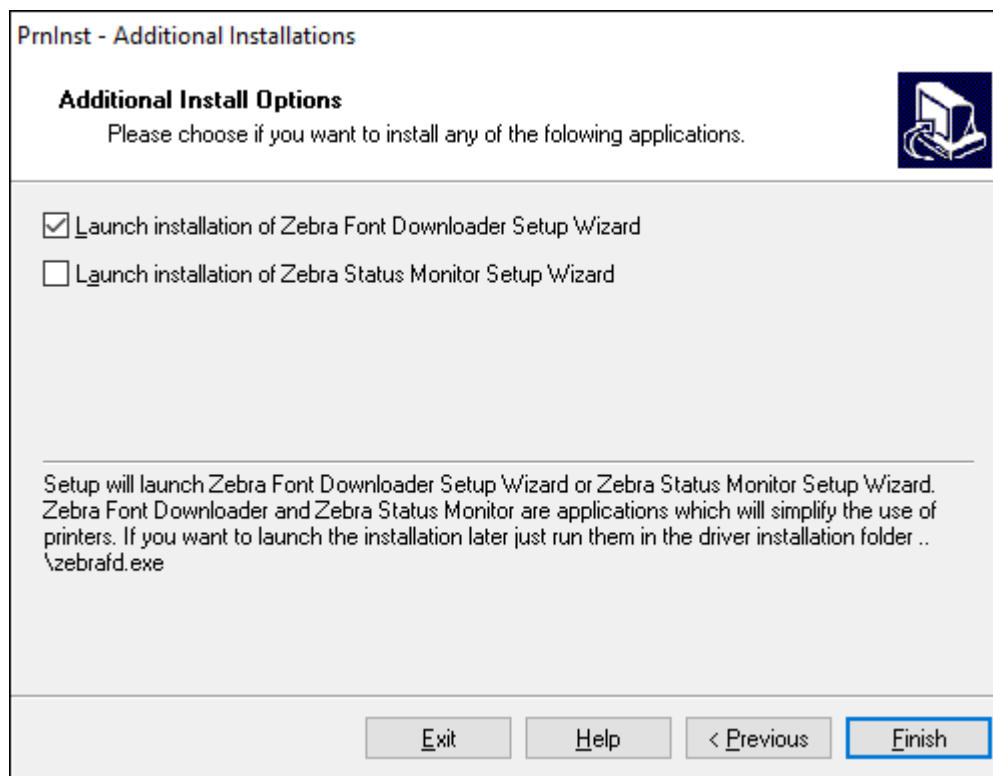
- LPT3:
- Microsoft.Office.OneNote_16001.14326.21146.0_x64_nul:
- PORTPROMPT:
- SHRFX:
- USB001**
- WSD-95ddf4f6-7432-46b5-8d08-20d52579f913

I want to use this printer as the Windows default printer.

Select language: English

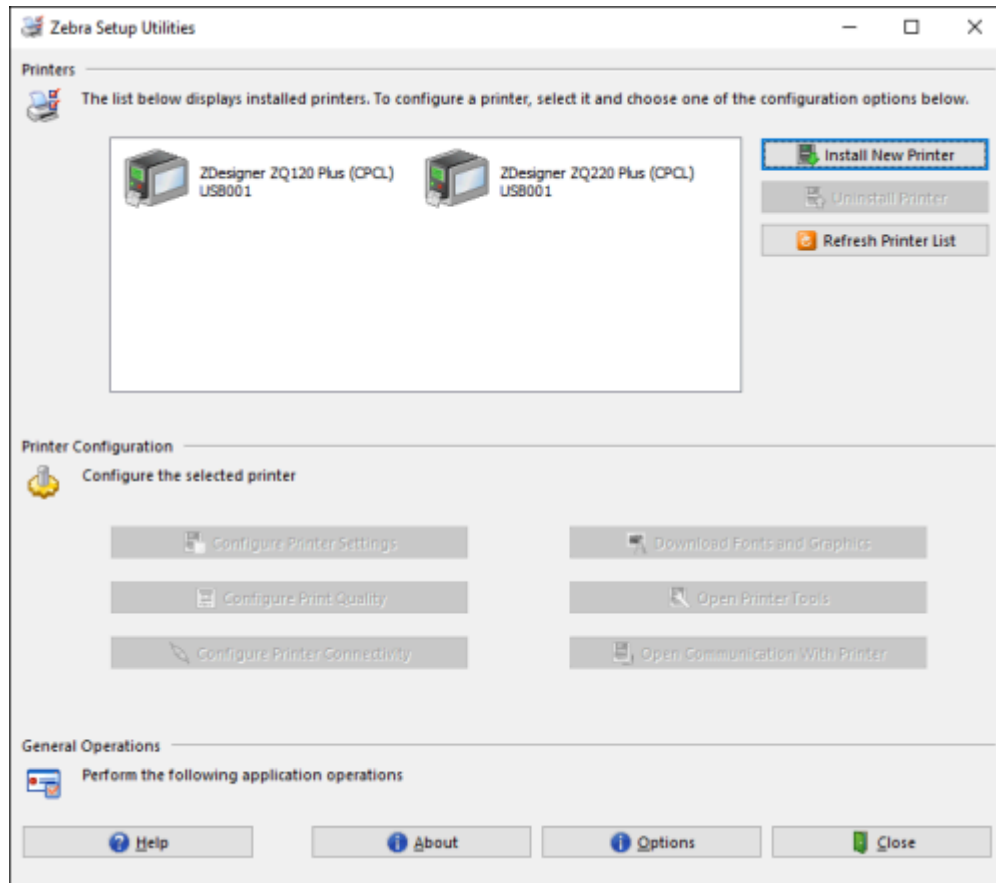
Exit Help < Previous **Next >**

8. [Next] (次へ) をクリックします。
他の設定ウィザードの起動を促されます。



9. 必要なオプションを選択して、**[Finish] (完了)** をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。他のプログラムも影響される可能性がある则表示される場合は、適切なオプションをクリックして続行します。



ケーブル接続

- RS-232C または USB 2.0 のケーブルを使用します。シリアル、USB、およびネットワーク経由の印刷をサポートする Windows ドライバは、Zebra Designer Driver に含まれており、zebra.com/drivers からダウンロードできます。
- 802.11 仕様準拠のワイヤレス LAN (ローカル エリア ネットワーク) を使用します (オプション)。
- イーサネット クレドールにドッキングされた状態でイーサネットを使用します
- Bluetooth 短距離 RF 接続を使用します。

WinMobile®、Blackberry®、および Android デバイスは、標準 Bluetooth プロトコルを使用します。

ZQ600 Plus シリーズ プリンタは iOS デバイスと互換性があります。そのため、Bluetooth を介した Apple デバイスへの印刷が可能です。



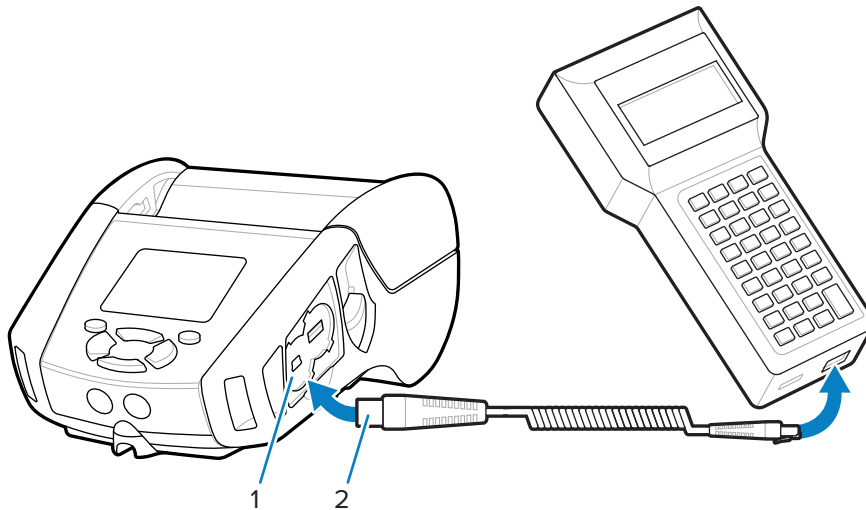
ケーブル通信

ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、ケーブルを介して通信できます。プリンタに付属するケーブルは、ホスト デバイスとモデル プリンタによって異なります。



注: 通信ケーブルに接続する、または接続を切断する前にプリンタをオフにする必要があります。

図 11 通信ケーブル



1	通信ポート
2	通信ケーブル

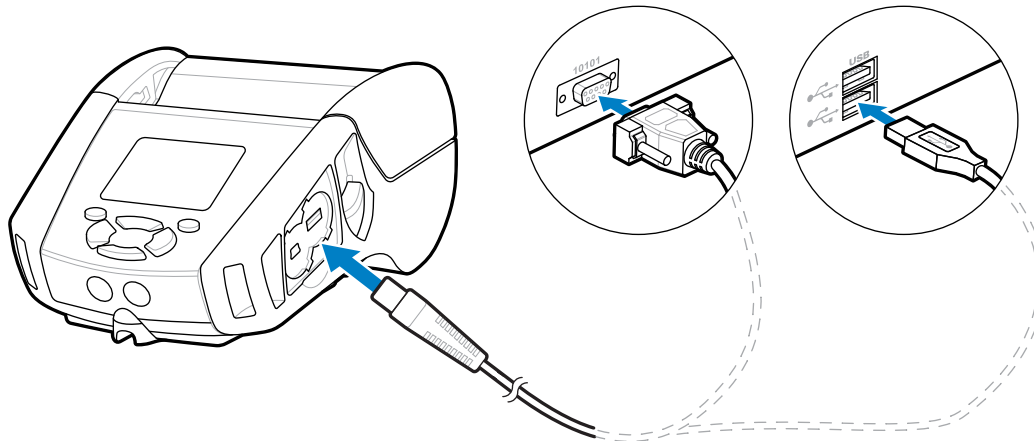
RS-232C

通信ケーブルの 14 ピン シリアル コネクタは、プリンタ側面にあるシリアル通信ポートに接続します。

USB 通信

ZQ600 Plus シリーズ プリンタには USB ポートもあります。USB ケーブルの 5 ピン コネクタをプリンタに差し込みます。図を参照して、正しいコネクタの向きを確認してください。ケーブルを無理に差し込まないでください。ケーブルのもう一方の端は、モバイル コンピュータに接続するか、コンピュータのシリアルポートまたは USB ポートに接続する必要があります。ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、USB Open HCI インタフェース ドライバで設定されるので、Windows ベースのデバイスと通信できます。

図 12 RS-232C または USB 通信ケーブルでコンピュータに接続

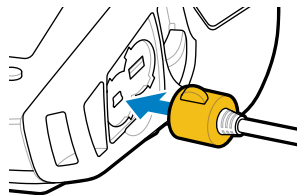


Zebra Designer Driver は、シリアル、USB、およびネットワーク経由の印刷をサポートする Windows ドライバを使用しています。モバイルコンピュータやその他の通信デバイスでは、USB 接続を使用するために特別なドライバのインストールが必要になる場合があります。詳細については、zebra.com/support を参照してください。

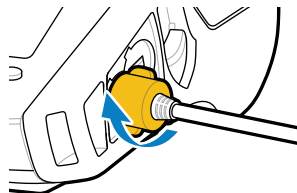
通信ケーブル用ストレインリリーフ

通信ケーブルを所定の位置にロックすると、張力が緩和し、ケーブルがプリンタから外れるのを防ぎます。USB または RS-232 通信ケーブルをプリンタに恒久的に接続するには、以下の操作を実行します。

1. プリンタ側面のラッチリリースレバーの隣にある通信ポートにアクセスします。
2. コネクタを適切なポートに差し込み、プラスチックのロックキャップを切り欠き部に合わせます。



3. ロックキャップを時計回りに回してケーブルを所定の位置に固定します(ケーブルのロックを解除するには、反時計回りに回します)。



ケーブルが所定の位置にロックされます。



注: 張力を緩和するため、USB/RS-232 通信ポートに一度に使用できるケーブルは 1 本のみです。

バッテリーの使用

ZQ600 Plus シリーズ プリンタでは、Power Precision+ (PP+) 機能に適合するインテリジェンスとデータストレージ機能を備えたりチウムイオンバッテリーパックを使用します。ZQ610 Plus および ZQ620 Plus は2セルのバッテリーパックを使用し、ZQ630 Plus は4セルのバッテリーパックを使用します。このインテリジェントなバッテリーは、リアルタイムのバッテリー指標を収集して、バッテリー寿命を最大限に延ばし、すべてのバッテリーが正常に動作し、フル充電を維持できるようにします。インテリジェントなバッテリーは、バッテリーの合計サイクル数、交換時期、フル充電までの時間など、有効なバッテリー情報をリアルタイムで把握するために必要なデータを追跡し、維持します。

プリンタ	動作温度	充電温度	保管温度
ZQ610 Plus	-20 ~ 60°C	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)	-25 ~ 60°C
ZQ620 Plus	(-4 ~ 140°F)		(-13 ~ 140°F)
ZQ610 Plus-HC ZQ620 Plus-HC	0 ~ 50°C (32 ~ 122°F)		
ZQ630 Plus	-20 ~ 50°C (-4 ~ 122°F)	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)	-25 ~ 65°C (-13 ~ 149°F)



重要:

- 充電を最適化するには、Zebra 製のスマート バッテリー パックのみを使用してください。
- デバイスの電源をオフにして、室温でバッテリーを充電してください。
- 理想的な充電条件は 5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) です。
- デバイスは、一貫して安全かつ適切な方法で充電を行います。高温時、デバイスは、バッテリーを許容温度範囲内に保つために、バッテリーの充電を断続的に有効または無効にすることがあります。異常な温度により充電を開始できない場合、デバイスは、LED インジケータを使用してアラートを表示して通知します。

スマートバッテリーには、3つの状態(良好、交換、不良)があります。プリンタが動作するかどうかは、バッテリーの状態によって異なります。この状態は、ディスプレイインタフェースを介してユーザーに通知されます。

充電サイクル数	バッテリー状態	起動メッセージ
300 未満	良	なし
300 ~ 599	交換	Battery Diminished, Consider Replacing (バッテリーが消耗しています。交換してください)*
550 ~ 599	交換	Warning-Battery Is Past Useful Life (警告 - バッテリーの耐用年数が過ぎています)*
600 以上	弱い	Replace Battery, Shutting Down (バッテリーを交換してください。停止します)**

* 警報音が1回長時間続いて鳴ります。

** 警告が点滅し、1秒に1回警報音が鳴ります。30秒経過するとプリンタが停止します。

バッテリーの安全性



注意：バッテリーの不慮の短絡が起こらないように注意してください。バッテリーの端子が導電素材と接触すると、短絡が生じ、火傷などのケガを招いたり、発火したりする恐れがあります。



重要：使用済みバッテリーは、常に適切な方法で処分するようにしてください。



注意—製品の損傷：Zebra が認可していない充電器を使用すると、バッテリーパックまたはプリンタ本体を破損する恐れがあります。また、その場合は、保証の適用外となります。



注意：焼却したり、分解したり、ショートさせたり、65°C (149°F) を超える高温にさらしたりしないでください。

バッテリー寿命の延長

- 充電する際には、バッテリーを直射日光に当てることや、40°C (104°F) 以上の温度になるような場所に置くことは絶対しないでください。
- リチウムイオンバッテリー専用の Zebra 充電器を必ず使用してください。その他の充電器を使用するとバッテリーが破損する恐れがあります。
- 印刷要件に適した用紙を使用してください。Zebra 認定販売代理店が、お客様の用途に最適な用紙の選択をお手伝いします。
- すべてのラベルに同じテキストまたはグラフィックを印刷する場合は、事前に印刷済みのラベルの使用をご検討ください。
- 用紙に合った印刷濃度および速度を選択してください。
- 必要に応じて、ソフトウェア ハンドシェイク (XON/XOFF) を使用してください。
- 1 日以上使用しない場合、およびメンテナンス充電を行わない場合は、プリンタからバッテリーを取り外しておいてください。
- 追加バッテリーの購入をご検討ください。
- 充電式バッテリーは、種類を問わず、いずれ充電機能が劣化します。ある程度決まった回数の充電を繰り返すと、交換が必要になります。電池は必ず適切に廃棄してください (「[Product and Battery Recycling](#) (製品とバッテリーのリサイクル)」を参照してください)。

バッテリーの取り外し

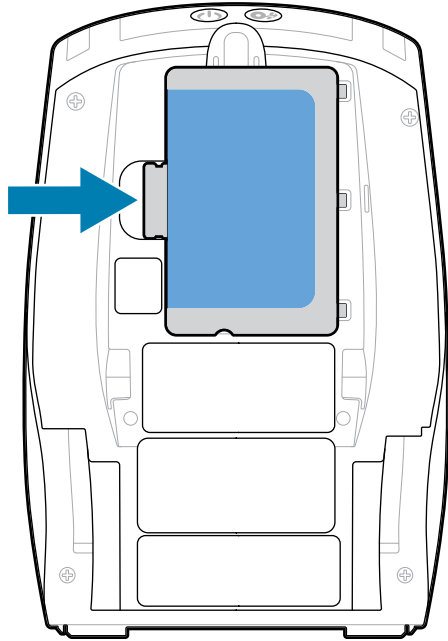
このセクションでは、プリンタからバッテリーを取り外す方法について説明します。



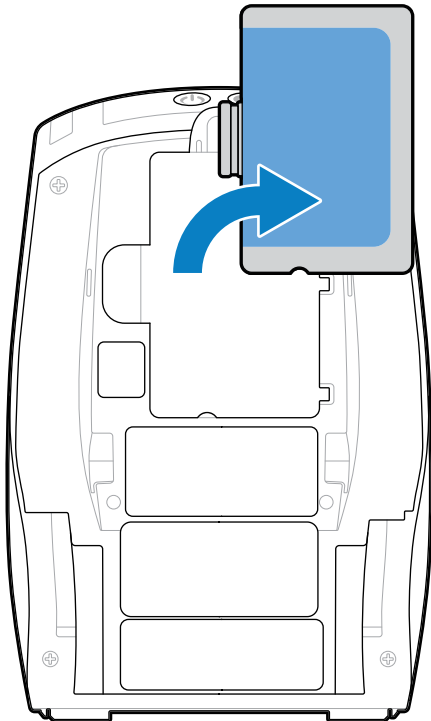
注：バッテリーのお買い上げ時の設定は、スリープモードです。これは、保管中、初回使用時まで完全充電の状態を維持するためです。

1. プリンタの底面にベルトクリップがある場合は、次のいずれかの操作を行います。
 - クリップを回転させて、バッテリーのための空間を確保します。
 - ベルトクリップを完全に取り外します。

2. バッテリーパックのラッチを押します (矢印の場所)。



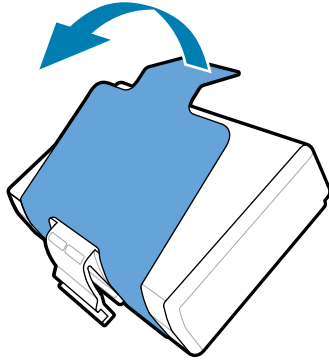
3. バッテリー受けからパックを起こし、バッテリーを持ち上げてプリンタから取り外します。



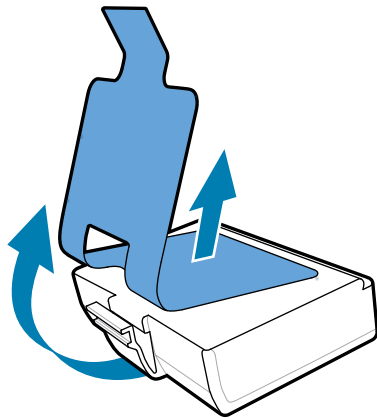
バッテリー テープ絶縁部の取り外し

このセクションでは、バッテリー テープ絶縁部の取り外し方法について説明します。

1. バッテリー パックの下部にあるテープ絶縁部のツメを引き出します。



2. テープ絶縁部を剥がし、バッテリー パックの上部から取り外します。取り外したテープ絶縁部は破棄します。



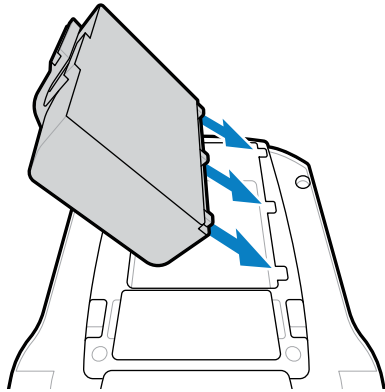
注： バッテリーを不適切な方法で充電したり、高温にさらしたりすると、発火や液漏れする可能性があります。バッテリーを分解、破壊したり、バッテリーに穴を開けたりしないでください。また、外部接触部を短絡させたり、火や水の中に捨てたりしないでください。充電は Zebra 承認のリチウムイオン充電器でのみ行ってください。

バッテリーの取り付け

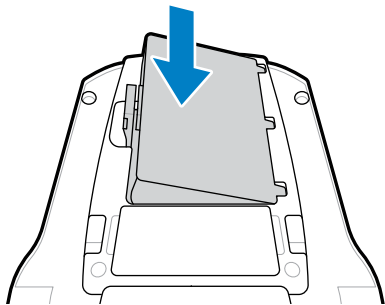
このセクションでは、バッテリーを正しく取り付ける方法について説明します。

1. プリンタの下部にあるバッテリー コンパートメントを確認します。
2. ベルトクリップ (ある場合) を回してバッテリー コンパートメントにアクセスするか、ベルトクリップを完全に取り外します。

3. バッテリーパックを傾けて、バッテリー コンパートメントに挿入します。



4. バッテリーをコンパートメントに入れて、所定の位置にロックされ、プリンタ内で平らになるまで回転させます。



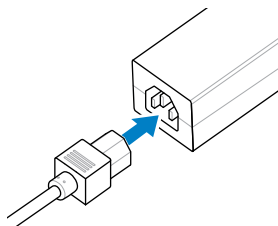
バッテリーの充電とクレードル

このセクションでは、プリンタのバッテリーを効果的に管理および使用方法、および充電および保管の目的で使用できる互換性のあるバッテリー クレードルの詳細について説明します。

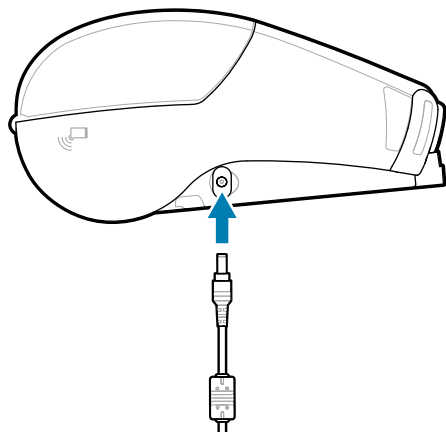
バッテリーの充電

このセクションでは、AC 電源アダプタを使用してバッテリーを充電する方法について説明します。

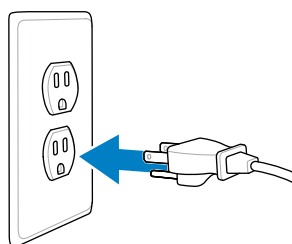
1. 設置場所に合った AC 電源コードをアダプタに接続します。



2. プリンタの保護カバーを開いて、DC 入力充電ジャックを露出させます。次に、AC アダプタのバレルプラグをプリンタの充電ジャックに差し込みます。



3. 電源コードをコンセントに接続します。



プリンタに電源が入り、充電が開始します。この時点で、プリンタの電源を入れたままにすることも、切ることができます。いずれの状態でも充電は継続されます。



重要：プリンタを使用しながらでもバッテリーの充電は可能ですが、充電時間が長くなります。

充電器の取り扱いに関する注意事項

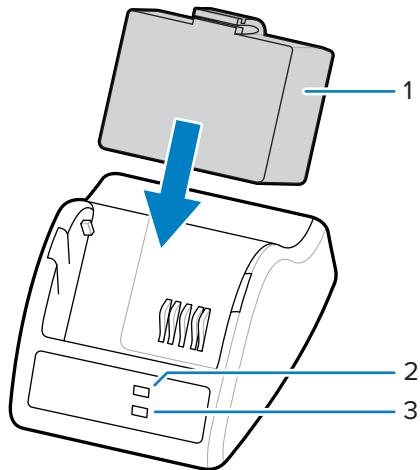


CAUTION-PRODUCT DAMAGE：充電器は、充電ベイに液体または金属の物体が落下するような場所に置かないでください。

Smart Charger 2 - シングル バッテリ チャージャー

Smart Charger 2 (SC2) は、ZQ610 Plus および ZQ620 Plus プリンタ用の 2 セルおよび 4 セル リチウムイオンスマート バッテリに使用する充電システムです。

図 13 Smart Charger 2



1	高性能バッテリー
2	充電ステータス LED インジケータ
3	バッテリー ステータス LED インジケータ


Smart Charger 2 の寸法

高さ	幅	長さ
65.1mm (2.56 インチ)	101.5mm (4 インチ)	120.9mm (4.75 インチ)

Smart Charger 2 - 充電ステータス インジケータ

SC2 では、下記の説明にあるように、LED インジケータを使用して、充電状態を緑色、黄色、または琥珀色で示します。

DC 電源入力端子	インジケータ	バッテリー ステータス
現在	緑色	バッテリーなし
現在	緑色	バッテリー充電完了
現在	黄色	充電
現在	琥珀色	充電不可
現在	オフ	あり。バッテリー状態 = 不良

バッテリー充電中アイコン  は、バッテリーの充電中状態を示します。すべてのバッテリーの充電時間は 2 時間です。

Smart Charger 2 - バッテリー状態インジケータ

Smart Charger 2 には、バッテリーパックの状態を示す 3 色 (黄/緑/琥珀) LED があります。バッテリーが充電器に挿入されるとバッテリー状態評価が開始され、状態が示されているように対応する LED が点灯します。LED は、電源が入っている限り点灯し続けます。

バッテリー	インジケータ	バッテリーステータス
なしまたは非スマート バッテリー	オフ	N/A
スマート バッテリーあり	緑色	良
スマート バッテリーあり	黄色	容量減少
スマート バッテリーあり	黄色の点滅	耐用年数超過
スマート バッテリーあり	琥珀色	使用不可 - 交換 (バッテリーをリサイクルしてください)

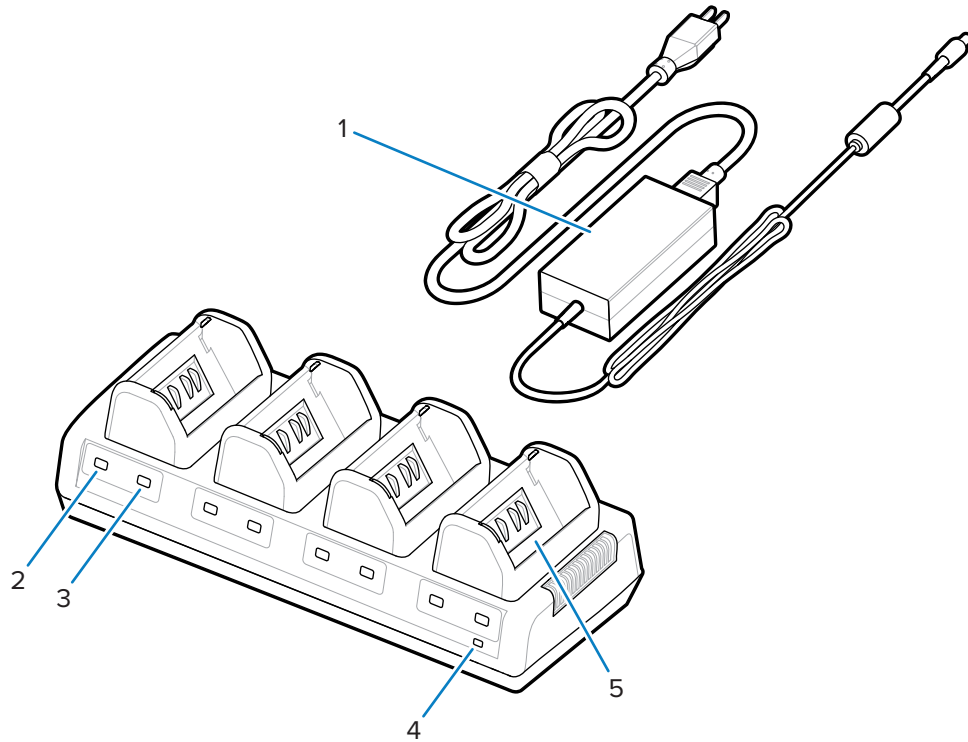


注: 詳細については、『Smart Charger 2 (SC2) for Mobile Printers User Guide (モバイルプリンタ用Smart Charger 2 (SC2) ユーザーガイド)』を参照してください。

4 連チャージャー

UCLI72-4 4 連チャージャーでは、ZQ610 Plus および ZQ620 Plus プリンタで使用される 2 セルおよび 4 セルのリチウムイオンスマート バッテリーを最大 4 個充電できます。

図 14 4 連チャージャー



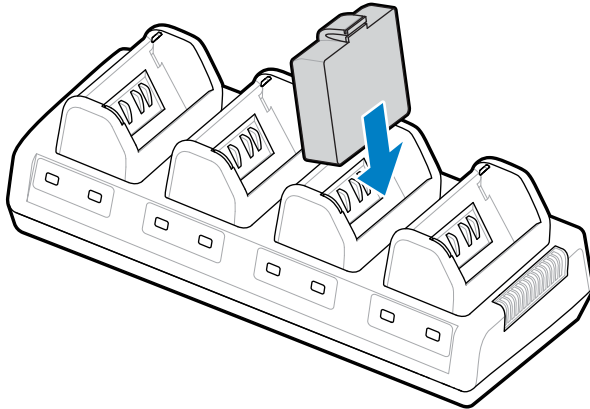
1	電源
2	琥珀色インジケータ
3	緑のインジケータ
4	電源インジケータ
5	充電ベイ

4 連チャージャーの使用

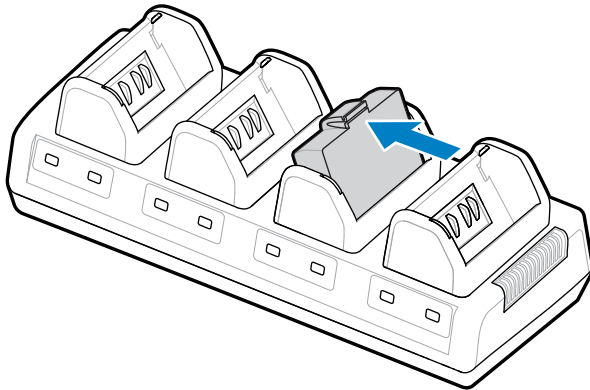
1. 電源装置のパレル ジャック コネクタをプリンタの DC ポートに差し込み、電源コードをコンセントに差し込みます。

前面パネルの電源インジケータ ランプが点灯します。

2. 図に示す向きで、4つの充電ベイのいずれかにバッテリーを挿入します。



3. バッテリーを倒して、所定の位置に固定します。



バッテリーが正しく取り付けられると、充電バッテリーの下にある琥珀色のインジケータが点灯します。

4 連チャージャーのステータス インジケータ

表に示すように、バッテリーの下にあるインジケータを使用して充電プロセスを監視します。

琥珀色	緑色	バッテリー ステータス
オン	オフ	充電中
オン	点滅	80% 充電完了 (使用可)
オフ	オン	バッテリー充電完了
点滅	オフ	障害があります。バッテリーを交換します。



重要：障害状況は、バッテリーの問題が原因で発生します。通常は、バッテリーが高温または低温のために確実に充電できない場合に発生します。バッテリーが室温に戻った時点で充電を行ってください。琥珀色のインジケータが点滅し続ける場合は、バッテリーをリサイクルしてください (「[Product and Battery Recycling](#) (製品とバッテリーのリサイクル)」を参照してください)。

バッテリーパックの残量がある場合は、より短い時間でフル充電できます。バッテリーの寿命を延ばすため、使用前にバッテリーを完全に充電することをお勧めします。



注: 4 連チャージャーでは、安全のため、充電状態に関係なく 6 時間後に充電が停止します。その時間内にバッテリーがフル充電されない場合は、バッテリーをリサイクルしてください。



重要: 上部カバーと下部カバーの換気スロットを塞がないでください。充電器は、誤って遮断されない電源に接続してください。

イーサネットおよび充電クレードル

イーサネット クレードルは、デバイスと併用する拡張ベースです。ZQ610 Plus と ZQ620 Plus の両方に 4 ベイまたはシングルベイ クレードル オプションが用意され、ZQ630 Plus には専用のシングルベイ オプションが用意されています。クレードルは、ドッキングしたプリンタに充電するほか、プリンタとの通信に使用する標準 10/100Mb/s イーサネット ポートを備えています。また、クレードルはドッキングしたプリンタのバッテリーを充電し、補足電源装置としても機能します。

クレードルは、クレードルの状態を示す 2 つの LED を備えています。

- 緑色の点灯は、クレードルの入力に電力が供給されていることを示します。
- 緑色の点滅は、イーサネット アクティビティを示します。

クレードルはプリンタに簡単にドッキングでき、プリンタを外すときもボタンを押すだけです。プリンタはドッキングしている間も稼働します。たとえば、ディスプレイを見たり、充電 LED の状態を見たり、プリンタのコントロールやデータ入力も可能です。ドッキングしている間もプリンタで印刷でき、用紙を交換することもできます。



注:

- クレードルにプリンタをドッキングする前にプリンタの底面にあるドッキング コンタクト カバーをはがしてください。
- ラベルをはがした後、ドッキング端子に付着した接着剤を Zebra クリーニング ペンで除去してください。

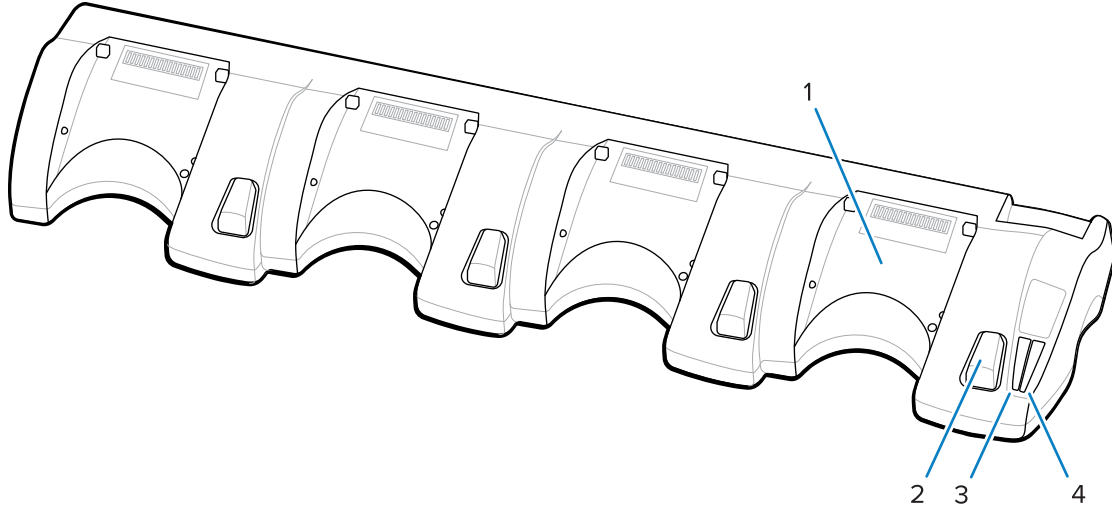
LED ステータス インジケータ

LED ステータス	表示
緑色で点灯	電源オン
緑色の点滅	イーサネット接続状況

4 ベイイーサネット クレードル (ZQ610 Plus/ZQ620 Plus)

4 ベイイーサネット クレードルは、ZQ610 Plus および ZQ620 Plus の充電およびイーサネット接続を提供します。

図 15 4 ベイイーサネット クレードル



1	ドッキング ベイ
2	リリース ボタン
3	イーサネット ステータス インジケータ
4	電源ステータス インジケータ

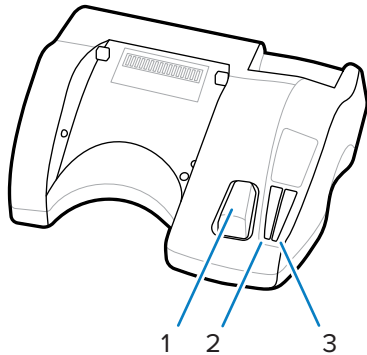
4 ベイイーサネット クレードルの寸法

高さ	幅	長さ
66.7mm (2.62 インチ)	579.99mm (22.83 インチ)	150.57mm (5.93 インチ)

シングルベイイーサネット クレードル (ZQ610 Plus/ZQ620 Plus)

シングルベイイーサネット クレードルは、ZQ610 Plus および ZQ620 Plus の充電およびイーサネット接続を提供します。

図 16 ZQ610 Plus/ZQ620 Plus シングルベイイーサネット クレードル

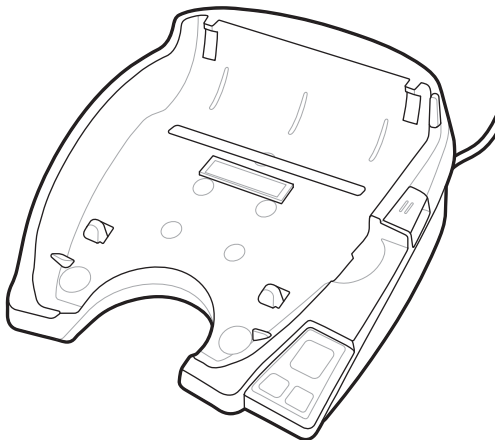


1	リリース ボタン
2	イーサネット ステータス インジケータ
3	電源ステータス インジケータ

シングルベイイーサネット クレードルの寸法 (ZQ610 Plus/ZQ620 Plus)

クレードル	高さ	幅	長さ
シングル ベイ クレードル	66.7mm (2.62 インチ)	171.28mm (6.74 インチ)	150.57mm (5.93 インチ)

ZQ630 Plus シングルベイイーサネット クレードル



高さ	幅	長さ
66.2mm (2.6 インチ)	200.6mm (7.9 インチ)	219.61mm (8.64 インチ)

クレードルを使ったプリンタ操作

このセクションでは、プリンタをクレードルに装着したときの動作について説明します。

- ZQ630 Plus プリンタは、クレードルに装着すると充電されます。
- クレードルにプリンタをドッキングすると自動的に電源がオンになり、リモートで管理できるようになります。
- プリンタは、クレードルからの入力電源とアクティブなイーサネット リンクの存在を検知すると、自動的にイーサネット ネットワークに接続します。
- Wi-Fi は、イーサネット リンクがアクティブなときはオフになります。イーサネット リンクがアクティブでなくなると、Wi-Fi が再びオンになります。
- インタフェースは、プリンタがクレードルに装着されている間、Bluetooth 無線を使用しているプリンタに対してアクティブな状態を維持します。
- シリアルポートと USB ポートは、プリンタがクレードルに装着されている間、アクティブな状態を維持します。
- DC 入力バレル ジャック コネクタは、プリンタがクレードルにある間は使用できません。DC バレル ジャックは、クレードルに直接差し込みます。



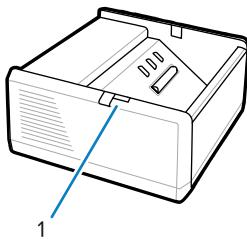
注: プリンタは過電圧保護を備えているため、0～36V の電圧が DC 電源ジャックに印加されたときに損傷は発生しません。電圧が 36V を超えると、DC 電源ヒューズが常時オープン状態となり、火災の危険が低減されます。バッテリーは、Zebra AC アダプタを使用して 12VDC が印加されたときのみ充電されます。

1 スロット バッテリー充電器

使用事例: ホーム オフィス/スモール ビジネス

1 スロット バッテリー充電器は、1 本のスペア バッテリー充電を実行します。3 スロット バッテリー充電器と同じように、この単独充電器は 4 セル バッテリーを 6 時間未満で充電します。

図 17 1 スロット バッテリー充電器



1	LED インジケータ
---	------------

3 スロット バッテリー充電器

使用事例: 決済室

3 スロット バッテリー充電器は、ZQ600 Plus シリーズ バッテリー用の充電システムです。

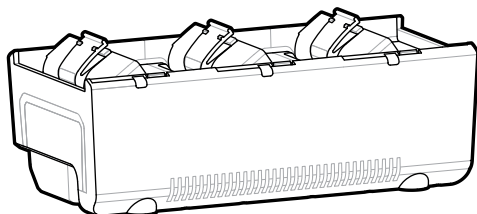
- ZQ610 Plus および ZQ620 Plus で使用する 2 セルのリチウムイオン バッテリーを充電できます。
- ZQ630 Plus で使用する 4 セルのリチウムイオン バッテリーを充電できます。

- 3 スロット充電器は、3 個の 4 セルのバッテリーを同時に 6 時間以内に充電でき、3 個の 2 セルのバッテリーを 4 時間以内に充電できます。
- スタンドアロンの充電器としても、5 スロット共有クレードルに取り付けても使用できます。



注：アクセサリの詳細については、zebra.com/zq600plus-info を参照してください。

図 18 3 スロット バッテリー充電器



1 スロットおよび 3 スロットのバッテリー充電器ステータス インジケータ

1 スロットおよび 3 スロットのバッテリー充電器はいずれも、各スロットの横にある LED インジケータを使用して、緑色、赤色または琥珀色で充電状態を示します。

充電ステータス インジケータ

モード	充電インジケータ	説明
充電エラー		赤色で速く点滅。
充電中 (正常)		琥珀色で点灯
充電完了 (正常)		緑色で点灯
充電中 (異常あり)		赤色で点灯
充電完了 (異常あり)		赤色で点灯
最適バッテリー (充電中)		琥珀色の点灯と点滅が交互に切り替わる。
最適バッテリー (充電完了)		緑色の点灯と点滅が交互に切り替わる。

用紙のセット

ZQ600 Plus シリーズ プリンタは 2 つの異なるモードのうちの 1 つで操作することができます。切り取りモードまたは剥離モードのいずれかで操作することができます。切り取りモードでは、印字後、各ラベル (またはラベルのストリップ) を切り取ることができます。剥離モードでは、印字後に裏紙がラベルから剥がれます。バッチを印刷する場合、このラベルを取り除くと次のラベルが印字されます。

切り取りモードでの用紙のセット

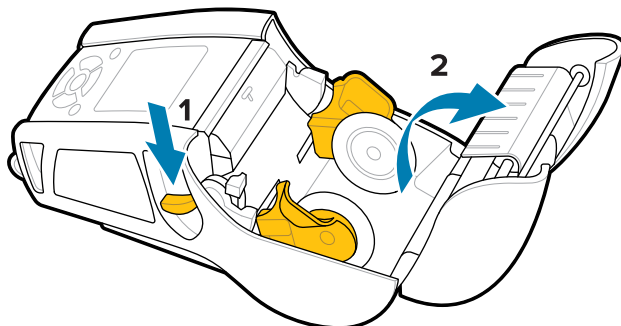
次の手順では、切り取りモードで用紙をセットする方法について説明します。

1. プリンタを開きます。

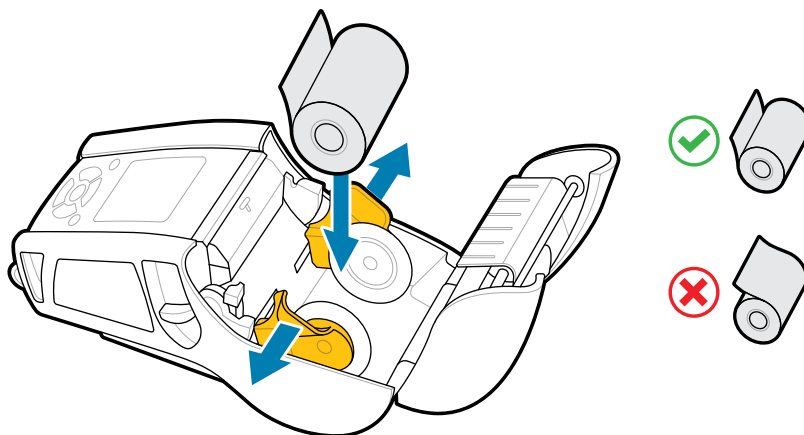
a) プリンタの側面にあるラッチ リリース ボタン (1) を押します。

用紙カバーが外れます。

b) 用紙カバー (2) を完全に開くと、用紙セット部および可調用紙サポートが露出します。

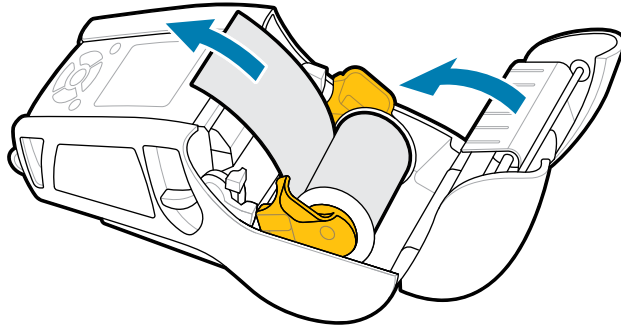


2. 用紙サポートを広げ、図に示す向きでロール紙をサポート間に挿入します。



サポートは、用紙を所定の位置に固定するもので、用紙の幅に合わせて調整できます。ロール紙はサポート上で自由に回転できます。

3. 用紙カバーを閉じます。

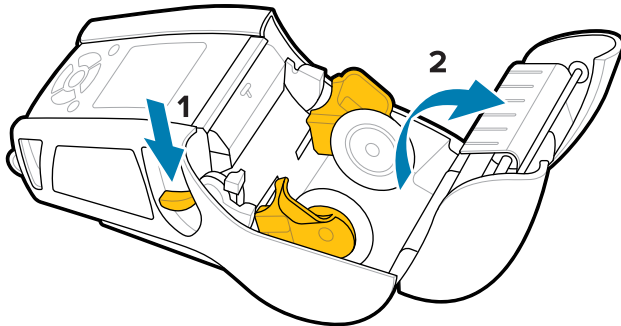


注: 設定を変更して、Set-Get-Do (SGD) で用紙フィード長を調整する方法については、『プログラミングガイド』を参照してください。

剥離モードでの用紙のセット (ZQ610 Plus/ZQ620 Plus)

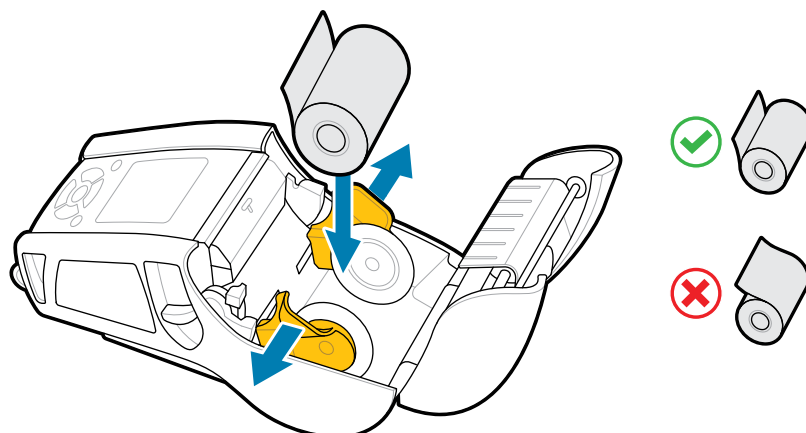
このセクションでは、ZQ610 Plus および ZQ620 Plus プリンタに剥離モードで用紙をセットする方法について説明します。

1. 数枚のラベルを台紙から剥がします。
2. プリンタを開きます。
 - a) プリンタの側面にあるラッチ リリース ボタン (1) を押します。
用紙カバーが外れます。
 - b) 用紙カバー (2) を完全に開くと、用紙セット部および可调用紙サポートが露出します。

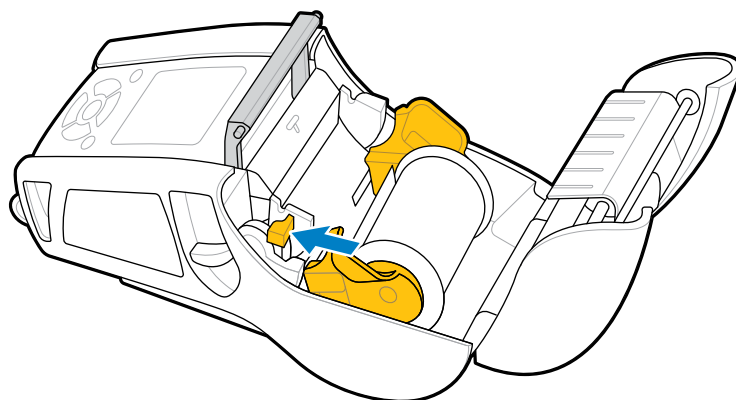


ご使用前に

3. 用紙サポートを広げ、図に示す向きでロール紙をサポート間に挿入します。

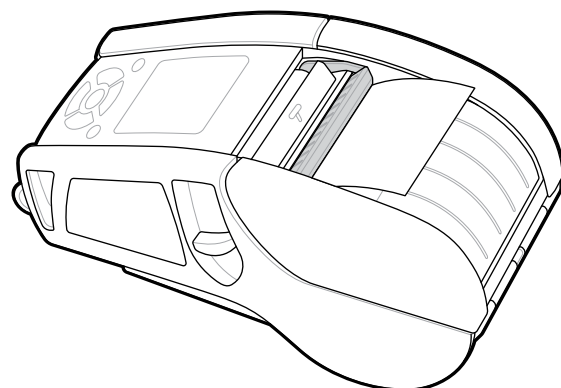


4. ピーラー レバーを押し上げて、ピーラー ベイルを上位置で放します。



用紙がピーラー ベイルに向かってフィードされます。

5. 用紙カバーを閉じます。



ピーラー ベイルがたたまれます。これで、ロールからラベルを自動的に取り除くようにプリンタが準備されました。

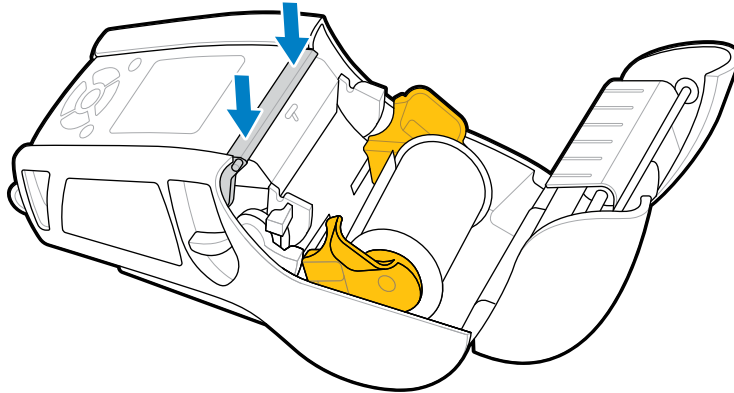
6. 電源を押してデバイスの電源をオンにします。デバイスの電源がすでにオンになっている場合はフィードを押します。

ラベルを印字する場合は、プリンタは次のラベルまで用紙を前に送ります。ジャーナル用紙に印字する場合は、プリンタは用紙を少し前に送ります。

ピーラー ベイルの解除

ピーラー ベイルを解除するには、以下の操作を実行します。

1. 前述の手順に従って、用紙カバーを開きます。ピーラー ベイルが自動的にポップアップします。
2. 所定の位置にロックされるまでピーラー ベイルを押し下げます。

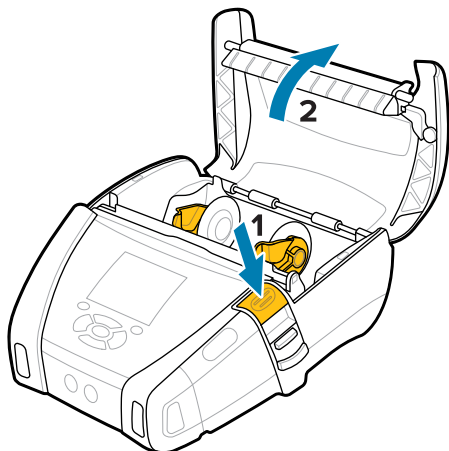


3. 用紙カバーを閉じます。

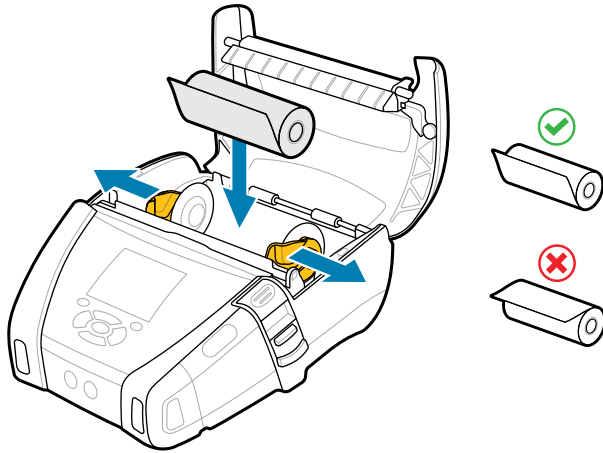
剥離モードでの用紙のセット (ZQ630 Plus)

このセクションでは、ZQ630 Plus プリンタに剥離モードで用紙をセットする方法について説明します。

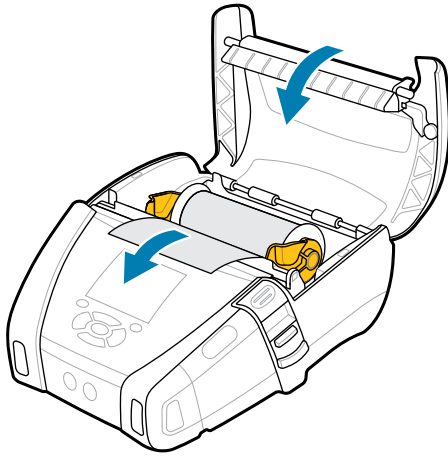
1. 数枚のラベルを台紙から剥がします。
2. プリンタを開きます。
 - a) プリンタの側面にあるラッチ リリース ボタン (1) を押します。
用紙カバーが外れます。
 - b) 用紙カバー (2) を完全に開くと、用紙セット部および可调用紙サポートが露出します。



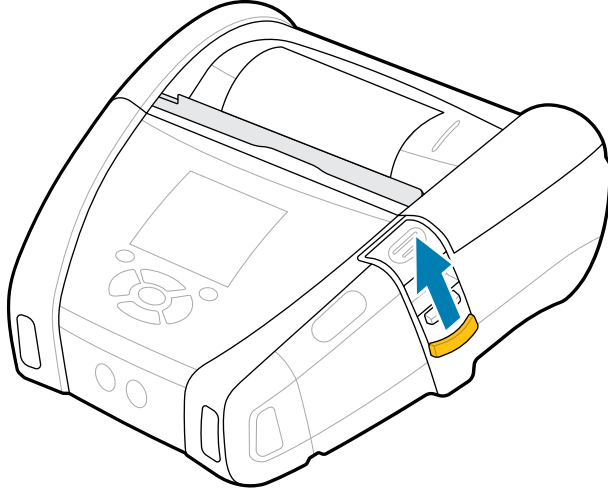
3. 用紙サポートを広げ、図に示す向きでロール紙をサポート間に挿入します。



4. 用紙カバーを閉じます。



5. ピーラーレバーが所定の位置にロックされるまで引き上げます。



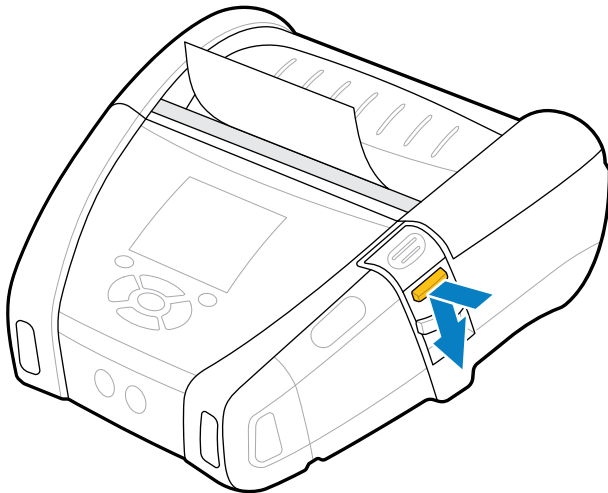
ピーラーベイルが後方にたたまれます。これで、ロールからラベルを自動的に取り除くようにプリンタが準備されました。

6. 電源を押してデバイスの電源をオンにします。デバイスの電源がすでにオンになっている場合はフィードを押します。

ラベルを印字する場合は、プリンタは次のラベルまで用紙を前に送ります。ジャーナル用紙に印字する場合は、プリンタは用紙を少し前に送ります。

ピーラーベイルの解除

ピーラーベイルを解除するには、ピーラーベイルボタンを内側に押してから下方方向に押します。



ピーラーベイルが前方にスナップして元の位置に戻り、解除されます。

テスト ラベルの印刷

プリンタをコンピュータまたはモバイルコンピュータに接続する前に、プリンタが正常に動作していることを確認してください。これを確認するには、下記の2キー方式で設定ラベルを印字します。これらのラベルの情報を分析すると、潜在的な問題のトラブルシューティングに役立ちます。詳細については、[設定ラベルの印刷](#)（117ページ）を参照してください。

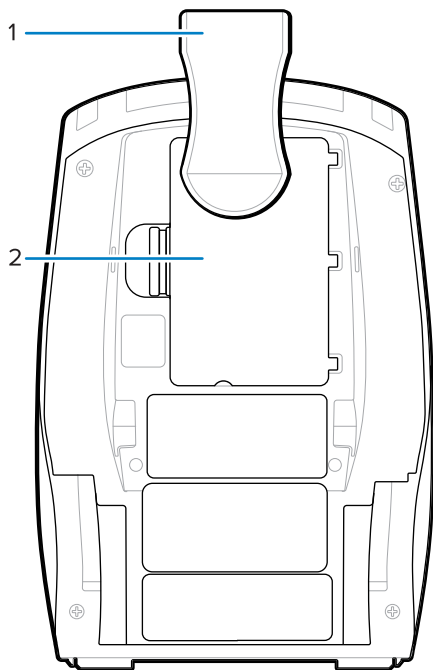
プリンタの装着

モバイルプリンタ アクセサリは、携帯性を高める有用な機能を提供し、外出先でプリンタを使いやすくします。

回転式ベルトクリップ

ZQ600 Plus シリーズ プリンタには、回転式ベルトクリップが付属しています。

図 19 ベルトクリップ付きのプリンタ



1	ベルトクリップ
2	バッテリーパック

使用方法:

1. バッテリーパックを取り外します。
2. ベルトクリップの背面にあるボールをプリンタ底面のソケットに挿入します。
3. バッテリーパックを差し込みます。

- クリップをベルトに引っ掛け、クリップがベルトにしっかりと取り付けられていることを確認します。

ベルト クリップは回転可能なので、プリンタを装着していても身体の動きが制限されることはありません。

金属ベルト クリップ

ZQ630 Plus プリンタには、耐久性が向上した代替金属製ベルト クリップ オプションが用意されています。

クリップは、2本のプラス平頭ねじを使用してプリンタにしっかりと取り付けられます。クリップは、単独で使用することも、ハード ケースと組み合わせて使用することもできます。詳細については、zebra.com/accessories を参照してください。

図 20 ハード ケースなしの金属ベルト クリップ

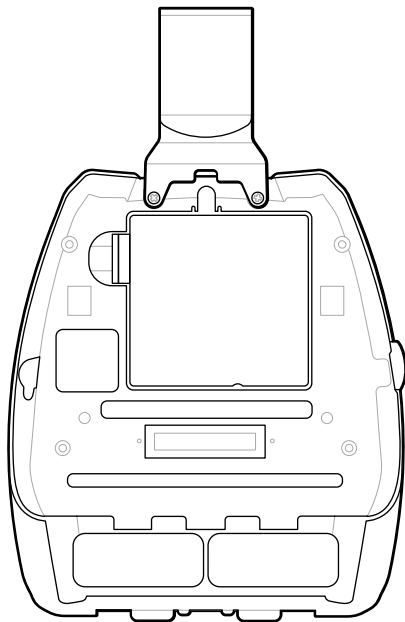
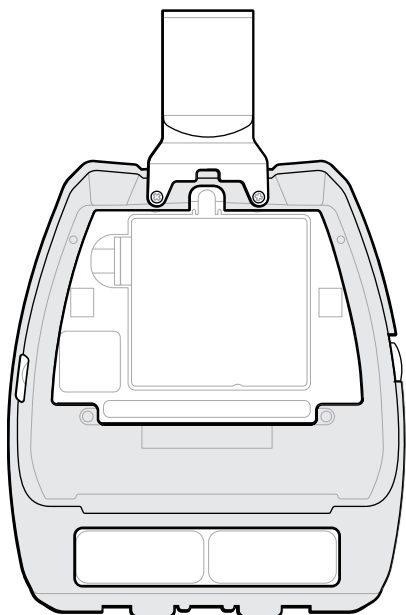


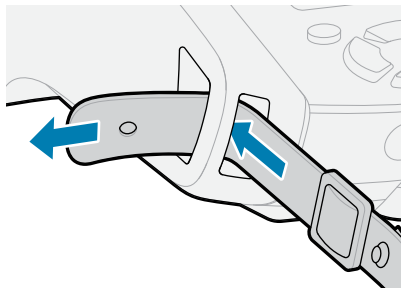
図 21 金属ベルト クリップとハード ケースの組み合わせ



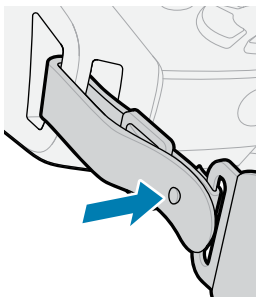
調節可能なショルダーストラップ

プリンタにショルダーストラップ オプションが装備されている場合は、使用方法について以下の説明に従ってください。

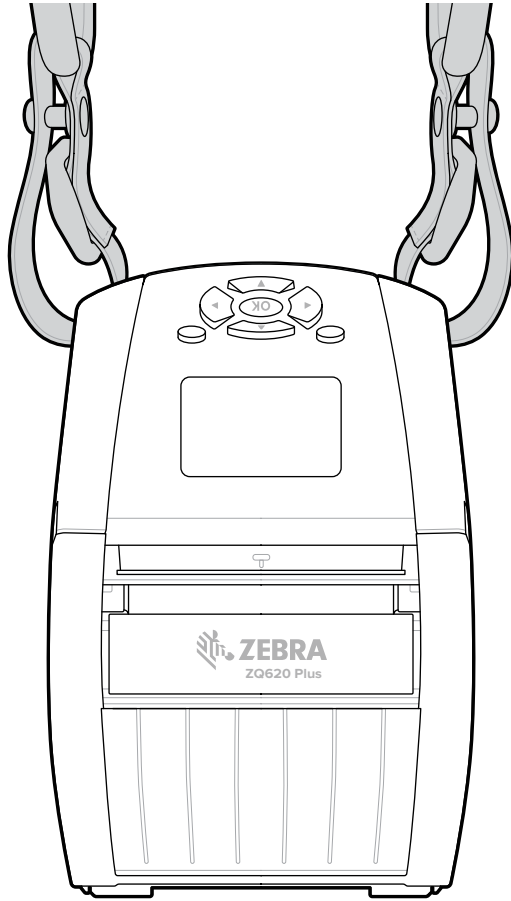
1. ショルダーストラップの端をプリンタの前面にあるストラップ スロットに通し、ストラップの取り付け部まで折り返します。



2. ストラップの端の穴を金属の留め具に通して固定します。



3. プリンタのもう一方の端で、手順1と2を繰り返します。

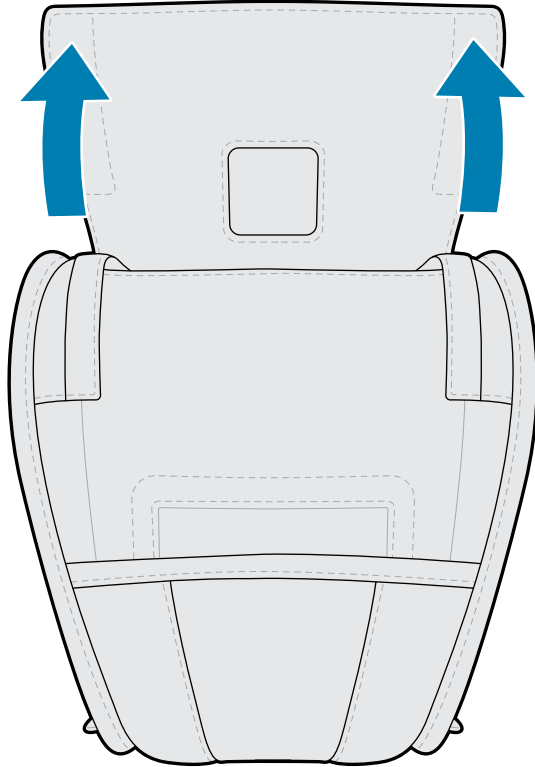


ソフトケース

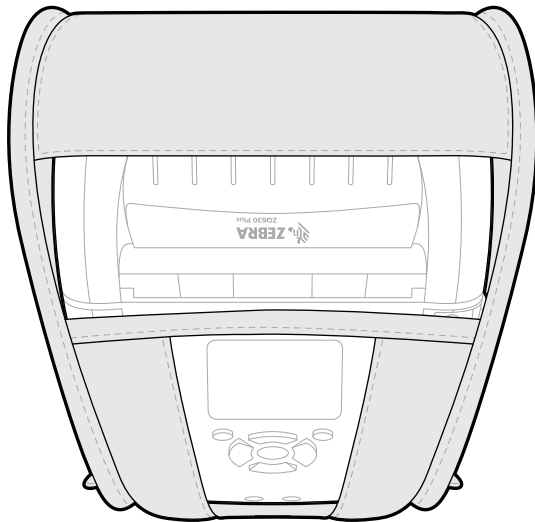
ZQ600 Plus シリーズ プリンタのソフト ケース オプションを使用すると、プリンタをベルトにかけて持ち運ぶことができます。

ご使用前に

1. セルフファスナーで固定されているソフトケースの上側フラップを持ち上げます。



2. プラスチック窓からLCDディスプレイが見えるようにプリンタをケースにスライドします。

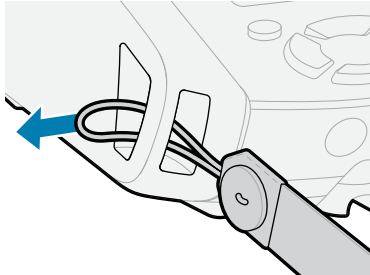


注: ソフトケースはショルダーストラップオプションと一緒に使用でき、ショルダーストラップの端をソフトケースの2つの金属リングに固定します。

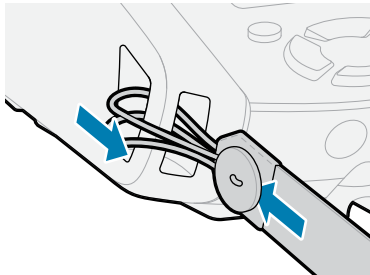
ハンドストラップ

ZQ600 Plus シリーズ プリンタのハンドストラップアクセサリをプリンタのストラップ取り付け部に取り付けると、便利かつ安全にプリンタを持ち運ぶことができます。

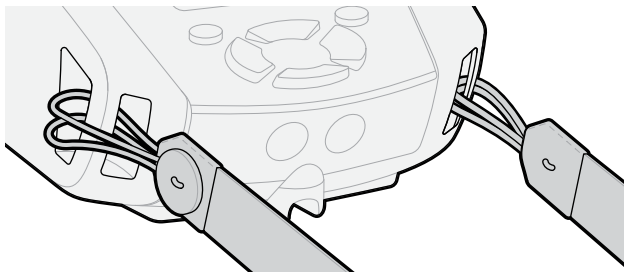
1. ストラップの端の輪をプリンタの前面にあるストラップスロットに通します。



2. ストラップの端をストラップの取り付け部まで折り返し、ボタンの上で固定します。



3. ストラップのもう一端も同じ手順で固定します。

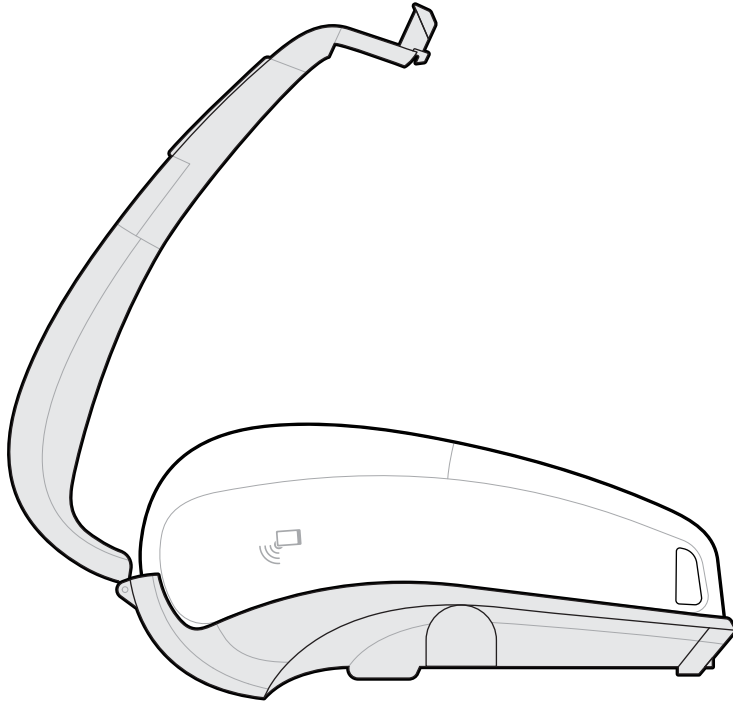


ハードケース

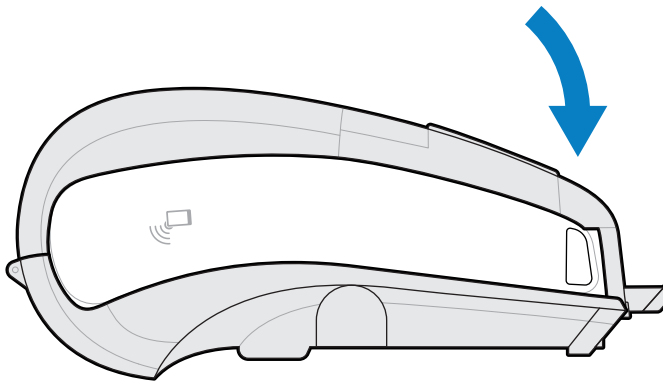
ZQ630 Plus プリンタには、2ピースハードケースオプションがあります。これを使用すると、金属ベルトクリップ (付属) を使用してプリンタをベルトにかけて持ち運ぶことができる一方で、プリンタの保護が強化されます。ケースは背面にあるヒンジで開閉します。金属ベルトクリップはハードケースとプリンタにねじで固定します。ベルトクリップを使用しない場合は、2本の短い方のねじを使用してプリンタをハードケースに固定します。

ご使用前に

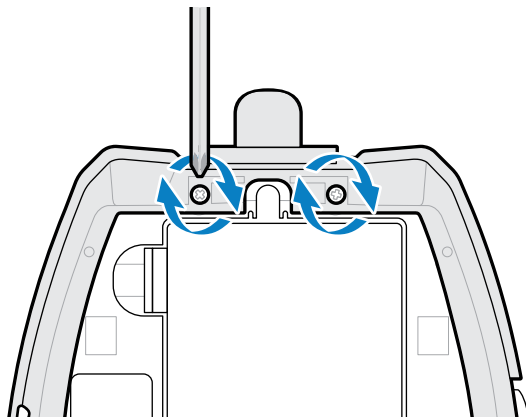
1. プリンタをハード ケース シェルの下半分に挿入します。



2. ハード ケース シェルの上半分を回転させてプリンタの上部を覆い、カチッと閉じます。



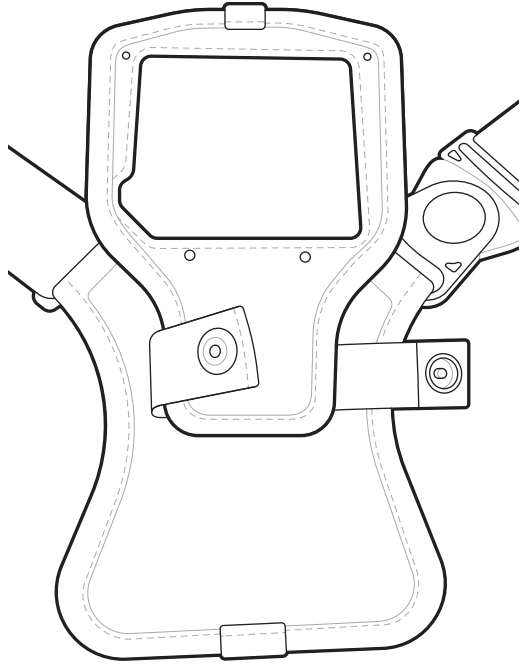
3. #1 プラスドライバーを使用して、2本の6-32x5/8ねじをハード ケースの底面に固定します。



ウェストホルスタ

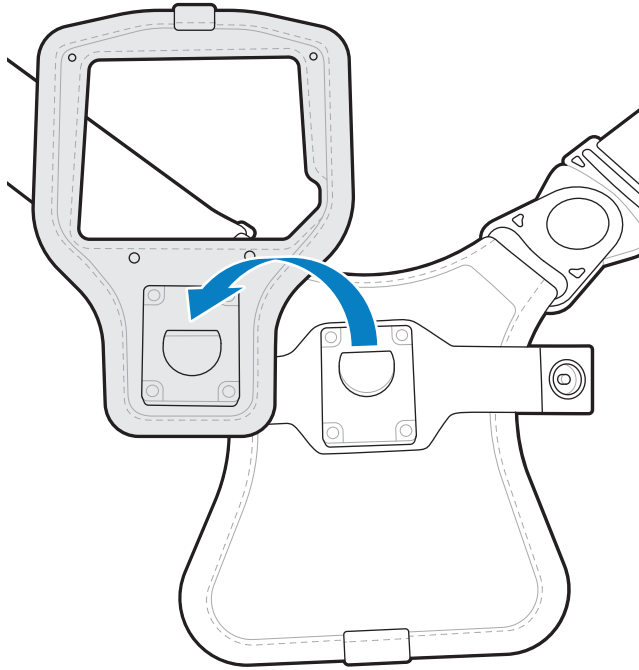
ZQ630 Plus プリンタには、プリンタを腰に付けて簡単にアクセスできるようにするウェストホルスタオプションがあります。

1. ウェストストラップの留め具を外します。

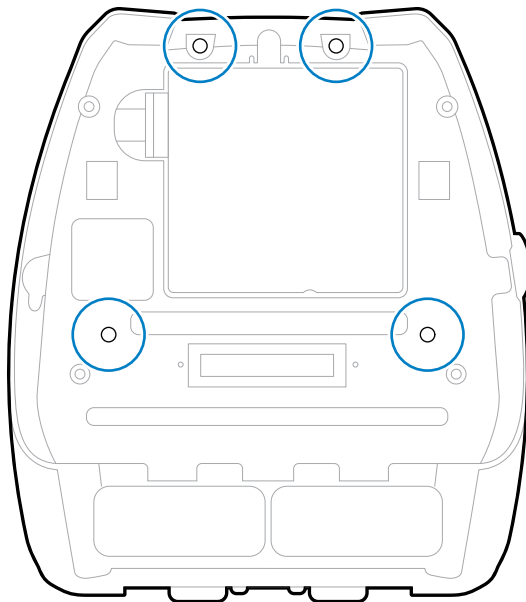


ご使用前に

2. ウェストストラップのD型オス回転式クリップを、プリンタのマウントパッドのD型メスクリップから外します。

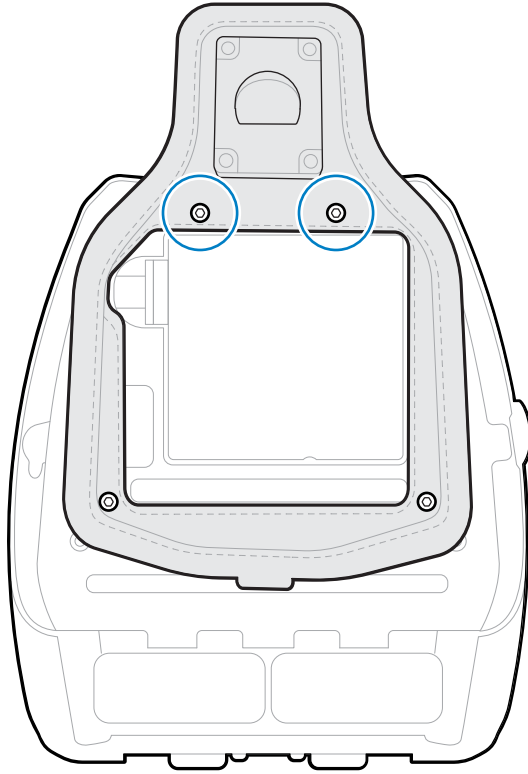


3. マウントパッドの穴をプリンタ底面の取り付け穴 (丸で囲んだ部分) に合わせます。



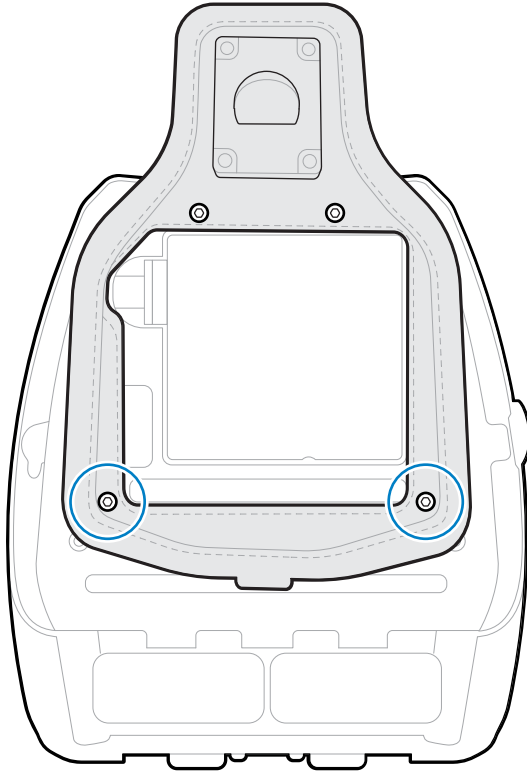
ご使用前に

4. 4mmの六角ドライバを使用して、2本の6-32 x 0.375インチねじと2個の#6ワッシャでマウントパッドをプリンタ上部(丸で囲んだ部分)に取り付けます。



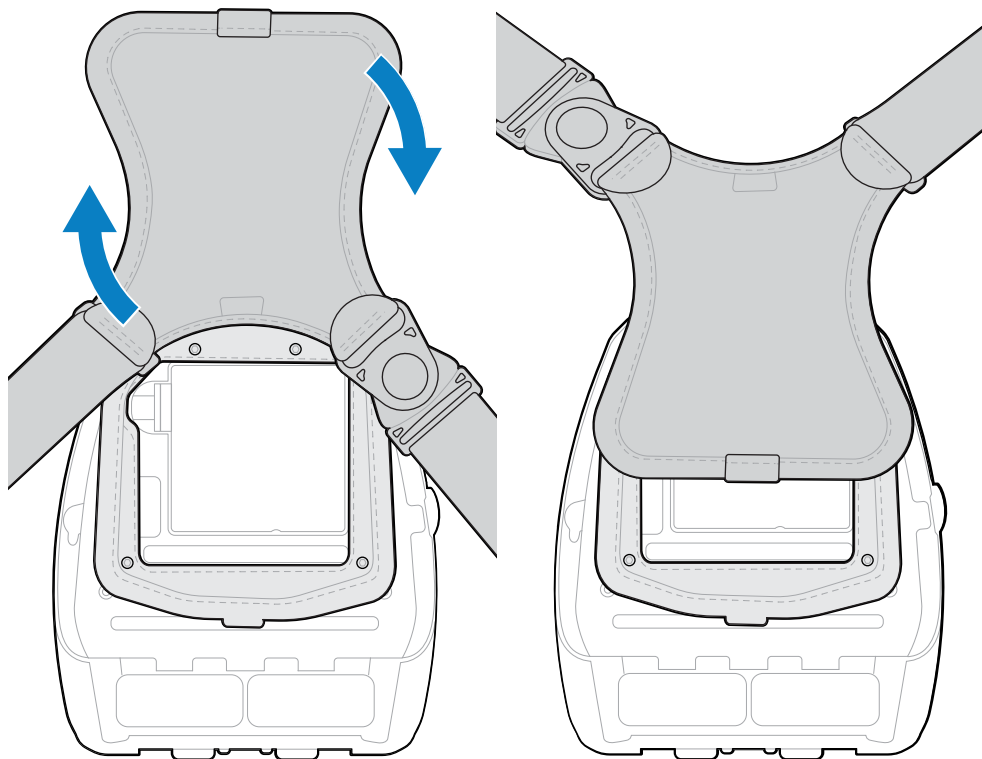
ご使用前に

5. 2本の6-32 x 0.625 インチねじと2本のワッシャをマウントパッドの底部 (丸で囲んだ部分) に取り付けます。



6. ウェストストラップのD型オス回転式クリップを、プリンタのマウントパッドのD型メスクリップに取り付けます。

7. 留め具をカチッと留め (反対側)、ウェストストラップを 180°回転させます。



8. ウェストストラップのスナップを外し、ストラップを希望の長さに調整します。
9. ウェストストラップをウェスト周りに巻き、留め具を所定の位置にパチッと留めて固定させます。
これでプリンタを腰に無理なく下げられます。

プリンタの設定



このセクションでは、プリンタの設定と調整について説明します。

プリンタ設定の変更 - ユーザー メニュー

このセクションでは、変更可能なプリンタ設定について説明すると共に、プリンタ設定の変更に使用するツールも特定します。

[Settings Menu] (設定メニュー)

このセクションでは、プリンタの [Settings] (設定) メニューについて説明します。

印字設定	説明	
Darkness (濃度)	濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。暗さを高く設定しすぎると、ラベルの画質が不明瞭になりバーコードが正しくスキャンされない場合があるほか、印字ヘッドの消耗が早くなることもあります。 SGD: print.tone_zpl	
Print Speed (印字速度)	ラベルの印字速度を選択します (インチ/秒で設定)。通常、印刷速度を遅くすると、印刷品質は向上します。 SGD: media.speed	

プリンタの設定

印字設定	説明	
Media Type (用紙タイプ)	使用する用紙のタイプを選択します。 SGD: ezpl.media_type	
Tear Off (切り取り)	必要に応じて、この用紙位置が印刷後に切り取りバーの上にくるように調整します。 SGD: ezpl.tear_off	
Print Width (印字幅)	使用するラベルの幅を指定します。デフォルト値は、印字ヘッドの DPI 値に基づいたプリンタの最大幅です。 SGD: ezpl.print_width	
Print Mode (印刷モード)	ご使用のプリンタ オプションに対応する印刷モードを選択してください。 SGD: ezpl.print_mode	
Label Top (Y 印字基点)	必要に応じて、ラベル上のイメージの位置を縦方向にシフトします。 <ul style="list-style-type: none"> • 負の数を指定すると、イメージがラベルの上側 (印字ヘッド側) に移動します。 • 正の値を設定すると、イメージは指定したドット数だけラベルの下側に (印字ヘッドから離れる方向に) 移動します。 SGD: zpl.label_top	

プリンタの設定



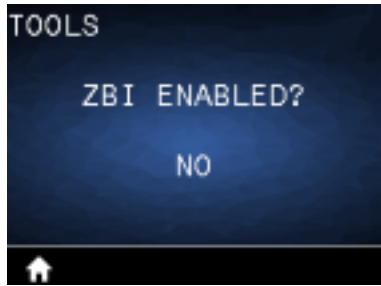

印字設定	説明	
<p>Left Position (X 印字基点)</p>	<p>必要であれば、ラベル上の印字位置を横方向にシフトします。正の値を設定すると、選択したドット数だけ、イメージの左端がラベルの中央方向に移動し、負の数を設定すると、イメージの左端がラベルの左端に移動します。</p> <p>SGD: zpl.left_position</p>	
<p>Reprint Mode (再印字モード)</p>	<p>再印字モードが有効になっている場合、コマンドを発信するか、キーパッドの下矢印キーを押すと、前回印字したラベルを再印字できます。</p> <p>SGD: ezpl.reprint_mode</p>	
<p>Label Length Max (ラベル長 最大)</p>	<p>最大ラベル長は、実際のラベルの長さと同ラベル間のギャップの長さを足した値より少なくとも 25.4mm (1 インチ) 長い値に設定してください。ラベル長より小さい値を設定すると、プリンタは連続用紙がセットされているとみなし、キャリブレーションを実行できません。</p> <p>SGD: ezpl.label_length_max</p>	
<p>Language (言語)</p>	<p>必要に応じてプリンタの表示言語を変更します。</p>	
<p> 注: 選択しやすいように、このパラメータで使用可能なオプションが、ユーザーが認識できる言語で表示されます。</p>		

[Tools Menu] (ツール メニュー)

このセクションでは、プリンタの [Tool] (ツール) メニューの詳細について説明します。

プリンタの設定




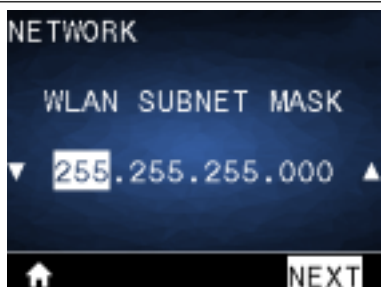

ツール設定	説明	
Print Information (印刷情報)	プリンタのコンフィグレーション ラベル、センサー プロファイル、バーコード情報、フォント情報、画像、フォーマット、2 キー レポート、ネットワークの設定などを印刷します。 SGD: device.user_vars.display_wmlsg_printlist	
Backlight Timeout (バックライト タイムアウト)	LCD バックライトの点灯時間を秒数で設定します。 SGD: display.backlight_on_time	
Power Up Action (電源投入時の動作)	プリンタの起動時に実行するアクションを設定します (例: モーションなし、キャリブレートなど)。 SGD: ezpl.power_up_action	
Head Close Action (印字ヘッドを閉めた時の動作)	印字ヘッドを閉じたときにプリンタが実行するアクションを設定します (例: フィード、キャリブレートなど)。 SGD: ezpl.head_close_action	
Load Defaults (デフォルト値の読み込み)	特定のプリンタ、プリントサーバー、およびネットワークの設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要がありますので、注意してください。このメニュー項目は、それぞれ異なるデフォルト値を持つ2つのユーザーメニューから利用可能です。 SGD: ezpl.load_defaults	

ツール設定	説明	
Label Length Cal (ラベル長 キャリブレーション)	ラベルの長さを調整するには、プリンタをキャリブレーションします。	
Diagnostic Mode (診断 モード)	プリンタが受信するすべてのデータの 16 進値をプリンタで出力するには、この診断ツールを使用します。 SGD: device.user_vars.display_diagnostic_list	
ZBI Enabled? (ZBI が有効?)	このメニュー項目は、ご使用のプリンタで Zebra Basic Interpreter (ZBI 2.0TM.) オプションが有効であるかどうかを示します。このオプションを購入するには、詳細について最寄りの Zebra 販売代理店にお問い合わせください。 SGD: zbi.key	
Password Protect (パスワード保護)	ユーザーメニュー項目のパスワード保護のレベルを選択します。デフォルトのプリンタパスワードは 1234 です。 SGD: display.password.level	




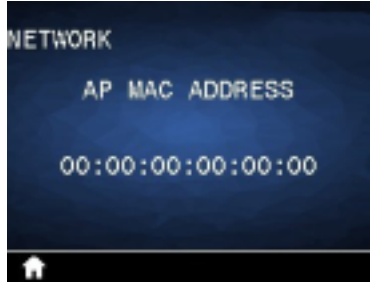

[Network Menu] (ネットワークメニュー)

このセクションでは、プリンタの [Network] (ネットワーク) メニューについて説明します。


プリンタの設定

ネット ワーク設定	説明	
Active Print Server (アクティブなプリントサーバー)	<p>アクティブなサーバーの存在を通知します。一度にインストールできるプリントサーバーは1つだけです。したがって、インストールされたプリントサーバーがアクティブなプリントサーバーとなります。</p> <p>SGD: ip.active_network</p>	
Primary Network (1次ネットワーク)	<p>ワイヤレスプリントサーバーが一次的と考えられるかどうかを表示または変更します。どちらのサーバーを1次にするかを選択できます。</p> <p>SGD: ip.primary_network</p>	
WLAN IP Address (WLAN IP アドレス)	<p>プリンタのWLAN IP アドレスが表示されます。必要であれば変更します。</p> <p>SGD: wlan.ip.addr</p>	
WLAN Subnet Mask (WLAN サブネットマスク)	<p>WLAN サブネットマスクが表示されます。必要であれば変更します。</p> <p>SGD: wlan.ip.netmask</p>	
WLAN Gateway (WLAN ゲートウェイ)	<p>デフォルトのWLAN ゲートウェイが表示されます。必要であれば変更します。</p> <p>SGD: wlan.ip.gateway</p>	



プリンタの設定

ネット ワーク設定	説明	
WLAN IP Protocol (WLAN IP プロトコル)	<p>このパラメータは、ユーザー (固定) またはサーバー (動的) のどちらが WLAN IP アドレスを選択するかを示します。</p> <p>SGD: wlan.ip.protocol</p>	
WLAN MAC Address (WLAN MAC アドレス)	<p>プリンタにインストールされているワイヤレスプリント サーバーの WLAN Media Access Control (MAC) アドレスが表示されます。</p> <p>SGD: wlan.mac_addr</p>	
ESSID	<p>Extended Service Set Identification (ESSID) は、ご使用の無線ネットワークの ID です。この設定は、現在のワイヤレス設定の ESSID を表示しますが、コントロールパネルからは変更できません。</p> <p>SGD: wlan.essid</p>	
AP MAC Address (AP MAC アドレス)	<p>プリンタに関連付けられている AP MAC アドレスが表示されます。</p> <p>SGD: wlan.bssid</p>	
Channel (チャネル)	<p>無線ネットワークがアクティブで認証されているときに、使用中の無線チャネルを表示します。</p> <p>SGD: wlan.channel</p>	


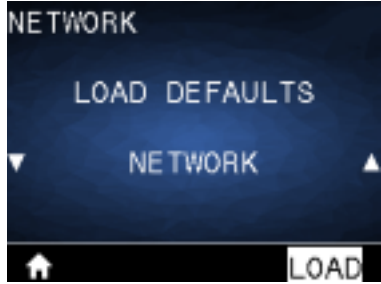
プリンタの設定

ネット ワーク設定	説明	
Signal (信号)	無線ネットワークがアクティブで認証されているときに、無線信号の強さを表示します。 SGD: wlan.signal_strength	
Wired IP Address (有線 IP アドレス)	プリンタの有線 IP アドレスを表示し、必要に応じて変更します。 SGD: internal_wired.ip.addr	
Wired Subnet Mask (有線サブネットマスク)	プリンタのサブネットマスク(ケーブル接続)が表示されます。必要であれば変更します。 SGD: internal_wired.ip.netmask	
Wired Gateway (有線ゲートウェイ)	ゲートウェイ設定(ケーブル接続)が表示されます。必要であれば変更します。 SGD: internal_wired.ip.gateway	
Wired IP Protocol (有線 IP プロトコル)	このパラメータは、ユーザー(固定)またはサーバー(動的)のどちらが IP アドレスを選択するかを示します。動的オプションを選択した場合、このパラメータは、有線またはワイヤレスサーバーがサーバーから IP アドレスを受信する方法を指定します。 SGD: internal_wired.ip.protocol	

プリンタの設定



ネット ワーク設定	説明	
Wired MAC Address (有線 MAC アドレス)	<p>プリンタの有線 MAC アドレスが表示されます。必要であれば変更します。</p> <p>SGD: <code>internal_wired.mac_addr</code></p>	
IP Port (IP ポート)	<p>このプリンタ設定は、TCP プリント サービスがリッスンしている内部有線プリントサーバーのポート番号を示します。ホストからの通常の TCP 通信は、このポートに送信される必要があります。</p> <p>SGD: <code>ip.port</code></p>	
IP Alternate Port (IP 代替ポート)	<p>このコマンドは、代替 TCP ポートのポート番号を設定します。</p> <p>SGD: <code>ip.port_alternate</code></p>	
Print Information (印刷情報)	<p>以下の指定された情報を 1 つまたは複数のラベルに印刷します。このメニュー項目は、それぞれ異なるデフォルト値を持つ 3 つのユーザーメニューから利用可能です。</p> <p>SGD: <code>device.user_vars.display_wmlsgd_printlist</code></p>	
Reset Network (ネットワークのリセット)	<p>このオプションは有線またはワイヤレスプリントサーバーをリセットし、ネットワーク設定に対して行った変更を保存します。</p>	

プリンタの設定



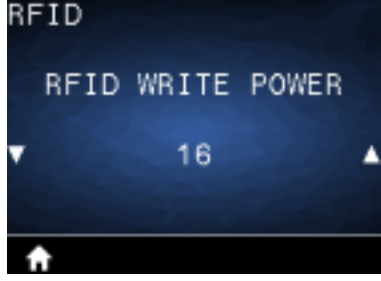
ネット ワーク設定	説明	
Visibility Agent (ビジビリティエージェント)	<p>有線または無線ネットワークに接続されているプリンタは、証明書で認証された暗号化 Web socket 接続を使用するクラウドベースの Zebra Printer Connector を介して、Zebra のアセット ビジビリティ サービスへの接続を試みます。プリンタは、検出データ、設定、アラートデータを送信します。ラベルフォーマットで印刷されたデータは転送されません。この機能をオプトアウトするには、この設定を無効にします。</p> <p>SGD: weblink.zebra_connector.enable</p>	
Load Defaults (デフォルト値の読み込み)	<p>特定のプリンタ、プリントサーバー、およびネットワークの設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要がありますので、注意してください。このメニュー項目は、それぞれ異なるデフォルト値を持つ2つのユーザーメニューから利用可能です。</p> <p>SGD: ezpl.load_defaults</p>	


[RFID Menu] (RFID メニュー)

このセクションでは、プリンタの [RFID] メニューについて説明します。

RFID 設定	説明	
RFID Status (RFID ステータス)	<p>プリンタの RFID サブシステムのステータスを表示します。</p> <p>SGD: rfid.error.response</p>	
RFID Calibrate (RFID キャリブレーション)	<p>RFID 用紙のタグ キャリブレーションを開始します。(用紙およびリボンのキャリブレーションとは異なります)。処理中、プリンタは用紙を動かし、RFID タグ位置のキャリブレーションを行い、使用されている RFID 用紙に最適な設定を特定します。</p> <p>SGD: rfid.tag.calibrate</p>	

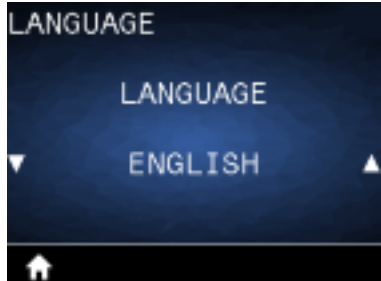
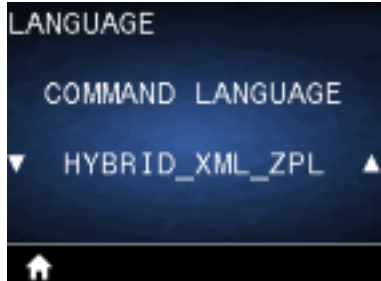
プリンタの設定


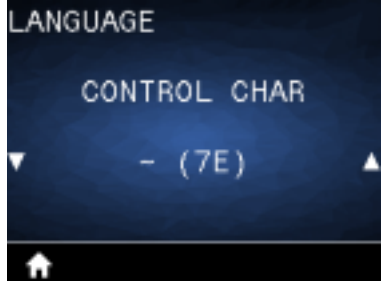



RFID 設定	説明	
Read RFID Data (RFID データの読み取り)	RFID タグから指定のタグ データを読み取って返します。 SGD: rfid.tag.read.content & rfid.tag.read.execute	
RFID Test (RFID テスト)	RFID テストでは、プリンタがトランスポンダに対する読み取りと書き込みを試行します。 SGD: rfid.tag.test & rfid.tag.test.execute	
RFID Programming Position (RFID プログラミング位置)	RFID のタグ キャリブレーションで、必要なプログラミング位置 (読み取り/書き込み位置) に達しない場合は、値を指定できます。 SGD: rfid.position.program	
RFID Read Power (RFID 読み取り出力)	RFID のタグ キャリブレーションで必要な読み取りパワーに達しない場合は、値を指定できます。 SGD: rfid.reader_1.power.read	
RFID Write Power (RFID 書き込み出力)	RFID のタグ キャリブレーションで必要な書き込みパワーに達しない場合は、値を指定できます。 SGD: rfid.reader_1.power.write	

RFID 設定	説明	
RFID Valid Count (RFID 有効カウント)	RFID 有効ラベル カウンタをゼロにリセットします。 SGD: odometer.rfid.valid_ resettable	
RFID Void Count (RFID 無効カウント)	RFID 無効ラベル カウンタをゼロにリセットします。 SGD: odometer.rfid.void_ resettable	

[Language Menu] (言語メニュー)

このセクションでは、プリンタの [Language] (言語) メニューについて説明します。

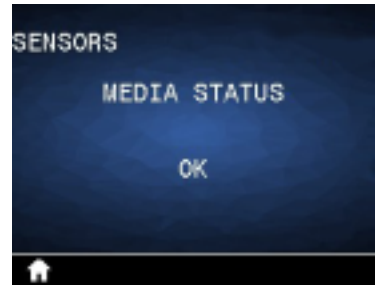

言語設定		
Language (言語)	必要に応じてプリンタの表示言語を変更します。 SGD: display.language	
	 注: このパラメータで使用可能なオプションは、ユーザーが認識できる言語で表示されます。	
コマンド言語	適切なコマンド言語を表示するか、選択します。 SGD: device.languages	

言語設定		
Command Char (コマンド文字)	<p>フォーマット コマンド プレフィックスとは、ZPL/ZPL II フォーマット命令内でパラメータのプレース マーカーとして使用される 2 桁の 16 進値です。プリンタは、ZPL/ZPL II フォーマット命令の開始を示す 16 進文字を検索します。ラベルフォーマットで使用されているものと一致するフォーマット コマンド文字を設定します。</p> <p>SGD: zpl.format_prefix</p>	
Control Char (コントロール文字)	<p>使用しているラベルフォーマットと一致するコントロール接頭文字を設定します。</p> <p>SGD: zpl.command_prefix</p>	
Delimiter Char (デリミタ文字)	<p>デリミタ文字とは、ZPL/ZPL II フォーマット命令内でパラメータのプレース マーカーとして使用される 2 桁の 16 進値です。ラベルフォーマットで使用されているものと一致するデリミタ文字を設定します。</p> <p>SGD: zpl.delimiter</p>	
ZPL Mode (ZPL モード)	<p>ラベルフォーマットで使用されているものと一致するモードを選択します。このプリンタは ZPL または ZPL II で記述されたラベルフォーマットを受け入れるので、既存の ZPL フォーマットを書き換える必要はありません。プリンタは、ここにリストされている方法のいずれかで変更されるまで、選択されたモードのままになります。</p> <p>SGD: zpl.zpl_mode</p>	
Virtual Device (仮想デバイス)	<p>プリンタに仮想デバイスアプリケーションがインストールされている場合、このユーザーメニューからこれらのアプリケーションの表示または有効化/無効化が可能です。仮想デバイスの詳細については、適切な仮想デバイスのユーザーガイドを参照するか、最寄りの販売代理店にお問い合わせください。</p> <p>SGD: apl.selector</p>	

[Sensors Menu] (センサー メニュー)

このセクションでは、プリンタの [Sensors] (センサー) メニューについて説明します。


プリンタの設定

センサー設定	説明	
Media Status (用紙ステータス)	プリンタ内に用紙があるかないかを通知します。 SGD: media.status	
Take Label (ラベル剥離)	ラベル剥離 LED の感度を設定します。 SGD: ezpl.take_label	
	 注: この値は、センサーのキャリブレーション時に設定されます。Zebra 技術サポートまたは認定技術者からの指示でない限り、この設定は変更しないでください。	

[Communications] (通信) メニュー

このセクションでは、プリンタの [Communications] (通信) メニューについて説明します。

センサー設定	説明	
Halt on Error (エラー時に停止)	プリンタ内に用紙があるかないかを通知します。	
MFI Capability (MFI 機能)	このオプションは、デバイスが Apple の「Made for iPhone/iPad/iPod」デバイスと互換性があるかどうかを検出します。	

センサー設定	説明
	 注: この値は、センサーのキャリブレーション時に設定されます。Zebra 技術サポートまたは認定技術者からの指示でない限り、この設定は変更しないでください。

[Bluetooth Menu] (Bluetooth メニュー)

このセクションでは、プリンタの [Bluetooth] メニューについて説明します。

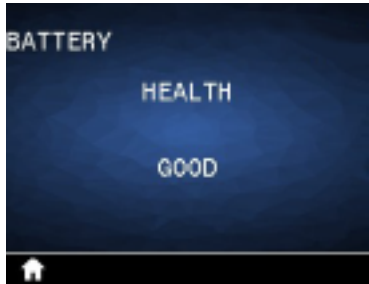
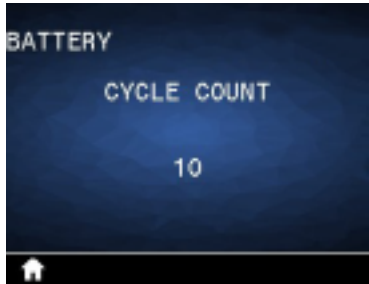
Bluetooth 設定	説明	
Bluetooth Address (Bluetooth アドレス)	BT 無線の確認のため、Bluetooth アドレスが表示されます。 SGD: bluetooth.address	
Mode (モード)	Bluetooth 接続ペア プリンタのデバイス タイプ ([PERIPHERAL] (ペリフェラル)) が常に表示されます。	
Discovery (検出)	Bluetooth デバイス ペアリングのために、プリンタを検出可能にするかどうかを選択します。検出ステータス (たとえば、[ON] (オン)、[OFF] (オフ)) が表示されます。 SGD: bluetooth.discoverable	
Connected (接続済み)	BT 無線の接続状況 (たとえば、[YES] (あり)、[NO] (なし)) が表示されます。 SGD: bluetooth.connected	

プリンタの設定

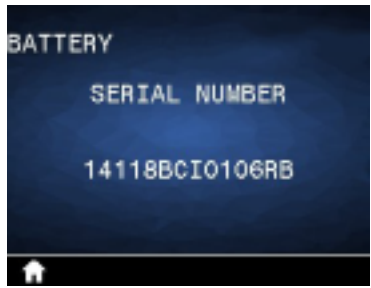
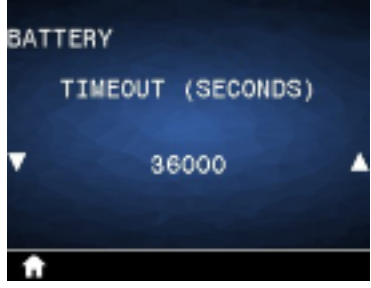


Bluetooth 設定	説明	
BT Spec Version (BT 仕様バージョン)	Bluetooth 動作仕様レベルを表示します。 SGD: bluetooth.radio_version	
Minimum Security Mode (最小セキュリティモード)	BT 無線に適用された最低レベルのセキュリティを表示します。必要であれば変更します。 SGD: bluetooth.minimum_security_mode	

[Battery Menu] (バッテリーメニュー)

このセクションでは、プリンタの [Battery] (バッテリー) メニューについて説明します。

バッテリー設定	説明	
Health (状態)	バッテリーの現行状態を示します (例: 良好、耐用年数超過など)。 SGD: power.health	
Cycle Count (サイクル数)	バッテリーの現在の充電サイクル数が表示されます。 SGD: power.cycle_count	

プリンタの設定

バッテリー設定	説明	
Serial Number (シリアル番号)	バッテリーパックのシリアル番号を示します。 SGD: power.serial_number_string	
Timeout (Seconds) (タイムアウト (秒))	バッテリーのタイムアウトが表示されます。必要であれば変更します。 SGD: power.inactivity_timeout_alt	
Voltage (電圧)	バッテリーパックの現行電圧レベルが表示されます。 SGD: power.voltage	
Warning (警告)	SGD: power.low_battery_warning	
DTR Control (DTR コントロール)	SGD: power.dtr_power_off	

バッテリー設定	説明	
予測容量	SGD: <code>power.relative_state_of_charge</code>	
Battery Capacity (バッテリー容量)	mAH で計測したバッテリー容量です。 SGD: <code>power.remaining_capacity</code>	
Charger Status (充電器ステータス)	バッテリー充電器の存在を示します。 SGD: <code>power.chrgr_status</code>	
Battery Health (バッテリー状態)	SGD: <code>power.percent_health</code>	

RFID キャリブレーション

RFID キャリブレーションは、タグタイプに応じた通信パラメータを設定します。この手順は、プリンタを用紙(長さおよびギャップ設定)に合わせてキャリブレーション(通常はラベル長キャリブレーション)した後に行う必要があります。RFID キャリブレーション処理中、プリンタは用紙を動かし、RFID タグ位置のキャリブレーションを行い、使用されている RFID 用紙に最適な設定を特定します。

これらの設定にはプログラミング位置、および使用する読み取り/書き込みのパワーレベルが含まれます。プリンタのデフォルトのプログラミング位置を任意の時点で再定義するには、`rfid.tag.calibrate` SGD コマンドで Restore オプションを使用します。

ライナー(ラベルの台紙または「ウェブ」)からラベルやタグを取り除かないでください。これにより、プリンタは、隣接するタグをエンコードしない RFID 設定を特定できます。

用紙タイプを変更したら、必ずラベル長キャリブレーションと RFID キャリブレーションを行ってください。ただし、同じ用紙の空のロールを交換する場合は、この手順は不要です。

RFID キャリブレーション処理

キャリブレーションを開始する前に、RFID 用紙をプリンタにセットし、ラベル長キャリブレーションを実行します。

1. **フィード**を1回押してラベルを1枚前送りします。
2. **左選択**を使用して [Home] (ホーム) を選択します。[RFID] メニューに移動し、**OK** を押します。
3. **左矢印**と**右矢印**を使用して [RFID CALIBRATE] (RFID キャリブレーション) 手順を選択し、**OK** を押しします。

プリンタはゆっくりとラベルをフィードしながら、選択した RFID タグ/ラベルに応じて位置と RFID 読み取り/書き込み通信設定を調整します。キャリブレーションが正常に完了し、次のようなメッセージが表示されたときに、追加のラベルがフィードされることがあります。準備完了

4. 余分な用紙を取り出します。

用紙キャリブレーションが完了し、印刷の準備が整いました。

プリンタの使用

このセクションでは、ラベルの作成からプリンタと個人用デバイスのペアリングまで、プリンタを効果的に使用する方法について説明します。

ラベルの作成

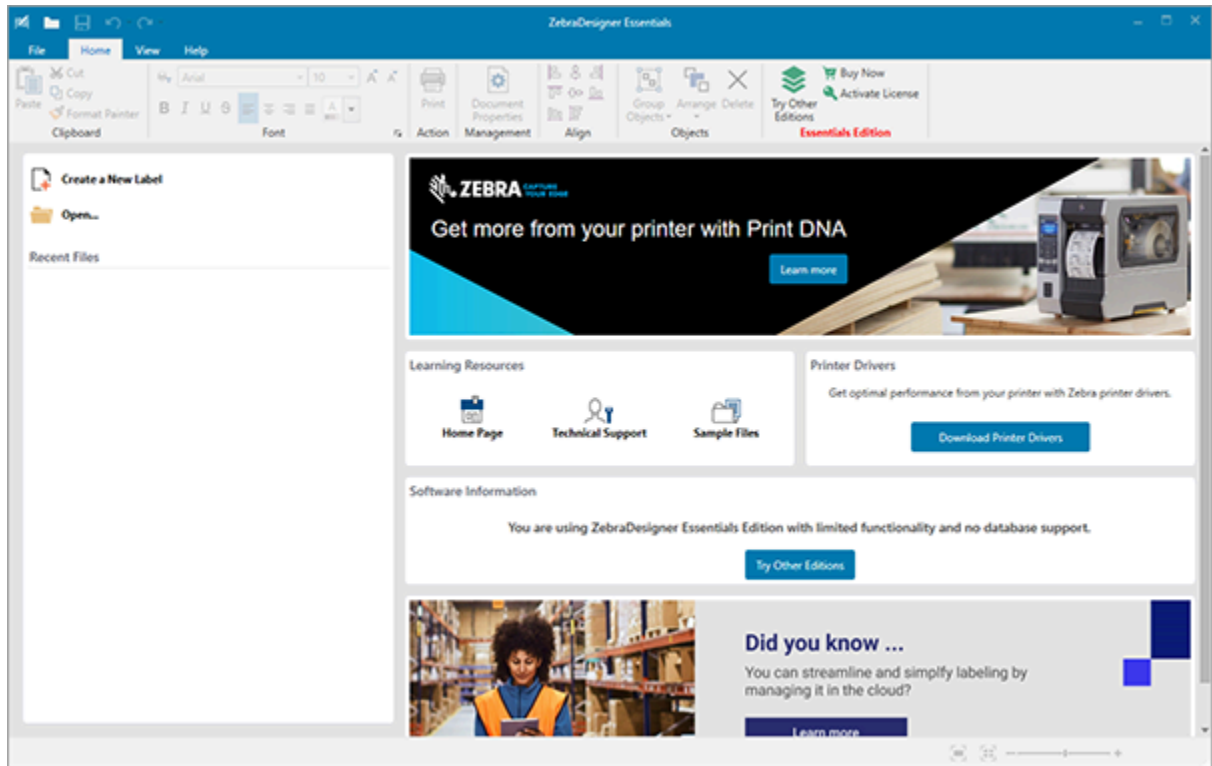
Zebra では、特殊なソフトウェアの使用、適切なプログラミング コマンドの使用、ラベル デザインの考慮事項に関するガイダンスの提供など、複数のラベル作成方法を提供しています。これらのアプローチは、Zebra のリソースおよび標準との互換性を確保しながら、要件を満たすラベルを効率的に生成するのに役立ちます。

ラベル デザイン コンテンツの使用

ご使用のプリンタに対応するラベル フォーマットの作成に使用するソフトウェアを選択してインストールします。

オプションの 1 つは ZebraDesigner です。このソフトウェアは zebra.com/zebradesigner からダウンロードできます。ZebraDesigner Essentials を無料で使用することもできますが、より堅牢なツールセットである ZebraDesigner Professional を購入することもできます。

図 22 ZebraDesigner Essentials 画面のサンプル



ZPL/CPCL/EPL コマンドの使用

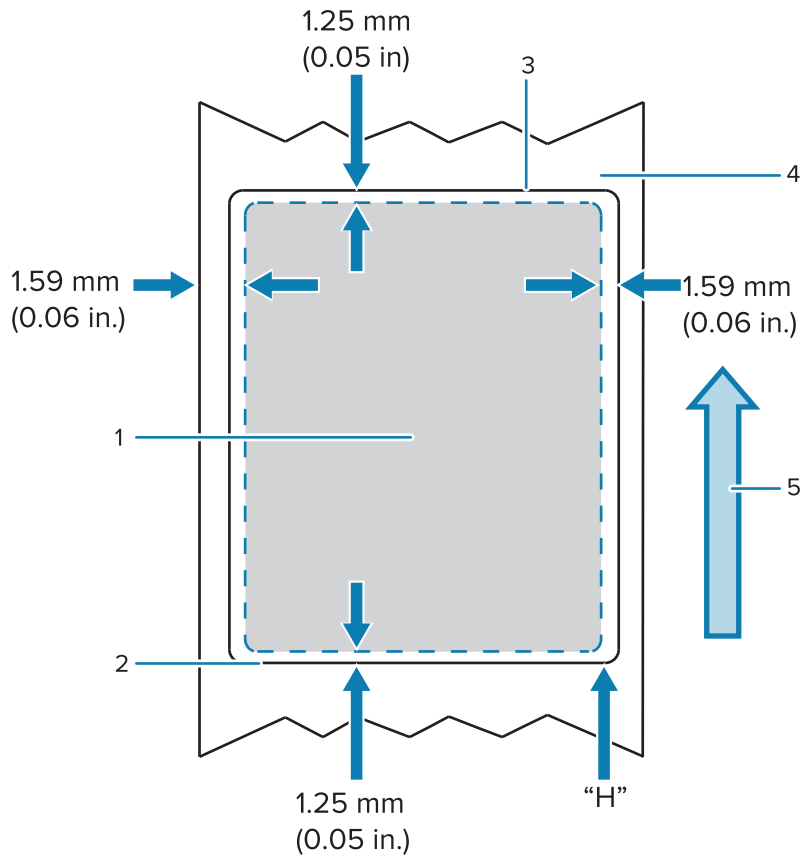
ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、モバイル印刷アプリケーション用に設計された Zebra の CPCL、ZPL、または EPL プログラミング言語を使用します。CPCL および ZPL については、以下に詳しく説明されています。

- ZPL & CPCL Printer Driver for OPOS Application Programmer's Guide (OPOS 用 ZPL & CPCL プリンタドライバアプリケーションプログラマーズガイド)。
- ZPL II, ZBI 2, Set-Get-Do Mirror, WML Programming Guide (ZPL II、ZBI 2、Set-Get-Do Mirror、WML プログラミングガイド) (Zebra プログラミングガイド)。

ラベル デザインに関する考慮事項

以下の例は、特にギャップ用紙、ブラックバー用紙、ジャーナル用紙に、プリンタのラベルを作成するガイドラインを示しています。各用紙タイプの図では、印刷時の縦方向の位置合わせの問題を回避するため、推奨される許容範囲、印刷禁止領域、安全印刷領域を定義しています。寸法は、製品の位置合わせ機能と、Zebra 推奨の用紙許容範囲に基づいて決定されます。

図 23 ギャップ用紙

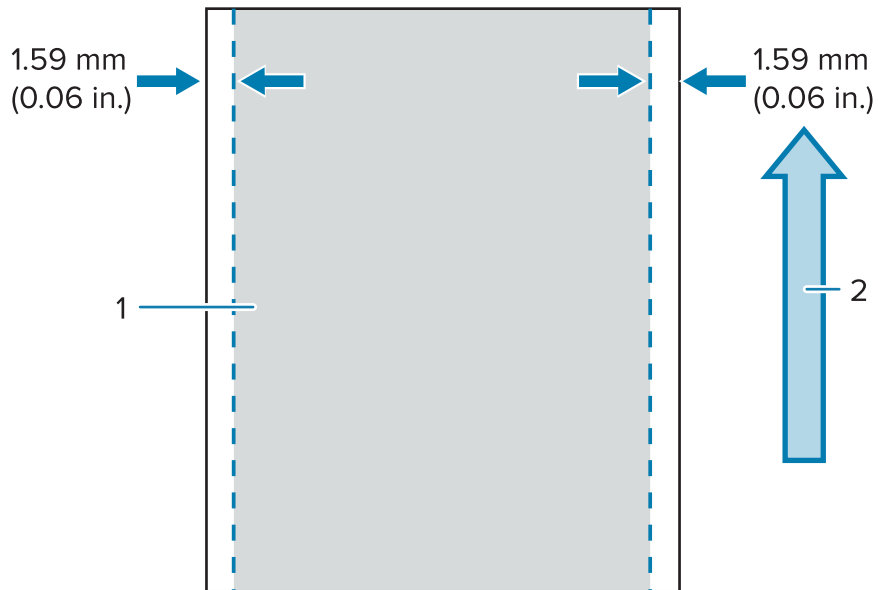


1	推奨印刷領域
2	ダイカット ラベルの下端
3	ダイカット ラベルの上端
4	CPCL ラベルの高さ
5	用紙フィードの方向



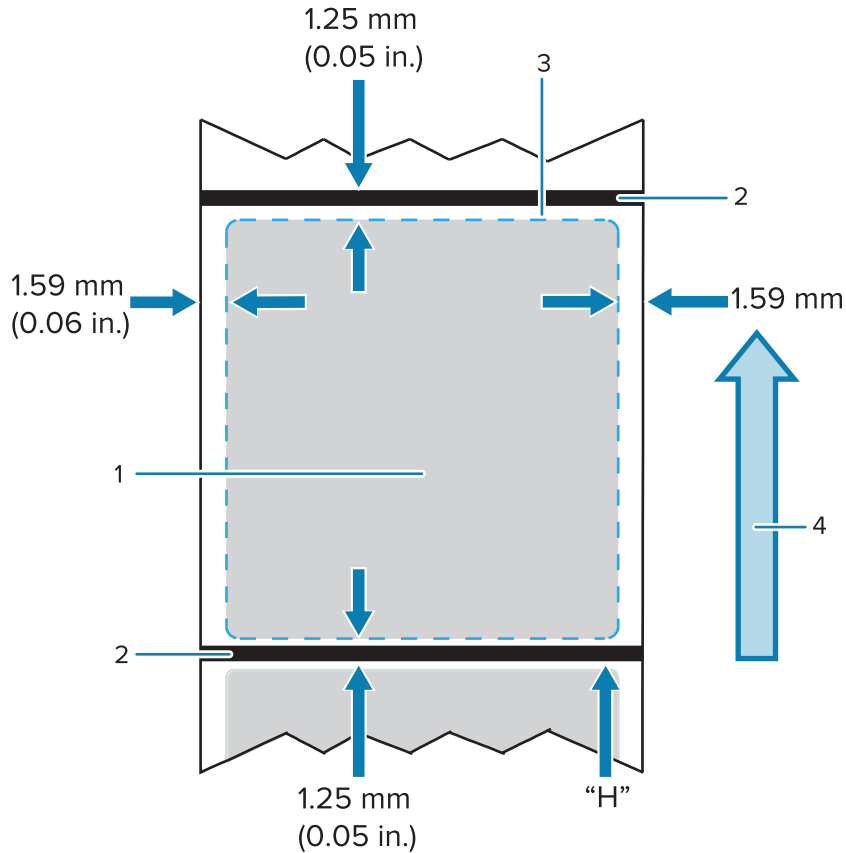
注：最大ラベル高 = "H" = 2.5mm (0.10 インチ)

図 24 ジャーナル用紙



1	推奨印刷領域
2	用紙フィードの方向

図 25 ブラックバー用紙



1	推奨印刷領域
2	ブラックバー
3	CPCL ラベルの高さ
4	用紙フィードの方向



注：最大ラベル高 = "H" = 2.5mm (0.10 インチ)

事前印刷レシート用紙の使用

ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、印字ヘッドの近くにある用紙切れセンサーを使用して、事前印刷レシートの位置合わせに対応します。

黒マークの寸法 (レシート用紙)

反射する用紙の黒マーク (またはブラックバー/マーク) は、用紙の前部で用紙の中心線を超える必要があります。

- マーク最小幅: 用紙の端に対して垂直な 15mm (0.59 インチ) で、ロールの幅の範囲内で中央揃え。
- マーク長: 用紙の端に対して並行に 4.8 ~ 6.0mm (0.19 ~ 0.24 インチ)。

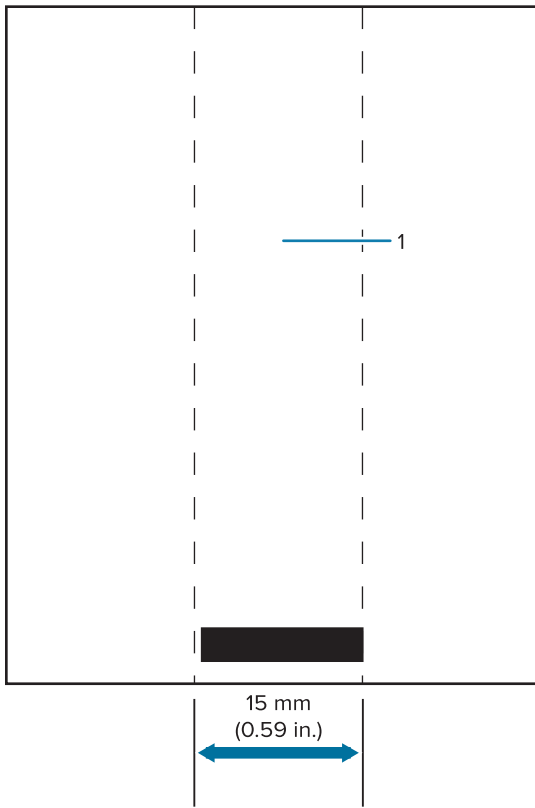
ラベルの領域

用紙/ブラックバーセンサーは、ダークカラーの事前印刷バーを用紙上で検出し、用紙の中央の経路にダークカラーの事前印刷グラフィックがないことを確認します。



注：ダークカラーの事前印刷グラフィックとは、プリンタで使用される前に、レシート用紙ロールに付けられた記号、バーコード、テキストおよび/または色付き領域を意味します。

図 26 ラベルの領域



1	ラベル領域の中心パス
---	------------





注:

ダークカラーの事前印刷グラフィック、バーコードおよびテキストがセンサーの経路に入らないようにします。

ラベル作成例

このセクションでは、問題あり/なしのラベル例を示します。

問題のあるラベル デザイン	良好なラベル デザイン
<p>レシート下部にあるブラックバーの経路に、ダークカラーの事前印刷テキストおよびグラフィックがあります。</p>	<p>ブラックバーまでの中央経路に、ダークカラーの事前印刷テキストおよびグラフィックがありません。</p>

問題のあるラベル デザイン	良好なラベル デザイン
	

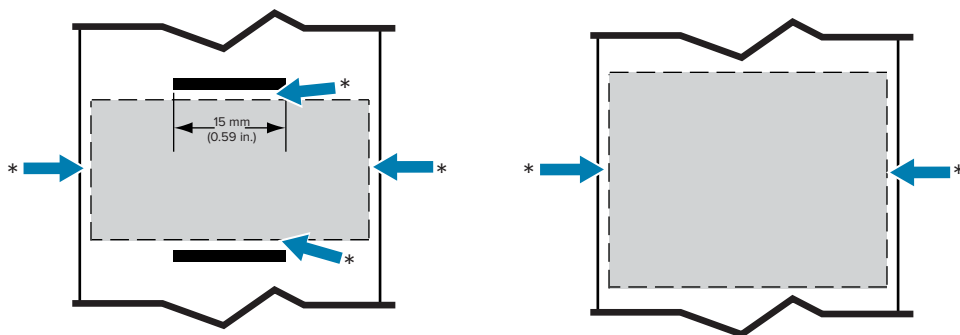


注：事前印刷レシート用紙の使用に関する全詳細については、CPCL プログラミングの FORM コマンドを参照してください (zebra.com/manuals)。

禁止領域

ラベル作成中に最小余白が指定されていないため、不完全なテキストおよび/またはグラフィックの印刷が発生することがあります。推奨の最小余白、つまり「禁止領域」を以下に示します。

図 27 禁止領域



注：各「連続」レシートの長さは、プリンタに送られるデータによって決まります。

Bluetooth によるワイヤレス通信

Bluetooth は、電波を介した 2 台のデバイス間のデータ交換の世界標準規格です。この形式のポイントツーポイント通信では、アクセスポイントやその他のインフラストラクチャは不要です。Bluetooth 無線通信は比較的低電力であり、同様の無線周波数で動作する他のデバイスとの干渉を防ぐのに役立ちます。ただし、Bluetooth デバイスとの通信範囲は、約 10 メートル (32 フィート) までに制限されます。ZQ630 Plus のデフォルトは Class 2 ですが、SGD (bluetooth.power_class) を使用して通信範囲を Class 1 に設定して出力を上げることができます。プリンタと通信先のデバイスがともに Bluetooth 規格に準拠している必要があります。

Bluetooth ネットワークの概要

Bluetooth 対応の ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、一意の Bluetooth デバイス アドレス (BDADDR) で識別されます。このアドレスは、MAC アドレスに似ています。最初の 3 バイトはベンダーを表し、最後の 3 バイトはデバイスを表します (例: 00:22:58:3C:B8:CB)。このアドレスは、バーコードで簡単にペアリングできるようにプリンタの背面にラベル表示されています。(デュアル無線の場合、MAC アドレスのラベルには WiFi の MAC アドレスのみ表示されます (図面と部品に関する基本情報 (9 ページ)) を参照し

てください)。データを交換するには、Bluetooth 対応の 2 台のデバイスが接続を確立する必要があります。Bluetooth ソフトウェアは、常時バックグラウンドで動作し、接続要求に応答できる準備ができています。一方のデバイス(「クライアント」)が、もう一方のデバイスとの接続を要求および開始します。その後、この 2 台目のデバイス(「サーバー」)は、接続を許可または拒否します。Bluetooth 対応の ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、通常は周辺機器として動作し、「ピコネット」と呼ばれるホストとのミニネットワークを構築します。ペアリングに利用できる Bluetooth デバイスは検出によって特定されます。検出では、コントローラ デバイスが検出要求をブロードキャストし、デバイスが応答します。デバイスを検出できない場合、BDADDR を知らない限り、またはそのデバイスと以前にペアリングを行ったことがなければ、コントローラはペアリングができません。両方のデバイスが Bluetooth 2.1 以上に対応している場合、セキュリティ レベル 4 のセキュア シンプル ペアリング (SSP) を使用します。SSP は必須のセキュリティ アーキテクチャで、2 つのアソシエーション モデル、数値比較および Just Works (ユーザー確認なし) を持つ必須のセキュリティ アーキテクチャです。

Bluetooth セキュリティ モード

<p>セキュリティ モード 1</p> <p>BT 2.1 以降のデバイスが BT 2.0 以前のデバイスとペアリングすると、BT 2.0 の互換モードになり、BT 2.0 と同じように動作します。両方のデバイスが BT 2.1 以降の場合は、BT の仕様に従ってセキュア シンプル ペアリングを使用する必要があります。</p>
<p>セキュリティ モード 2</p> <p>BT 2.1 以降のデバイスが BT 2.0 以前のデバイスとペアリングすると、BT 2.0 の互換モードに戻り、BT 2.0 と同じ様に動作します。両方のデバイスが BT 2.1 以降の場合は、BT の仕様に従ってセキュア シンプル ペアリングを使用する必要があります。</p>
<p>セキュリティ モード 3</p> <p>BT 2.1 以降のデバイスが BT 2.0 以前のデバイスとペアリングすると、BT 2.0 の互換モードに戻り、BT 2.0 と同じ様に動作します。両方のデバイスが BT 2.1 以降の場合は、BT の仕様に従ってセキュア シンプル ペアリングを使用する必要があります。</p>
<p>セキュリティ モード 4: シンプルセキュア ペアリング</p> <p>シンプルセキュア ペアリング: BT 2.1 以降に新たに導入されたセキュリティ アーキテクチャです。サービス レベルの運用でサポートされ、モード 2 に類似しています。両方のデバイスが BT 2.1 以降のときに必須です。現在、4 つの関連モデルがモード 4 にサポートされています。サービスのセキュリティ要件は、認証リンク キー必要、未認証リンク キー必要、セキュリティ不要のいずれかに分類する必要があります。SSP は、ペアリング時のパッシブ盗聴および Man-In-The-Middle (MITM) 攻撃に対する保護に ECDH 公開鍵暗号を追加してセキュリティを改善します。</p>

数値比較	Just Works
<p>両方のデバイスで、6 桁の数の表示が可能で、「はい」または「いいえ」の応答を入力できる環境用。ペアリング時に、両方のデバイスで表示された数が一致したら、「はい」を入力してペアリングを完了します。これはレガシー (BT 2.0 以前) ペアリングにおける PIN の使用と異なります。なぜなら、比較用に表示された数は、以降のリンクキーの生成に使用されないため、攻撃者がその数を閲覧したりキャプチャしても、結果として生成</p>	<p>ペアリング デバイスの一方 (または両方) にディスプレイも数字の入力用キーボードもない状況用 (例: Bluetooth ヘッドセット)。認証ステップ 1 を数値比較と同じ方法で実行しますが、両方の値の一致を確認できないので、MITM (man-in-the-middle) 保護は提供されません。これは、認証済みリンクキーを提供しない SSP の中で唯一のモデルです。</p>

数値比較	Just Works
されるリンク キーまたは暗号化キーの究明には使用できないからです。	

Just Works を除く、各モードには、Man-In-The-Middle (MITM) 保護が含まれています。つまり、第三のデバイスが2つの当事者デバイス間で渡されるデータを傍受することはできません。SSP モードは、通常、コントローラとフォロワの両方の機能に基づいて自動的にネゴシエートされます。低いセキュリティ モードは、`bluetooth.minimum_security_mode` で無効化できません。`bluetooth.minimum_security_mode SGD` は、プリンタが Bluetooth 接続の確立で使用する最低限のセキュリティ レベルを設定します。プリンタは、コントローラ デバイスによって要求された場合、常により高いセキュリティ レベルで接続します。ZQ630 Plus プリンタのセキュリティ モードとセキュリティ設定を変更するには、Zebra Setup Utilities を使用します。

Bluetooth 最低限のセキュリティ モード

セキュリティ モード	コントローラ デバイスの Bluetooth バージョン (2.1 以降)
<code>bluetooth.minimum_security_mode=1</code>	セキュア シンプル ペ어링
<code>bluetooth.minimum_security_mode=2</code>	Just Works/数値比較
<code>bluetooth.minimum_security_mode=3</code>	
<code>bluetooth.minimum_security_mode=4</code>	
<code>bluetooth.bluetooth_PIN</code>	未使用



重要: `bluetooth.minimum_security_mode SGD` は、プリンタが Bluetooth 接続の確立で使用する最低限のセキュリティ レベルを設定します。プリンタは、コントローラ デバイスによって要求された場合、常により高いセキュリティ レベルで接続します。

ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、Bluetooth 向けのボンディングも提供します。プリンタは、ペアリング情報をキャッシュするので、電源の入れ直しや接続の切断の前後でペアリングを維持します。これにより、接続を確立するたびに再ペアリングする必要がなくなります。

`bluetooth.bonding SGD` は、デフォルトでオンになっています。

Wi-Fi の概要

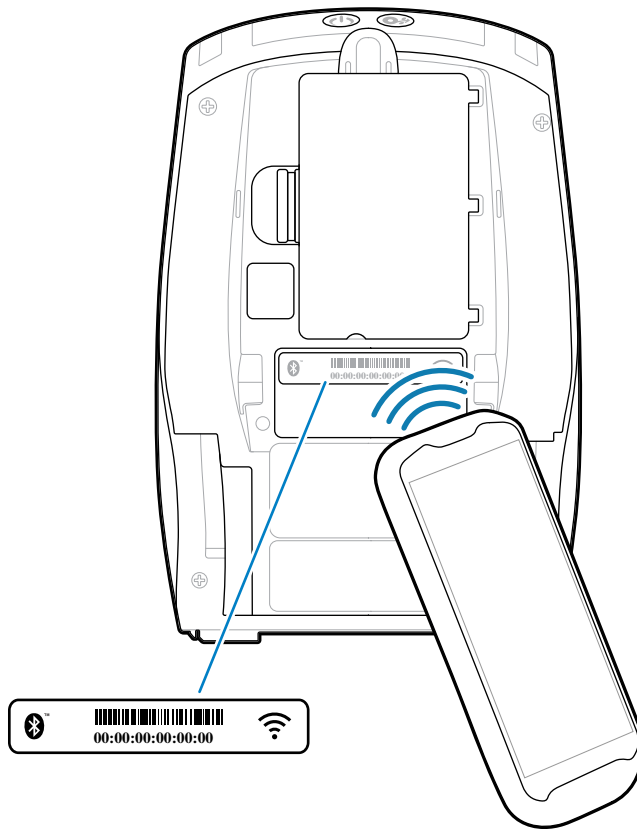
ZQ600 Plus シリーズには、業界標準の Wi-Fi および Bluetooth プロトコルを使用するデュアル無線が搭載されています。Zebra では、Wi-Fi 6 デュアル無線 (802.11ax + Bluetooth 5.3) または Wi-Fi 5 デュアル無線 (802.11ac + Bluetooth 4.2) を搭載したデバイスを選択できます。これらのプリンタには、背面にあるシリアル番号ラベルに FCC ID 番号が明記されています。

- Zebra 802.11 WLAN 無線モジュールを装備した ZQ600 Plus シリーズ無線ネットワーク プリンタは、プリンタの背面にあるシリアル番号ラベルの「Wireless Network Printer」(ワイヤレス ネットワーク プリンタ) という表示で識別できます。
- これらのプリンタは、ワイヤレス ローカル エリア ネットワーク (Wi-Fi) 内でノードとして通信できます。プリンタと通信を確立する方法は、アプリケーションによって異なります。

詳細情報および LAN 構成ユーティリティは、ZebraNet Bridge Enterprise™ プログラム (バージョン 2.8 以降) に含まれています。

Zebra Setup Utilities (ZSU) および Zebra Mobile Setup Utility を使用して Wi-Fi 通信を設定します。ZebraNet Bridge Enterprise と ZSU は、両方とも Zebra の Web サイトからダウンロードできます。

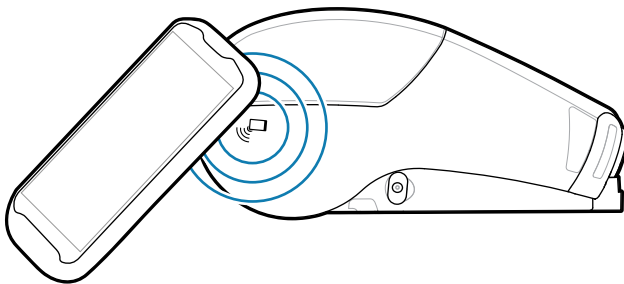
図 28 BT/WLAN 通信



Print Touch/NFC

ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、Android 標準タグ形式に準拠したパッシブ NFC タグである Print Touch (別名「近距離無線通信 (NFC)」) をサポートしています。NFC タグは、工場出荷時にプログラムされています。Bluetooth ペアリングに対応し、Bluetooth 接続によりタブレット、スマートフォンまたはモバイルコンピュータとプリンタを自動的に接続します (使用されるセキュリティ プロファイルの範囲内)。

図 29 近距離無線通信 (NFC) のペアリング



また、NFC タグは、Zebra またはサードパーティが開発したアプリを、NFC 対応のスマートフォン、タブレットまたはモバイルコンピュータで起動できるようにします。さらに、タブレット、スマートフォンまたはモバイルコンピュータで、Web のサポート ページを開くことができます。

NFCを使用するデバイスは、アクティブか、パッシブです。パッシブデバイスには他のデバイスが読み取ることができる情報が含まれていますが、NFC タグ自体は情報を読み取ることはありません。スマートフォンなどのアクティブデバイスは、プリンタの NFC タグ上の情報を読み取ることができますが、NFC タグ自体は、認可されたデバイスにデータを送信するのみです。

NFC の使用事例

パッシブ NFC テクノロジーのデモをいくつか紹介します。

- Bluetooth ペアリング - 使用するセキュリティ プロファイルの範囲内で、タブレット、スマートフォンまたはモバイル コンピュータを Bluetooth 接続で自動的にプリンタとペアリング (接続) します。プロファイルには、プリンタの BT アドレスとシリアル番号が含まれます。
- アプリの起動 - Zebra またはサードパーティが開発したアプリをスマートフォン、タブレットまたはモバイル コンピュータで実行します。
- Web サイトの立ち上げ - スマートフォン、タブレットまたはモバイル コンピュータで、Zebra またはサードパーティ デベロッパが開発した Web サイトを表示します



注: NFC 対応のスマートフォンで Zebra Print Touch アイコンをタップすると、プリンタ固有の情報にすぐにアクセスできます。NFC および Zebra 製品の詳細については、zebra.com/nfc を参照してください。NFC を使用した Bluetooth アプリケーションのペアリングも利用できません。詳細については、zebra.com/sdk を参照してください。

無線自動識別 (RFID)



注: RFID は ZQ630 Plus のオプション機能で、工場出荷時インストールのみのオプションです。

ZQ630 Plus プリンタには、印字ヘッド アセンブリに統合された RFID エンコーダ/リーダーが付属します。ZQ630 Plus は、「スマート」ラベル、チケット、タグに埋め込まれた極薄の UHF RFID トランスポンダに情報をエンコード (書き込み) します。プリンタは情報をエンコードし、適切なエンコードを確認して、バーコード、グラフィックおよび/またはテキストをラベルの表面に印刷します。ZQ630 Plus プリンタは ZPL プログラミング言語のもとで実行される Zebra の RFID コマンドの広範囲なセットを使用します。

RFID トランスポーターは「RFID タグ」または「インレイ」とも呼ばれます。トランスポンダは通常、集積回路 (IC) チップに接着されているアンテナで構成されています。IC チップには RF 回路、コーダー、デコーダー、およびメモリが含まれます。RFID ラベルを光に透かすとトランスポンダのアンテナが見え、触ると IC チップがある位置に突起があるのがわかります。ZQ630 Plus は EPC (Electronic Product Code) Generation 2 Class 1 UHF パッシブ RFID タグをエンコードし確認します。また、Zebra サプライ製品の RFID 熱転写用紙に人間が読めるテキストと、従来の 1 および 2-D バーコード情報を印刷します。EPC は製品番号標準で、RFID 技術を使用して各種の項目を識別するために使用できます。EPC Generation 2 タグには他のタグ タイプを上回る利点があります。Generation 2 タグのタグ ID (TID) メモリには、チップ メーカーおよびモデル番号の情報が含まれ、これを使用してタグにどのオプション機能が含まれるかを識別できます。これらのオプション機能にはデータ コンテンツとセキュリティに関するものも含まれます。

Gen 2 タグには通常 96 ビットの EPC 識別子が含まれます。これは初期の EPC タグで一般的な 64 ビット識別子とは異なります。96 ビットの EPC コードはオンライン データベースにリンクされ、サプライチェーン上での製品固有の情報を共有する安全な方法を提供します。また、Gen 2 タグは規模のより大きいデータ構造にも対応します。利用可能なユーザー メモリ (ある場合) のサイズはタグのモデルおよびメーカーによって異なります。

通常、RFID ラベルのエンコードと印刷は一度の試行で完了しますが、失敗が起きる場合もあります。エンコードの失敗が続く場合は、RFID タグからラベル フォーマットに問題があるか、またはトランスポンダの位置に問題がある可能性があります。RFID タグをエンコードできない場合は、ラベルに VOID と印刷

されます。次にプリンタは「n」ラベルの読み取りとエンコードを試みてから、次のフォーマットを試行します。ここで「n」はZPLプログラミング言語 ^RS コマンドで指定されます。「n」の許容可能な値は1～10までで、デフォルトは3です。無効になったRFIDラベルの定義された番号を印刷後、プリンタのデフォルトは「アクションなし」になります(エラーを起こしているラベルフォーマットはドロップされます)。

ラベルのどこにVOIDと印刷されるかはコントロールできませんが、画像の長さは管理できます。VOIDの画像は通常、プログラミング位置(後方のプログラミング位置を使用する場合はF0)から開始します。^RS コマンドに関する詳細については、『RFIDプログラミングガイド3』(zebra.com から入手可能)を参照してください。

プリンタのメンテナンス

このセクションでは、定期的なクリーニングとメンテナンスの手順について説明します。

クリーニングの推奨スケジュール

定期的な予防メンテナンスは、プリンタが正常に動作するための重要な要素です。ご使用のプリンタをきちんと手入れすることで、起こりうる問題の発生を最小限に抑え、印字品質の基準を保持することができます。

個別のクリーニング手順については、次ページ以降で説明します。この表には、クリーニングの推奨スケジュールを示します。これらの間隔は、あくまで目安として記載しております。お客様の用途や用紙のタイプによっては、より頻繁なクリーニングが必要となる場合があります。



注:

- ケガをしたり、プリンタが損傷したりすることのないよう注意してください。
- 先がとがったものや鋭利な物体をプリンタに差し込まないでください。
- お手入れを行う前に、必ずプリンタの電源は切ってください。
- 切り取りバー近くで作業を行う場合は、エッジが非常に鋭利なので注意してください。



警告: 長時間の印刷を行うと、印字ヘッドが非常に熱くなることがあります。クリーニングを行う前に冷却してください。



重要: 印字ヘッドをクリーニングする際は、Zebra クリーニング ペン (別売) か、または 90% の医療用アルコールを浸した綿棒のみを使用してください。



注意: 以下の表に示す洗浄剤のみを使用してください。Zebra では、クリーニング液の使用によってこのプリンタに生じた損傷の責任は負いません。

部位	方法	間隔
印字ヘッド	Zebra クリーニング ペンを使用して印字ヘッドに付いた細い灰色のラインを拭き、印字ヘッドの中心から外端に向かって印字エレメントを清掃します。	ロール紙を 5 本使い終わるごとにクリーニングします (必要に応じて、より頻繁に)。ライナーのないロール紙の場合、ロール紙を 1 本使い終わるごとにクリーニングが必要になります。
プラテン表面 (ライナーあり)	プラテン ローラーを回転させ、繊維のない綿棒またはケバ立ちのない清潔な布を医療用アル	ロール紙を 5 本使い終わるごとにクリーニングします (必要に応じて、より頻繁に)

プリンタのメンテナンス

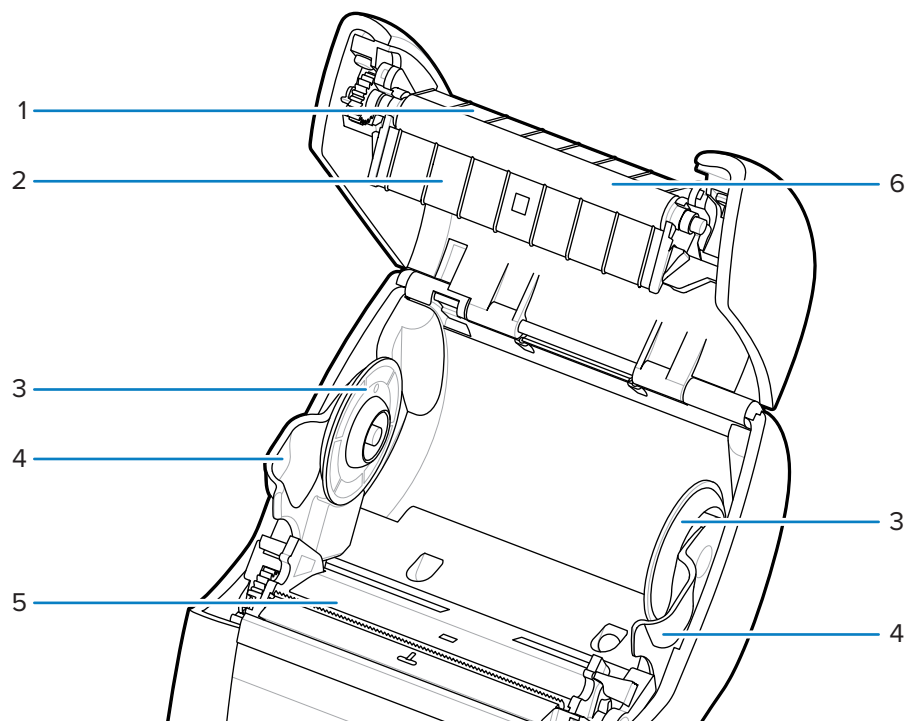
部位	方法	間隔
	コール (アルコール度 90% 以上) で湿らせて、ローラーをしっかりと拭き取ります。	
プラテン表面 (ライナーなし)	プラテン ローラーを回転させ、繊維のない綿棒と、液状石鹸 1 倍に対して水 25 倍で希釈したものを使用して清掃します。石鹸と水の混合で清掃後は水だけで清掃します。	プラテンは、印刷中に用紙がプラテンから離れないなどの問題が発生した場合にのみクリーニングしてください (表の下の注を参照してください)。
スクレーパ (ライナーのないユニットのみ)	用紙の粘着面を使用して、ライナーのないユニットのスクレーパをクリーニングします。	ロール紙を 5 本使い終わるごとにクリーニングします (必要に応じて、より頻繁に)。
切り取りバー	綿棒に 90% の医療用アルコールをつけてしっかりと拭き取ります。	随時
プリンタの外装	水で湿した布か、または 90% 医療用アルコールで拭きます。	随時
プリンタ内部	プリンタをブラシで丁寧に払います。バーセンサーおよびギャップセンサーのウィンドウに、ほこりが付着していないことを確認してください	随時
ライナーのないプラテン搭載ユニットの内部	繊維のない綿棒に 90% の医療用アルコールをつけて十分にクリーニングしてください。	ロール紙を 5 本使い終わるごとにクリーニングします (必要に応じて、より頻繁に)。



注: これは、印字ヘッドやその他のプリンタ コンポーネントを損傷する恐れのある異物汚染物質 (油、埃) をプラテンから除去する場合のみの緊急手順です。この手順を行うと、ライナーのないプラテンの使用寿命が短くなったり、尽きることさえあります。クリーニング後 1~2 メートル (3~5 フィート) 用紙をフィードしてもライナーのない用紙の詰まりが続く場合は、プラテンを交換してください。

ライナーレス プリンタのクリーニング (ZQ610 Plus/ZQ620 Plus)

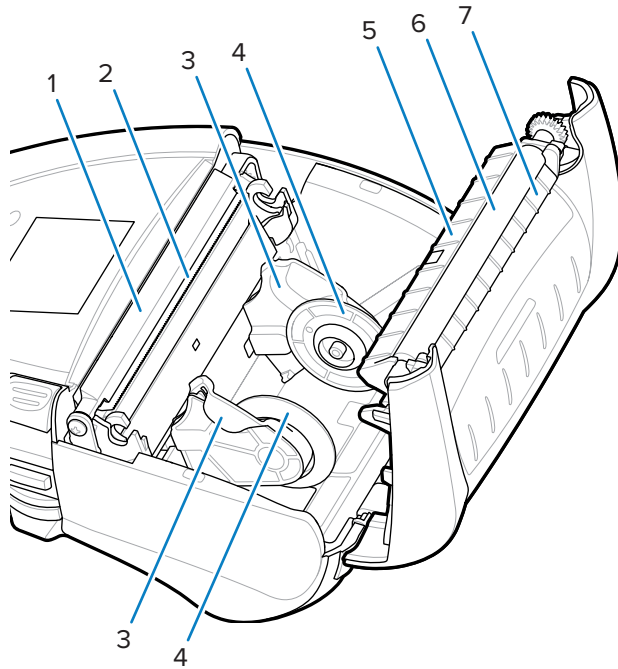
図 30 ライナーレス プリンタのクリーニング (ZQ610 Plus/ZQ620 Plus)



1	スクレーパ
2	プラテンホルダー
3	用紙サポートディスク
4	用紙サポート
5	印字ヘッドエレメント
6	プラテンローラー

ライナーレス プリンタのクリーニング (ZQ630 Plus)

図 31 ライナーレス プリンタのクリーニング (ZQ630 Plus)



1	ピーラー ベイル
2	印字ヘッド エレメント
3	用紙サポート
4	用紙サポート ディスク
5	プラテン ホルダー
6	プラテン ローラー
7	スクレーパ

トラブルシューティング

このセクションでは、印刷の最適化や、問題の診断とトラブルシューティングに役立つ診断テストやその他の情報を提供します。

ユーザーに役立つビデオやその他のオンライン情報にアクセスするには、zebra.com/zq600plus-info をご覧ください。

技術サポートへのお問い合わせ

プリンタの使用中に問題が発生した場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステムサポートにお問い合わせください。プリンタに問題がある場合は、当該の技術サポートまたはシステムサポートの担当者が、次のサイト (zebra.com/support) へ問い合わせます。

Zebra グローバル カスタマー サポートに問い合わせる前に、次の情報を収集してください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- 製品設定コード (PCC) (本体の背面にあるラベルと設定ラベルに明記された 15 桁の番号)

Zebra では、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。Zebra グローバル カスタマー サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。

ご使用の製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

エラー インジケータ

モバイル プリンタのエラー インジケータは、印刷中に発生する可能性のある問題や不具合を警告するように設計されています。インジケータは、ランプの点滅や特定のカラー パターンなど、エラーの性質を示す視覚による合図を提供するため、問題の診断と解決に役立ちます。

エラー メッセージ

ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、用紙切れ、用紙カバー開、バッテリー不足など、さまざまな点滅アラートを表示します。これらのアラートは、エラー、警告、および情報に分かれており、それぞれ区別するために異なるカラー マッピングになっています。

表示項目	情報	警告	ERROR (エラー)
前景色 (テキスト)	白	黒	白

表示項目	情報	警告	ERROR (エラー)
背景色	緑色	黄色	赤色

左選択または右選択を押してアクションに応答することができます。問題が解決すると、アラートメッセージはクリアされます。

アラートメッセージ

メッセージ	タイプ	カラー
AckAlertOptionBoardInvalid	警告	黄色
AckAlertYN1	情報	緑色
AckAlertNoUsbDriveFound	警告	黄色
AckAlertAllFilesPrinted	情報	緑色
AckAlertAllFilesStored	情報	緑色
AckAlertTooManyUsbHostDevices	警告	黄色
AckAlertUnsupportedUsbHostDevice	警告	黄色
AckAlertUnsupportedUsbHostFilesystem	警告	黄色
AckAlertErrorPrintingFile	エラー	赤色
AckAlertErrorStoringFile	エラー	赤色
AckAlertErrorPrintingFileContinue	エラー	赤色
AckAlertErrorStoringFileContinue	エラー	赤色
AckAlertFirmwareFoundContinue	情報	緑色
AckAlertUsbMirrorAutoPrompt	情報	緑色
AckAlertUseUsbMemoryDevicePrompt	情報	緑色
AckAlertBluetoothPairingPassKey	情報	緑色
AckAlertInvalidZplTemplateFile	エラー	赤色
AckAlertCoreDumpPresent	情報	緑色
AckAlertInvalidComplianceFile	エラー	赤色
AckAlertHeadElementTestFailed	エラー	赤色
AckAlertUsbPowerError	エラー	赤色
AckAlertFileSystemWriteError	エラー	赤色
AckAlertAvalancheError	エラー	赤色
AckAlertAvalancheTextMessage	情報	緑色
AvalanchePerformingUpdate	情報	緑色
AvalancheUpdateComplete	情報	緑色
BatteryHealthReplace	警告	黄色
BatteryHealthNearDeath	警告	黄色
BatteryHealthShutdown	エラー	赤色
BatteryAuthenticationFail	エラー	赤色

トラブルシューティング

メッセージ	タイプ	カラー
BatteryOverTemp	警告	黄色
BatteryUnderTemp	警告	黄色
BatteryChargeFault	エラー	赤色
BatteryLow	警告	黄色
BatteryRemoved	警告	黄色
BadFirmwareDownload	エラー	赤色
BatchCount	情報	緑色
BluetoothPinInvalid	エラー	赤色
BluetoothPairing	情報	緑色
BluetoothPairingAccepted	情報	緑色
BluetoothPairingRejected	エラー	赤色
BluetoothPairingFailed	エラー	赤色
BluetoothDisplayPasskey	情報	緑色
CancelAll	情報	緑色
CancelOne	情報	緑色
CalibrationMediaInput	情報	緑色
CalibrationMediaRunning	情報	緑色
CalibrationRibbonRunning	情報	緑色
CalibrationRibbonInput	情報	緑色
CountryCodeNotSelected	警告	黄色
CutError	エラー	赤色
DownloadingOptionBoardFirmware	情報	緑色
DownloadingFirmware	情報	緑色
HeadOpen	エラー	赤色
HeadOverTemp	警告	黄色
HeadUnderTemp	警告	黄色
HeadCold	警告	黄色
HeadAuthenticationFailed	エラー	赤色
HeadThermistorFault	エラー	赤色
HeadIdentificationFailed	エラー	赤色
HeadMaintenanceNeeded	情報	緑色
MediaLow	情報	緑色
MediaOut	エラー	赤色
MirroringFile	情報	緑色
Mirroring	情報	緑色

メッセージ	タイプ	カラー
MirroringApplication	情報	緑色
MirroringCommands	情報	緑色
MirroringFeedback	情報	緑色
MirrorProcessingFinished	情報	緑色
MotorOverTemp	警告	黄色
MagCardReaderActive	情報	緑色
OutOfMemoryStoringGraphic	エラー	赤色
OutOfMemoryStoringFont	エラー	赤色
OutOfMemoryStoringFormat	エラー	赤色
OutOfMemoryStoringBitmap	エラー	赤色
OperationProgress	情報	緑色
OptionalAlertKeyP2	情報	緑色
PaperJam	警告	黄色
PasswordInvalid	エラー	赤色
PauseRequest	警告	黄色
PrinterError	エラー	赤色
PowerOff	情報	緑色
PowerReset	情報	緑色
PowerSleep	情報	緑色
PowerSupplyError	エラー	赤色
PrintHeadShutdown	警告	黄色
ReplaceHead	エラー	赤色
RfidError	エラー	赤色
RfidNotPresent	情報	緑色
RibbonOut	エラー	赤色
RibbonIn	警告	黄色
RibbonLow	情報	緑色
StartingApplication	情報	緑色
WlanLossSignal	警告	黄色
WlanResumeSignal	情報	緑色
WlanInvalidChannels	エラー	赤色
WlanInvalidSecurityMode	エラー	赤色
WmlError	エラー	赤色
WritingFirmwareToFlash	情報	緑色

設定ラベルの印刷

1. プリンタの電源をオフにします。
2. 用紙セット部にジャーナル用紙 (背面にブラック バーや切れ目がないもの) を装着します。
3. **フィード**を押しながら**電源**を押して放します。
4. 印字が開始されたら、**フィード**を放します。

装置:

- すべての印字ヘッド エLEMENTが動作することを確認できるように、"x" 文字を 1 行につなげて印刷します。
- プリンタにロードされているソフトウェアのバージョンを印刷します。
- レポートを印刷します。

レポートには、モデル、シリアル番号、ポー レートのほか、プリンタ設定およびパラメータ設定の詳細情報が印刷されます。

設定ラベルの例

以下は、設定ラベルの印刷を示す画像の例です。

図 32 設定ラベルの例 (1/3)

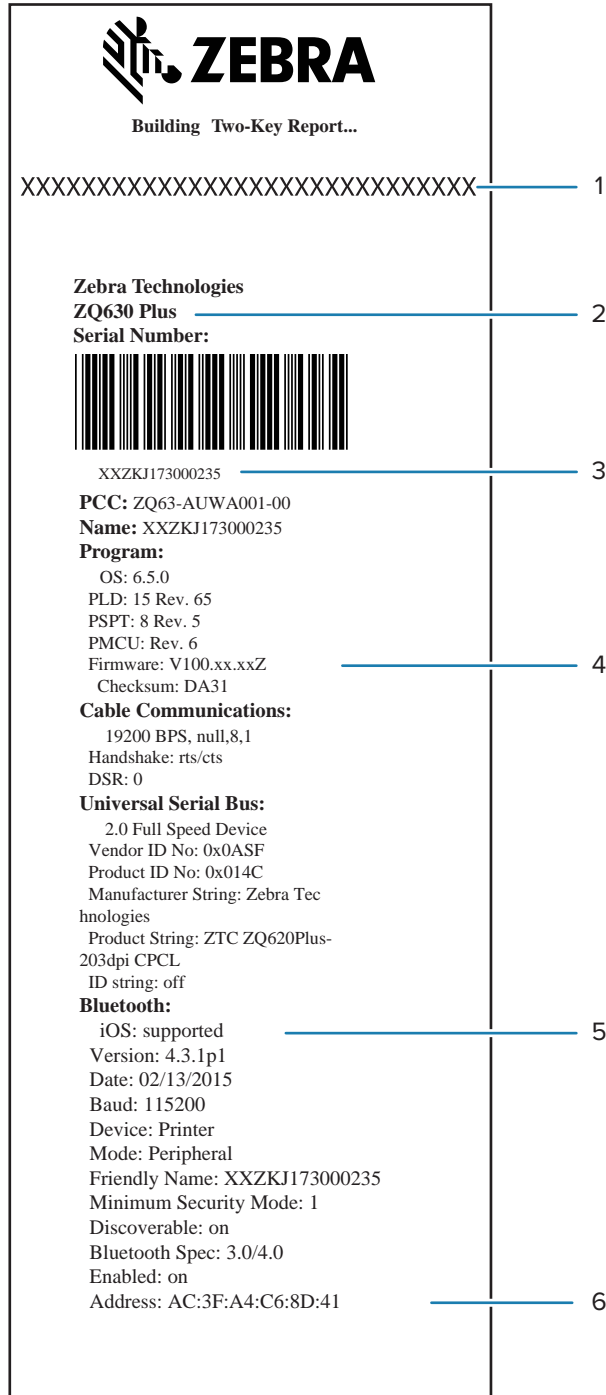
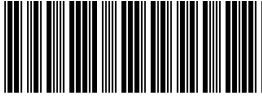


図 33 設定ラベルの例 (2/3)



AC3FA4C68D41

Wireless:

- Radio: 802.11 a/b/g/n/ac
- Region: usa/canada
- Country: usa/canada
- Enabled: on
- MAC Address: ac:3f:a4:C6:8D:40
- IP Address: 0.0.0.0
- Netmask: 255.255.255.0
- Gateway: 0.0.0.0
- Operating Mode: infrastructure
- International Mode: off
- Preamble Length: long
- Security: none
- Stored ESSID: 125
- Associated: no
- DHCP: on
- DHCP CID type: 1
- DHCP CID: ac3fa4c68d40
- Power Save: on

Ethernet:

- MAC Address: 00:07:4D:7A:7B:26
- IP Address: 0.0.0.0
- Netmask: 255.255.255.0
- Gateway: 0.0.0.0
- DHCP: on
- DHCP CID type: 1
- DHCP CID: 00074D7A7B26

Active Network Information:

- Active Network: Unknown
- IP Address: 0.0.0.0
- Netmask: 255.255.255.0
- Gateway: 0.0.0.0
- TCP Port: 6101
- Alternate TCP Port: 9100
- TCP JSON Config Port: 9200
- UDP Port: 6101
- Remote Server:
- Remote Server Port: 10013
- TCP: on
- UDP: on
- LPD: on
- DHCP: on
- BOOTP: on
- FTP: on
- HTTP: on
- SMTP: on
- POP3: on
- SNMP: on
- TELNET: on
- MIRROR: off
- UDP Discovery: on
- Weblink:
- DHCP CID type: 1
- DHCP CID: ac3fa4c68d40

Peripherals:

- LCD: Installed

7

8

9

10

図 34 設定ラベルの例 (3/3)

```

Power Management:
  In-activity Timeout:36000 Secs
  Low-battery Timeout:60 Secs
  Remote (DTR) pwr-off:Disabled
  Voltage      :8.54
  Low-bat Warning  :6.93(176)
  Low-bat Shut-down :6.53(166)
  Power On Cycles  :23
  Battery Health   :good
  Battery Cycle Count:NA
Memory:
  Flash :134217728 Bytes
  RAM   :8388608 Bytes
Label:
  Width :576 dots, 72 mm
  Height:65535 dots, 8191 mm
Sensors: (Adj)
  Pres[DAC:128,Thr:60,Cur:0]
  Label Removed
  Media [91 (576 dots)]
  Black Bar [DAC:136,Thr:70,Cur:0
  ]
  Gap [DAC:130,Thr:50,Cur:96]
  Temperature :27C (62)
  Voltage     :8.0V (255)
Resident Fonts:
  Font  Sizes Chars
  -----
  0     0-6  20-FF
  1     0    20-80
  2     0-1  20-59
  4     0-7  20-FF
  5     0-3  20-FF
  6     0    20-44
  7     0-1  20-FF
File Directory:
  File      Size
  -----
  E:2KEY.TXT      3507
  E:TT0003M_.TTF 169188
  134044672 Bytes Free
Command Language:
  CCL Key '!'[21]
ZPL Configuration Information:
  Rewind.....Print Mode
  Mark.....Media Type
  30.0.....Darkness
  +00.....Tear Off Adjust
  2030.....Label Length
  72mm.....Print Width
  7Eh.....Control Prefix
  2Ch.....Delimiter
  00.....Top Position
  No Motion..Media Power Up
  Feed...Media Head Closed
  00.....Left Margin
  576.....Dots per row
  End ZPL Configuration
  Print-head test: OK
  End of report

  Press FEED key to
  enter DUMP mode
  
```

11

12

13

14

15




1	印字ヘッド テスト
---	-----------

2	デバイス名
3	プリンタ シリアル番号
4	ファームウェア バージョン
5	MFI サポート
6	Bluetooth 無線アドレス
7	取り付けられている 802.11 オプション
8	イーサネット情報
9	ネットワーク情報
10	取り付けられているペリフェラル
11	フラッシュ メモリおよび RAM メモリをインストール済み
12	最大ラベル サイズ
13	人間が読める内蔵フォント
14	プリンタのメモリにロードされたファイル (事前にサイズ調整またはサイズ調整可能フォントを含む)
15	対応している CPCL および ZPL プログラミング言語

問題のトラブルシューティング

このセクションでは、プリンタのトラブルシューティングについて説明します。

問題	奨励される解決策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが正しく取り付けられているか確認します。 • 必要に応じて、バッテリーを充電または交換します。
用紙がフィードできない	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙カバーが閉じており、ロックされているか確認します。 • スピンドル保持用紙が曲がっていないか確認します。 • 前回印字したラベルを剥がしてあることを確認します (剥離モードのみ)。 • ラベルセンサーが遮られていないか確認します。
印字が不鮮明、または色がぼやけている	<ul style="list-style-type: none"> • 印字ヘッドをクリーニングします。 • 用紙の質を確認してください。
部分的にしか印刷されない、または何も印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> • 印字ヘッドをクリーニングします。 • 用紙の質を確認します。
印刷が文字化けしている	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙の装填状態を確認します。 • 印字ヘッドをクリーニングします。

問題	奨励される解決策
	<ul style="list-style-type: none"> 用紙カバーが正しく閉じており、ロックされているか確認します。
印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> ボー レートを確認します。 バッテリーを交換します。 ホスト デバイスへのケーブルを確認します。 RF 接続を確立および/または LAN 接続を復元します。 ラベルのフォーマットまたはコマンド構成が無効です。プリンタを通信診断 (Hex Dump) モードにして問題の診断を行います。
バッテリーの充電寿命が短くなった	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーが1年以上経過している場合、通常の経年劣化によって充電寿命が短くなっていることもあります。 バッテリーの状態を確認します。 バッテリーを交換します。
 の点滅	<ul style="list-style-type: none"> データの受信中にデータ アイコンが緑色に点滅するのは正常です。
 または  の点滅	<ul style="list-style-type: none"> 用紙がセットされていること、用紙カバーが閉じていること、およびしっかりロックされていることを確認します。
通信エラー	<ul style="list-style-type: none"> ボー レートを確認します。 ホスト デバイスへのケーブルを交換します。
ラベルの詰まり	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドリリース ラッチと用紙カバーを開きます。 用紙を取り出してから装填し直します。
ラベルがスキップされる	<ul style="list-style-type: none"> 用紙のフォーム上部のセンス マークまたはラベル ギャップを確認します。 ラベルの最大印刷フィールドを超過していないか確認します。 バー センサーまたはギャップ センサーが遮られていないか、または故障していないか確認します。
LCD 画面に何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> プリンタがオンになっていることを確認してください。 アプリケーションがロードされていないか、または壊れています。プログラムをロードし直してください。
NFC 接続なし	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンが、プリンタの側面にある Print Touch アイコンから 7.62cm (3 インチ) 以内にあることを確認します。

通信の問題

コンピュータとプリンタ間のデータ送信で問題がある場合、プリンタを通信診断モード (DUMP モード) にします。プリンタは、ホスト コンピュータから受信したデータの ASCII 文字とそのテキスト表示 (印刷不可能文字の場合はピリオド「.」) を印字します。

通信診断モードにするには、以下の操作を実行します。

1. 前述の説明のとおり設定ラベルを印刷します。

診断レポートの最後に、「Press FEED key to enter DUMP mode」(フィード キーを押すと DUMP モードに移行します)というテキストが印字されます。

2. **フィード**を押します。「Entering DUMP mode」(DUMP モードに移行中)というテキストが印字されます。



注: フィードが3秒以内に押されない場合、「DUMP mode not entered」(DUMP モードに移行されませんでした)というテキストが印字され、通常の操作が再開されます。

プリンタが DUMP モードに移行し、プリンタに送信されたすべてのデータの ASCII 16 進数コードとそのテキスト表示 (印刷不可能文字の場合は「.」) が印刷されます。

ASCII 情報を含む拡張子 .dmp のファイルが作成され、プリンタのメモリに保存されます。このファイルは、ZebraNet Bridge アプリケーションを使用して、表示、コピーまたは削除できます。ZebraNet Bridge の詳細については、zebra.com/zebranetbridge を参照してください。

通信診断モードを停止してプリンタを通常操作に戻すには、以下の操作を実行します。

1. プリンタの電源をオフにします。
2. 5 秒待ちます。
3. プリンタの電源をオンにします。

仕様

このセクションでは、一般的なプリンタ仕様、印刷仕様、および用紙仕様をリストします。

印刷仕様

このセクションでは、プリンタの仕様について説明します。

パラメータ	ZQ610 Plus	ZQ620 Plus	ZQ630 Plus
高さ	72.4mm (2.85 インチ)	76.9mm (3.03 インチ)	82.5mm (3.25 インチ)
幅	91.4mm (3.6 インチ)	117.9mm (4.64 インチ)	165.1mm (6.5 インチ)
奥行き	170.9mm (6.73 インチ)	173.7mm (6.84 インチ)	186.7mm (7.35 インチ)
重量 (バッテリー装備時)	0.6kg (1.33 ポンド)	0.73kg (1.6 ポンド)	1.113kg (2.45 ポンド)
取り付け穴の間隔	58.928mm (2.32 インチ)	58.928mm (2.32 インチ)	101.6mm (4.0 インチ)
	M2.5 x 0.45 ねじを 2 本使用		
温度*	動作時: -20 ~ -50°C (-4 ~ -122°F) ヘルスケアユニット: 0 ~ 50°C (32 ~ 122°F)		
	保管時: -25 ~ -65°C (-13 ~ -149°F)		
	充電: 0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)		
相対湿度	動作時/保管時: 10 ~ 90% (結露なきこと)		
侵入防止 (IP) 評価	IP54		

*RFID オプションの有無

電源仕様

このセクションでは、電源の仕様について説明します。

パラメータ	ZQ610 Plus	ZQ620 Plus	ZQ630 Plus
バッテリー	スマートバッテリー (2 または 4 セル) リチウムイオン 3250mAh 7.4VDC (公称) 2.45Ah (最小)	スマートバッテリー (2 または 4 セル) リチウムイオン 3250mAh 7.4VDC (公称) 2.45Ah (最小)	スマートバッテリー (4 セル) リチウムイオン 6600mAh 7.4VDC (公称) 6.8Ahr (最小)
	4 セル大容量スマート バッテリー (オプション)	4 セル大容量スマート バッテリー (オプション)	

通信インタフェースの仕様

このセクションでは、通信インタフェースの仕様について説明します。

パラメータ	ZQ600 Plus シリーズ プリンタ
フラッシュ メモリ	512MB*
RAM メモリ	256MB*
標準通信	RS-232 シリアル ポート (14 ピン シリアル コネクタ) 設定可能ボー レート (9600 ~ 115.2Kbps)、パリティ ビットとデータ ビット。 ソフトウェア (X-ON/X-OFF) またはハードウェア (DTR/STR) 通信ハンドシェイク プロトコル。
無線通信オプション	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi 6 デュアル無線 (802.11ax + Bluetooth 5.3 (Classic および BLE を含む)) Wi-Fi 5 デュアル無線 (802.11ac + Bluetooth 4.2 (Classic および BLE を含む)) Bluetooth 4.2 (Classic および BLE を含む)
リアルタイム クロック (RTC)	アプリケーションによる時間と日付のコントロール。RTC コマンドについては、『ZPL Programming Manual (ZPL プログラミング マニュアル)』を参照してください。
イーサネット	クレードルへのドッキング時に、10Mbps または100Mbps のイーサネット 自動検出

* 設定ラベルを印刷すると、デバイスのメモリ構成が取得されます。詳細については、[設定ラベルの印刷](#) (117ページ) を参照してください。

用紙仕様

このセクションでは、用紙の仕様について説明します。

仕様

パラメータ	ZQ610 Plus	ZQ620 Plus	ZQ630 Plus
用紙幅	25.4 ~ 55.37mm (1 ~ 2.18 インチ)	25.4 ~ 79.4mm (1 ~ 3.125 インチ)	50.8 ~ 111mm (2 ~ 4.4 インチ) ライナーあり 50.8 ~ 109mm (2 ~ 4.3 インチ) ライナーなし
最高/最小ラベル長	25.4 ~ 55.37mm (1 ~ 2.18 インチ)	12.7 ~ 812.8mm (0.5 ~ 32 インチ)	12.7 ~ 812.8mm (0.5 ~ 32 インチ) 最大
ブラックバーセンサーから印字ヘッド開始行までの距離	13.46mm (0.53 インチ)	15.87 ± 0.635mm (0.62 ± 0.025 インチ)	15.87 ± 0.635mm (0.62 ± 0.025 インチ)
用紙厚 (タグを除く)	2.3 ~ 6.5mil (0.05842 ~ 0.1651mm)	2.3 ~ 6.5mil (0.05842 ~ 0.1651mm)	3.2 ~ 7.5mil (0.08128 ~ 0.1905mm)
最高タグ厚	2.3 ~ 5.5mil (0.0542 ~ 0.1397mm)	2.3 ~ 5.5mil (0.0542 ~ 0.1397mm)	5.5 mi (0.1397mm) 以下
ラベルロール最大外径	55.8mm (2.2 インチ)	66.8mm (2.6 インチ)	66.8mm (2.6 インチ)
コア内径*	19 または 35.05mm (0.75 または 1.38 インチ)	19 または 35.05mm (0.75 または 1.38 インチ)	19.05 または 34.925mm (0.75 または 1.375 インチ)
黒マークの位置	反射用紙の黒マークをロール紙の中心に合わせます。		
黒マークの寸法	マーク最小幅: 12.7mm (0.5 インチ) マーク長: 3 ~ 11mm (0.12 ~ 0.43 インチ)	マーク最小幅: 12.7mm (0.5 インチ) マーク長: 3 ~ 11mm (0.12 ~ 0.43 インチ)	マーク最小幅: 12.7mm (0.5 インチ) マーク長: 2.4 ~ 11mm (0.09 ~ 0.43 インチ)

* ZQ600 Plus シリーズ プリンタは、内径が 19mm (0.75 インチ) の芯なしの用紙をサポートします。



注: Zebra ブランドの外巻き感熱式用紙を使用してください。用紙には、反射 (黒マーク) 検出、または透過 (ギャップ) 検出、打抜き、連続、ライナーなしがあります。打抜きラベルでは、全自動ダイのみを使用してください。

ZPL フォントとバーコードの仕様およびコマンド

このセクションでは、ZPL フォントとバーコードについて説明し、それらに関連する仕様とコマンドについて詳しく案内します。

フォントおよびバーコードの項目	仕様およびコマンド
標準フォント	15 ビットマップ フォント、1 スケーラブル フォント (CG Trimvirate Bold Condensed*)

仕様

フォントおよび バーコードの項目	仕様およびコマンド
利用可能なオプション フォント	Zebra は簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、ヘブライ語/アラビア語、その他を含む多言語のフォント キットを提供しています。
利用可能なリニア バーコードと 2D バーコード	バーコード (CPCL コマンド) Aztec (^B0) Codabar (^BK) Codablock (^BB) Code 11 (^B1) Code 39 (^B3) Code 49 (B4) Code 93 (^BA) Code 128 (^BC) DataMatrix (^BX) EAN-8 (^B8) EAN-13 (^BE) GS1 DataBar Omnidirectional (^BR) Industrial 2 / 5 (^BI) Interleaved 2 / 5 (^B2) ISBT-128 (^BC) LOGMARS (^BL) Micro-PDF417 (^BF) MSI (^BM) PDF-417 (^B7) Planet Code (^B5) Plessey (^BP) Postnet (^BZ) Standard 2 of 5 (^BJ) TLC39 (^BT) UPC/EAN エクステンション (^BS) UPC-A (^BU) UPC-E (^B9) マキシ コード (^BD) QR コード (^BQ)
回転角度	0°、90°、180°、および 270°

* ZebraNet Bridge Enterprise ソフトウェアを使用してダウンロード可能なオプションのビットマップフォントおよびスケーラブルフォント。詳細については、zebra.com/zebranetbridge を参照してください。

CPCL フォントとバーコードの仕様およびコマンド

このセクションでは、CPCL フォントとバーコードについて説明し、それらに関連する仕様とコマンドについて詳しく説明します。

フォントおよびバーコードの項目	仕様およびコマンド
標準フォント	25 ビットマップフォント、1 スケーラブルフォント (CG Trimvirate Bold Condensed*)
利用可能なオプションフォント	国際文字セット (オプション): 中国語 16 x 16 (繁体中国語)、16 x 16 (簡体中国語)、24 x 24 (簡体中国語) 日本語 16 x 16、24 x 24
使用可能な一次元バーコード	バーコード (CPCL コマンド) Aztec (AZTEC) Codabar (CODABAR、CODABAR 16) UCC/EAN 128 (UCCEAN128) Code 39 (39、39C、F39、F39C) Code 93 (93) Code 128 (128) EAN 8、EAN 13、2 桁および 5 桁の拡張型 (EAN8、EAN82、EAN85、EAN13、EAN132、EAN135) EAN-8 Composite (EAN8) EAN-13 Composite (EAN13) Plessey (PLESSEY) Interleaved 2 / 5 (I2OF5) MSI (MSI、MSI10、MSI1110) FIM/POSTNET (FIM) TLC39 (TLC39) UCC コンポジット A/B/C (128 (自動)) UPCA、2 および 5 桁のエクステンション (UPCA2、UPCA5) UPCA コンポジット (UPCA) UPCE、2 および 5 桁の拡張型 (UPCE2、UPCE5) UPCE Composite (UPCE) MaxiCode (MAXICODE) PDF 417 (PDF-417) Datamatrix (ZPL エミュレーション使用) (DATAMATRIX) QR コード (QR)

フォントおよびバーコードの項目	仕様およびコマンド
使用可能な 2D バーコード	RSS: RSS-14 (RSS サブタイプ 1) RSS-14 Truncated (RSS サブタイプ 2) RSS-14 Stacked (RSS サブタイプ 3) RSS-14 Stacked Omnidirectional (RSS サブタイプ 4) RSS Limited (RSS サブタイプ 5) RSS Expanded (RSS サブタイプ 6)
回転角度	0°、90°、180°、および 270°

* Agfa Monotype Corporation の UFST を含む。ZebraNet Bridge Enterprise ソフトウェアを使用してダウンロード可能なオプションのビットマップフォントおよびスケーラブルフォント。詳細については、zebra.com/zebranetbridge を参照してください。

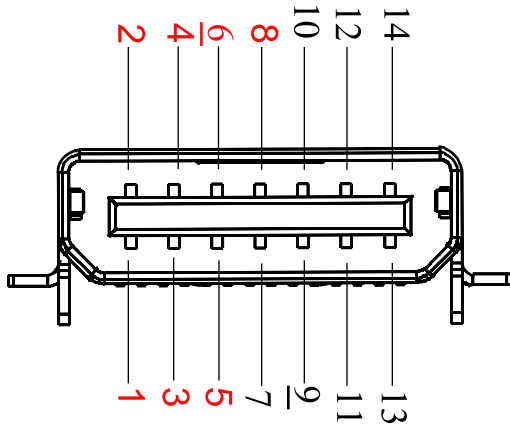
通信ポート

このセクションでは、プリンタの通信ポートについて説明します。

RS-232C

このセクションでは、プリンタの RS-232 通信ポートについて説明します。

図 35 RS-232 通信ポート



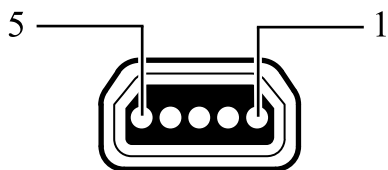
ピン番号	信号名	タイプ	説明
1	CTS	入力	ホストから送信可
2	TXD	出力	データ送信
3	RXD	入力	データ受信
4	DSR	入力	データセット準備完了: 低から高への変更はプリンタをオンにし、高から低への変更はプリンタをオフにします (有効な場合)。

ピン番号	信号名	タイプ	説明
5	GND		グラウンド
6	DTR	出力	データ端末準備完了: プリンタがオンのときに高に設定。切替 5V (最大 300mA)。
7	N/A		使用禁止
8	RTS	出力	送信リクエスト: プリンタがコマンドまたはデータの受信準備が完了している場合に高に設定。
9	N/A		使用禁止
10	N/A		使用禁止
11	N/A		使用禁止
12	N/A		使用禁止
13	N/A		使用禁止
14	N/A		使用禁止

USB

このセクションでは、プリンタの USB 通信ポートについて説明します。

図 36 USB 通信ポート



ピン番号	信号名	タイプ	説明
1	VBUS	-	USB バス電源
2	USB -	双方向	I/O 信号
3	USB +	双方向	I/O 信号
4	USB_ID	-	A/B コネクタを識別
5	戻る		グラウンド



注: zebra.com/accessories にアクセスして、すべてのモバイル プリンタ用のインタフェースケーブルの包括的なリストを確認してください。

